



(公財)日本ゴルフ協会



2012-2015

JGAハンディキャップ規定 (USGAハンディキャップシステム準拠)

Developed by the United States Golf Association



2012 年規定主要な変更点

「承認されたゴルフ協会」の定義明確化…………… 第 2 章

「プレーしなかったホール、ゴルフ規則の本質に従ってプレーしなかったホール」の
見出しタイトル変更、および関連項目の文言統一…………… 第 4-2 項

「プリファードライ（ウィンタールールおよび不良なコース状態）の
見出しタイトル変更、および不良なコース状態に関する文言追加…………… 第 7 章

「全米統一ハンディキャップ更新スケジュール」を導入（米国内限定）…………… 第 8-3 項

「新設コースの再査定期限」を 5 年以内に変更…………… 第 14-2 項

裁定主要な変更点

裁定 2/1 「ゴルフ倶楽部」の定義 – タイプ 2 倶楽部の会員居住地範囲（または勤務地範囲）
を拡大。【改訂】

裁定 2/7 「ゴルフ倶楽部のタイプ種別に関する遵守・認可要件」 – タイプ 2 倶楽部の会員居
住地範囲（または勤務地範囲）を拡大。【改訂】

裁定 4-2/1 「ゴルフ規則の本質に従う」という文言の説明【新規追加】

裁定 5-1a/3 「臨時のグリーンまたはティーインググラウンドを使用したスコア」の提出方法を明
確化【改訂】

裁定 5-2a/7 「18 ホール未満でマッチが終了し、その後プレーヤーが残りホールプレーした場合」
の裁定理由を明確化【改訂】

裁定 8-2m/1 「倶楽部の代表者が退任した場合」に、新規代表者が就任した場合の裁定を追加
【改訂】

裁定 8-3a/1 「更新されたハンディキャップインデックス公表日」に、全米統一更新日導入に伴う
変更を追加【改訂】



JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠)

(付)

JGA/USGA コースレーティングシステム

および

ハンディキャップ裁定集

有効期間：2012 年 1 月 1 日～2015 年 12 月 31 日

本規定マニュアル書の使い方

本書は JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) に関するすべてを網羅した完全規定マニュアルです。第 1 章は JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の目的および要項、第 2 章は重要な用語の定義を記載し、第 3 章～第 8 章ではプレーヤーとゴルフ倶楽部のハンディキャップ委員会の責任について詳細が盛り込まれています。第 10 章以降には JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の計算式、システムの抑制と均衡、JGA/USGA コースレーティングシステムの概要、ゴルフコースのセッティング、パーの設定、ハンディキャップストロークの割り当てなどを記載。巻末の付則には、異なるティーインググラウンドを使用する競技における JGA/USGA ハンディキャップインデックス調整方法のサンプル解説文、倶楽部向けライセンスプログラム【米国内限定】、ゴルフ倶楽部監査手順【米国内限定】などが含まれています。

本マニュアル書に慣れ親しんでいただくために、まず目次を通して JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) 全体がどのような構成になっているのかを理解して下さい。目次に記されている各項目タイトルと掲載ページを活用すれば、知りたい情報を的確に得ることができます。

第 2 章の用語の定義は重要です。JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) を理解するうえで非常に大切な用語は、規定条文全体を通してゴシック体で表示していますので、第 2 章の定義を参照しながら本規定の正しい理解を深めて下さい。

JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) について疑問が生じた時は、本マニュアル書を使って疑問を解消して下さい。規定の正しい理解と運用は、ゴルフをより公平で楽しいものとするための礎となります。

本規定は USGA ハンディキャップシステムに準拠しています。USGA ハンディキャップシステムは全米ゴルフ協会 (USGA) の知的所有物であり、これに基づいてハンディキャップインデックスを計算、認定、発行できるのは、JGA および JGA が認めた加盟倶楽部だけです。「JGA」および「JGA」が付記された用語を除いて、本規定に含まれるすべての内容および商標類は USGA の所有物であり、JGA および JGA が認めた加盟倶楽部以外はこれらを使用することができません。

規定の正式名称と略称について

本書内では規定の正式名称と略称を併用して表記してあります。

正式名称： JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠)
略 称： JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠)

目次

パート I – 目的、認証、ライセンス認可、および用語の定義

第 1 章：目的、認証、ライセンス認可 1

1-1.	目的	1
1-2.	承認、ライセンス認可	2
	裁定集	3

第 2 章：用語の定義 4

	裁定集	12
--	-----	----

パート II – ハンディキャップに関するプレーヤーの責任

第 3 章：プレーヤー 16

3-1.	JGA/USGA ハンディキャップインデックスの取得	16
3-2.	JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用	16
3-3.	コースハンディキャップ	16
3-4.	JGA/USGA ハンディキャップインデックスの上限	19
3-5.	異なるティーインググラウンドを使用する競技、男女が同じティーインググラウンドを使用する競技	19
3-6.	競技における正しいハンディキャップの適用	21
	裁定集	22

第 4 章：ホールスコアの調整 24

4-1.	ホールアウトしていないホール、コンシードされたストローク	24
4-2.	プレーしなかったホール、ゴルフ規則の本質に従ってプレーしなかったホール	24
4-3.	ストロークコントロール (ESC)	25
	裁定集	26

プレーヤーおよびハンディキャップ委員会の責任

第 5 章：スコア 27

5-1.	採用可能なスコア	27
5-2.	スコアの提出	29
	裁定集	34

第 6 章：スコア記録 39

6-1.	継続的な記録	39
6-2.	非アクティブシーズン	39
6-3.	ハンディキャップリストとスコア記録	39
6-4.	ハンディキャップカード	40

目次	
6-5.	複数の倶楽部に所属するプレーヤー 40
6-6.	プレーヤーが所属倶楽部を変更する場合 41
6-7.	倶楽部を退会した会員の記録 41
裁定集	41
第 7 章: プリファードライ (ウィンタールール) および不良なコースの状態	44
7-1.	プリファードライ適用時の採用可能なスコア 44
7-2.	プリファードライ適用時の注意点 45
7-3.	通常のコース難易度の維持 45
ハンディキャップ委員会の責任	
第 8 章: ハンディキャップ委員会	46
8-1.	ハンディキャップ委員長 46
8-2.	任務と責任 46
8-3.	ハンディキャップの更新 51
8-4.	ペナルティースコア、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正と取り消し 51
裁定集	54
第 9 章: ハンディキャップ競技	57
9-1.	競技に必要なハンディキャップ 57
9-2.	JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用 57
9-3.	ハンディキャップストロークの適用 58
9-4.	ハンディキャップアローワンス 60
9-5.	ハンディキャップ競技のタイの決定方法 70
裁定集	72
計算式	
第 10 章: JGA/USGA ハンディキャップ計算式	75
10-1.	ハンディキャップデファレンシャルの計算 75
10-2.	JGA/USGA ハンディキャップインデックスの査定方法 76
10-3.	非常に優れたトーナメントスコアによる JGA/USGA ハンディキャップインデックスの低減 78
10-4.	コースハンディキャップ 83
10-5.	9 ホール・ハンディキャップ (ハンディキャップインデックス (N)) 84
裁定集	85
システムの抑制と均衡	
第 11 章: ハンディキャップの管理	87
11-1.	ゴルフ倶楽部のハンディキャップ委員会 87

目次	
11-2.	スコア検証 87
11-3.	ハンディキャップデファレンシャルのワースト 10 枚の除外 87
11-4.	20 枚未満の提出スコア 88
11-5.	ストロークコントロール 88
11-6.	非常に優れたトーナメントスコアによる JGA/USGA ハンディキャップインデックスの低減 88
11-7.	JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正と取り消し 88
11-8.	ペナルティースコア 88
11-9.	JGA (承認されたゴルフ協会) が発行するレーティング 88
11-10.	ライセンス認可の必要条件 88
11-11.	JGA ハンディキャップ委員会、USGA ハンディキャップ部門 89
パート III - ゴルフコース	
第 12 章: コースの実測	90
12-1.	基準測定点 (パーマネントマーカー) 90
12-2.	実測距離の測定 90
第 13 章: JGA/USGA コースレーティング	93
13-1.	用語の定義 93
13-2.	査定時の基本条件 94
13-3.	コースレーティング査定の手順 94
第 14 章: コースレーティング査定の実施	97
14-1.	JGA (承認されたゴルフ協会) によるコースの査定 97
14-2.	JGA (承認されたゴルフ協会) によるコースの再査定 98
14-3.	査定チームのメンバー 98
14-4.	JGA (承認されたゴルフ協会) の記録管理 98
14-5.	コース改造 99
第 15 章: コースセッティング	99
15-1.	コース難易度の維持 99
15-2.	バランスのとれたティーマーカーの設置 100
15-3.	ホールロケーション 100
15-4.	コース管理 101
15-5.	コースのマーキング 102
第 16 章: パーの設定	102
裁定集	102
第 17 章: ハンディキャップストロークの割り当て	103
17-1.	委員会の裁量 103
17-2.	スコアに基づく割り当て 104

17-3.	9 ホールコース	106
17-4.	27 ホールコース	106
17-5.	フォアボールおよびベストボールストロークプレー、ステーブルフォード	106

パートIV – 付則

付則 A: JGA/USGA ショートコースハンディキャップの査定手順	109	
A-1.	JGA/USGA ショートコースハンディキャップを使用できるゴルフ倶楽部	109
A-2.	JGA/USGA ショートコースハンディキャップの計算方法	109
付則 B: 第 8-4c 項適用に関する通知文書サンプル例	113	
付則 C: ジュニアパー	114	
C-1.	ジュニアのレベル分類	114
C-2.	ジュニアパーの設定	114
C-3.	ジュニア用スコアカード	115
C-4.	ジュニアパーに基づくスコアの提出方法	115
付則 D: 第 3-5 項、および第 9-3c 項の解説文書サンプル例 (異なるティーインググラウンドを使用した競技)	116	
付則 E: 非常に優れたトーナメントスコアの確率表	117	
付則 F: 倶楽部向けライセンスプログラム【米国内限定】	118	
付則 G: ゴルフ倶楽部監査手順【米国内限定】	119	
付則 H: 最も上達したプレーヤーの決定方法	120	
索引	121	

パートI – 目的、認証、ライセンス認可、および用語の定義

第 1 章: 目的、認証、ライセンス認可

用語の定義

定義は**ゴシック体**で表記され、「第 2 章—用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

1-1. 目的

JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) の目的は、技量の異なるプレーヤー同士が公正な基準で競い合えるようにすることにより、ゴルフをより楽しめるようにすることである。本システムは、各プレーヤーに対して技量差に拘わらず公平な**コースハンディキャップ**を提供し、プレーヤーのスコア変動に応じて**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**を調整する。また本システムは、プレーヤーの潜在技量と関連のない悪いスコアを除外し、シーズンまたは年をまたいだ**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**の継続性を高めている。**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**はすべてのプレー方式に通用し、JGA が認めた**ゴルフ倶楽部**に所属する個人に対してのみ発行する。

JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) は 2 つの前提条件を根幹としている。一つは、各プレーヤーはプレーする場所に拘わらず**毎ホール最善のスコア**を目指すということであり、もう一つは、プレーヤーは採用可能なスコアをすべて提出し、**スコアの検証**を受けるということである。この前提条件を順守することは、プレーヤーと**ハンディキャップ委員会**の共同責任である。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、JGA (承認された**ゴルフ協会**) または**ゴルフ倶楽部**によって発行され、プレーヤーの技量を小数第 1 位までの数値で表示する (例: 10.4)。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、標準難易度のコースにおけるプレーヤーの技量を**スクラッチゴルファー**の技量と比較したものである。プレーヤーはスコアに**JGA/USGA コースレーティング**および**スロープレーティング**、並びにプレー日を添えて提出し、**スコア記録**に登録する。**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**の計算には、最大 20 枚のスコアカード、および採用可能な**トーナメントスコア**が用いられる。この方法は提出カード枚数に応じた**ベストハンディキャップディファレンシャル** (20 枚中ベスト 10 枚が理想) に基づいているため、プレーヤーの潜在技量を反映する。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、プレーするコースやティーに拘わらず、どこへでも持ち運びが可能である。プレーヤーの**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**は、プレーするティーの**スロープレーティング**に基づいて**コースハンディキャップ**に換算される。

JGA/USGA コースレーティングは、**スクラッチゴルファー**が通常のコンディションでプレーした場合のコース難易度を示す尺度である。スコアに影響を与える距離と障害の難易度に基づいて評価される。**スロープレーティング**は、**スクラッチゴルファー**以外のプレーヤーにとっての**相対コース難易度**を示す尺度である。各コースの各ティーには、**スクラッチゴルファー**と**ボギーゴルファー**双方のレーティングが査定され、**JGA/USGA コースレーティング**と**スロープレーティング**を併用することにより、**スクラッチゴルファー**以外のプレーヤーにとっての**コース難易度**を反映する。**スクラッチゴルファー**と**ボギーゴルファー**のスコア差が大きいコースは**スロープレーティング**が高くなり、プレー

ヤーに与えられるハンディキャップストロークは多くなる。反対に両者のスコア差が小さい場合、**スロープレーティング**は低くなり、プレーヤーに与えられるハンディキャップストロークは少なくなる。

各プレーヤーは、**コースハンディキャップ換算表**を利用して自身の**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**を**コースハンディキャップ**に換算する。**コースハンディキャップ換算表**は、コースのクラブハウス内または1番ティーインググラウンド付近に設置されている。**コースハンディキャップ換算表**はティーマーカー毎に設置され、男女別に使用する。プレーヤーには、コースの相対難易度(**スロープレーティング**)に基づいたハンディキャップストローク(**コースハンディキャップ**)が与えられる。

JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) のすべてを網羅した本規定マニュアルを活用することによって、すべての競技をより楽しむことができる。

1-2. 承認、ライセンス認可

JGA (**承認されたゴルフ協会**) または**ゴルフ倶楽部**は、**JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠)** を使用したり、USGA 商標を使用したり、**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**を発行するためには、USGA のライセンス認可を受けなければならない。**JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティング**を発行できるのは JGA (**承認されたゴルフ協会**) のみである。**ゴルフ倶楽部**が **JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠)** に従わない場合、規定およびシステムの如何なる部分も使用することはできず、また「**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**」、「**JGA/USGA ショートコースハンディキャップ**」、或いは USGA が認めたハンディキャップなどの名称を使用することはできない。(裁定 1-2/1、1-2/2 参照)

日本において、JGA (**承認されたゴルフ協会**) が管轄地域内にある**ゴルフ倶楽部**に **JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠)** の使用を認めるためには、まず JGA が USGA からの文書による承認を受けなければならない。

USGA の商標類を使用できるのは、本マニュアルに明記された規定を順守したうえで **JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠)** の使用を認められた JGA (**承認されたゴルフ協会**) または**ゴルフ倶楽部**のみである。

世界では 100 以上の**承認されたゴルフ協会**と数千を超える**ゴルフ倶楽部**が、**USGA ハンディキャップシステム**を使用し、**ハンディキャップインデックス**を発行している。

JGA (**承認されたゴルフ協会**) や**ゴルフ倶楽部**の方針は、「**ゴルフ規則**」および「**JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠)**」と一致していなければならない。各**ゴルフ倶楽部**は **JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠)** を保全するために**ハンディキャップ委員会**を設置しなければならない。このことは必要不可欠な要件である。**ゴルフ倶楽部**は、JGA (**承認されたゴルフ協会**) が発行した **JGA/USGA コースレーティング**および**スロープレーティング**を使用しなければならない。

下記は USGA が保有する商標類である:「**ボギーレーティング™**」、「**コースハンディキャップ™**」、「**コースレーティング**および**スロープデータベース™**」、「**エクイタブルストロークコントロール™**」、「**ESC™**」、「**ハンディキャップディファレンシャル™**」、「**ハンディキャップインデックス®**」、「**USGA ハンディキャップシステム・倶楽部向けライセンスングプログラム™**」、「**ホールバイホール・ストローク割り当て析**

ログラム™」、「**ホームコースハンディキャップ™**」、「**ショートコースハンディキャップ™**」、「**USGA ショートコースレーティング™**」、「**スロープ®**」、「**スロープレーティング®**」、「**スロープシステム®**」、「**トレンドハンディキャップ™**」、「**全米ゴルフ協会®**」、「**USGA®**」、「**USGA コースレーティング™**」、「**USGA コースレーティング・ソフトウェアプログラム™**」、「**USGA コースレーティングシステム™**」、「**USGA ハンディキャップシステム™**」。

JGA が認めた**ゴルフ倶楽部**または JGA (**承認されたゴルフ協会**) 以外の団体、および**ゴルフ倶楽部**の会員以外の個人は、上記の商標類を使用したり、USGA のハンディキャップ計算式を含む **JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠)** の如何なる部分をも使用することができない。但し、JGA (**承認されたゴルフ協会**) や**ゴルフ倶楽部**に対して、**JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠)** に従った限定的な目的の範囲内で商品やサービスを提供する場合は例外とする。USGA は、USGA 商標類の使用を認められた者が、**USGA ハンディキャップシステム**の品位と信頼を損なわない使用方法をとるように確認する。これらの確立された商標類の権利所有者として、USGA はこれら商標類の使用を他者に認める唯一の権利を有する。

【裁定集】第1章： 目的、認証、ライセンス認可

1-1/1. 1人のプレーヤーが、右打ちと左打ちで異なる2つのJGA/USGAハンディキャップインデックスを取得する

質問: 1人のプレーヤーが右打ちでJGA/USGA ハンディキャップインデックス 2.6 を持ち、更に左打ちでJGA/USGA ハンディキャップインデックス 29.3 を持っている。これは認められるか?

回答: 認められない。JGA/USGA ハンディキャップインデックスはすべてのラウンドのベストプレーに基づいている。従って、JGA/USGA ハンディキャップインデックス 29.3 は無効となる。

1-1/2. 左打ちから右打ちに転向したプレーヤー

質問: 左打ちだったプレーヤーが左打ちでのプレーを辞めて、新たに右打ちでプレーを始めた。左打ちで取得したそのプレーヤーのJGA/USGA ハンディキャップインデックスは有効か?

回答: そのプレーヤーが左打ちでプレーしていた時に取得したJGA/USGA ハンディキャップインデックスは有効ではない。プレーヤーは事実上新たにゴルフを始めたことになり、右打ちのプレーで新規にJGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得する必要がある。

1-2/1. 倶楽部の方針がJGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)に則していない

質問: JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) を使用するためには、USGA は「**ゴルフ規則**」および「**JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠)**」に則した倶楽部の方針を義務づけている。もし倶楽部がこれに従わない旨の文書通知を提出した場合、どのような処置を取るのか?

回答： 文書通知を受けた場合、JGA（承認されたゴルフ協会）はその倶楽部に連絡を取る。もし倶楽部に順守を促すことができない場合、JGAは倶楽部に対して文書通知を行い、JGA/USGAハンディキャップインデックスの発行、JGAハンディキャップ規定（USGAハンディキャップシステム準拠）の如何なる部分の使用、およびUSGA商標類の使用は順守なくして不可能である旨を伝える。倶楽部が順守を拒否した場合は、JGAは他のJGA加盟倶楽部およびJGA/USGAハンディキャップインデックスの発行を認められた倶楽部に対して、その倶楽部のJGA/USGAハンディキャップインデックス発行権が無効となった旨を通知する。

1-2/2. JGAの認可を受けていない倶楽部

質問： JGA（承認されたゴルフ協会）の加盟倶楽部でなく、JGAハンディキャップ規定（USGAハンディキャップシステム準拠）の使用をJGAから認められていない倶楽部は、JGA/USGAハンディキャップインデックスを発行することができるか？

回答： できない。JGAハンディキャップ規定（USGAハンディキャップシステム準拠）を使用するためには、すべての倶楽部はJGA（承認されたゴルフ協会）の認可を受けなければならない。

第2章：用語の定義

アクティブシーズン（Active Season）

「アクティブシーズン」とは、JGA（承認されたゴルフ協会）が、その期間中のスコアをハンディキャップ査定に採用できると定めた期間をいう。

調整グロススコア（Adjusted Gross Score）

「調整グロススコア」とは、JGAハンディキャップ規定（USGAハンディキャップシステム準拠）に従って調整したプレーヤーのグロススコアをいい、以下の場合に適用する： ホールアウトしていないホール、コンシードされたストローク、プレーしなかったホールやゴルフ規則の本質に従ってプレーしなかったホール、およびストロークコントロール（第4章参照）。

承認されたゴルフ協会（Authorized Golf Association）

「承認されたゴルフ協会」とは、米国内国歳入法第501条(c)項で定められた課税免除対象となる非営利団体で、特定地域内におけるUSGAハンディキャップシステムおよび/またはUSGAコースレーティングシステムの使用をUSGAに認められたものをいい、またゴルフ倶楽部またはゴルファーによって構成される組織で、規約によって運営され、アマチュアゴルファーのためにUSGAが実施している根幹事業のサポート、およびゴルフ精神の順守と健全な発達を目的としているものをいう。米国内でUSGAによって承認されたゴルフ協会として認可を受けるための必要最低条件についてはUSGAホームページ(www.usga.org)参照。日本ではJGAが唯一の承認されたゴルフ協会である。

ボギーゴルファー（Bogey Golfer）

男子「ボギーゴルファー」とは、標準難易度のコースでコースハンディキャップが20前後のプレーヤーをいう。海拔ゼロメートルでのティーショット平均飛距離は200ヤードで、370ヤードのホールで2オン可能である。女子「ボギーゴルファー」とは、標準難易度のコースでコースハンディキャップが24前後のプレーヤーをいう。海拔ゼロメートルでのティーショット平均飛距離は150ヤードで、280ヤードのホールで2オン可能である。

ボギーレーティング（Bogey Rating）

「ボギーレーティング」とは、USGAの商標であり、通常のコンディションにおけるボギーゴルファーにとってのコース難易度を評価したものである。ヤーデージ、実効プレー距離、および障害難易度が、ボギーゴルファーのスコアに及ぼす影響度に基づいて評価される。

コースハンディキャップ（Course Handicap）

「コースハンディキャップ」とは、USGAの商標であり、特定のティーマーカーからコースをプレーした時にプレーヤーのスコアリング技量をスクラッチレベルに調整するために与えられるハンディキャップストロークをいう。プラスコースハンディキャップのプレーヤーの場合は、スコアリング技量をスクラッチレベルに調整するために差し引かれるハンディキャップストロークをいう。コースハンディキャップは、プレーヤーのJGA/USGAハンディキャップインデックスにコースハンディキャップ換算表またはコースハンディキャップ計算式を適用して決定し(第10-4項参照)、整数で表示する。ハンディキャップアローワンスを適用したり、または異なるJGA/USGAコースレーティングで競技を行う場合は、これらの条件を適用した結果をコースハンディキャップとして採用する。

コースハンディキャップ換算表（Course Handicap Table）

「コースハンディキャップ換算表」とは、特定のティーマーカーのスローレーティングに基づいてJGA/USGAハンディキャップインデックスをコースハンディキャップに換算した結果を示した一覧表をいう。

コースレーティング（Course Rating）

「USGAコースレーティング」参照。

ディファレンシャル（Differential）

「ハンディキャップディファレンシャル」参照。

ストロークコントロール（Equitable Stroke Control / ESC）

「ストロークコントロール(ESC)」とは、プレーヤーの潜在技量をよりハンディキャップに反映させることを目的として、ハンディキャップ査定のために各ホールのスコアを下方修正することをいう。ESCは、プレーヤーのコースハンディキャップに基づいて各ホールの上限スコアを定めており、プレーヤーの実際のスコアまたは最も可能性の高いスコアが、第4-3項の表に定められた上限スコアを超える場合に限り適用する。

ゴルフ協会 (Golf Association)

「承認されたゴルフ協会」参照。

ゴルフ倶楽部 (Golf Club)

「ゴルフ倶楽部」とは、最低10名の会員で構成する組織で、ゴルフ活動の管理、スコア検証の実施、およびJGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)の保全を目的として、規約と委員会(特にハンディキャップ委員会)によって運営されるものをいう(倶楽部コンプライアンスチェックリスト・第8-2m項、および裁定2/7参照)。ゴルフ倶楽部はJGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)を利用するためのUSGAの認可を受けなければならないが、この認可は既にUSGAの認可を受けているJGA(承認されたゴルフ協会)の会員制度を通して受けることができる(付則F参照)。

承認されたゴルフ協会のなかには事務管理上の理由で、ゴルフ倶楽部が承認されたゴルフ協会に加盟する条件として、USGAが定める最低会員数10名を超える所属会員数を義務づける場合がある。

ゴルフ倶楽部の会員同士は、合理的且つ定期的に共にプレーする機会を持たなければならない。スコアは会員本人が提出しなければならないが、また会員仲間や倶楽部のハンディキャップ委員会を含む(但しそれらに限定しない)、他者によるスコアの検証を受けられるようにしなければならない。

ゴルフ倶楽部は、以下3種類のいずれかとする：

タイプ1： タイプ1倶楽部は、有効なJGA/USGAコースレーティングおよびスロープレーティングを保持する特定のゴルフコースに会員が所属し、そのゴルフコースで倶楽部競技の大部分が開催され、また倶楽部のスコア記録が保管されている場合をいう。

タイプ2： タイプ2倶楽部は、職業、共済、民族、または社交上の組織を通して会員が交流し、会員の多数が倶楽部の設立以前から交流関係にある場合をいう。

タイプ3： タイプ3倶楽部は、互いに面識のない者同士が会員として集まり、入会方法の大部分が公募(新聞やインターネットなど)によって行われる場合をいう。

注： JGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)の規定条文中では、JGA/USGAハンディキャップインデックスの取得を目的として認可を受けたゴルフ倶楽部に所属している者を会員と定義している。

グロススコア (Gross Score)

「グロススコア」とは、プレーヤーが実際に費やしたストローク数に罰打を加えたものをいう(調整グロススコア参照)。

ハンディキャップアローワンス (Handicap Allowance)

「ハンディキャップアローワンス」とは、コースハンディキャップの適用率をいい、ハンディキャップ競技での採用が奨励される。適用率は競技方法によって異なり、公平な競技を実施するために設定されている。

ハンディキャップ委員会 (Handicap Committee)

「ハンディキャップ委員会」とは、ゴルフ倶楽部の委員会であり、スコアの検証を含むJGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)の順守を確保するものである。ハンディキャップ委員会のメンバーは、委員長を含み倶楽部会員が多数を占めなければならない。倶楽部の従業員はハンディキャップ委員会のメンバーに加わることはできるが、委員長にはなれない。

ハンディキャップディファレンシャル (Handicap Differential)

「ハンディキャップディファレンシャル」とは、プレーしたティーマーカーのJGA/USGAコースレーティングと調整グロススコアの差に113を掛け、更にスロープレーティングで割ったものをいう。端数を四捨五入した小数第1位までの数値で表示する(例：12.8)。

ハンディキャップインデックス (Handicap Index)

「ハンディキャップインデックス」とは、USGAの商標であり、標準難易度のコースにおけるプレーヤーの潜在技量を示した尺度をいう。小数第1位までの数値で表示され(例：10.4)、コースハンディキャップに換算して使用する(第10章参照)。日本ではJGA/USGAハンディキャップインデックスの名称で使用する。

ハンディキャップホール (Handicap-Stroke Hole)

「ハンディキャップホール」とは、プレーヤーがハンディキャップストロークを与えられるホールをいう(第9-3a項、および第17章参照)。

ハンディキャップタイプ (Handicap Type)

本規定マニュアル内では、種類の異なる「ハンディキャップタイプ」を、下記の略称コードで表示する。

L	=	ローカルハンディキャップ
M	=	ハンディキャップ委員会が修正したハンディキャップ
N	=	9ホールハンディキャップインデックス
NL	=	ローカル9ホールハンディキャップ
R	=	非常に優れたトーナメントスコアにより自動的に低減されたハンディキャップ
SL	=	ショートコースハンディキャップ
WD	=	ハンディキャップ委員会によって無効とされたハンディキャップ

非アクティブシーズン (Inactive Season)

「非アクティブシーズン」とは、JGA(承認されたゴルフ協会)が、その期間中のスコアをハンディキャップ査定に採用できないと定めた期間をいう。

インデックス (Index)

「ハンディキャップインデックス」参照。

JGA/USGA コースレーティング (JGA/USGA Course Rating)

「USGA コースレーティング」参照。

JGA/USGA ハンディキャップインデックス (JGA/USGA Handicap Index)

「ハンディキャップインデックス」参照。

JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) (JGA Handicap Regulation (in compliance with USGA Handicap System))

「USGA ハンディキャップシステム」参照。

ローカルハンディキャップ (Local Handicap)

「ローカルハンディキャップ」とは、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの上限を超えたハンディキャップ (第3-4項)、規定で認められた頻度を超過して査定されたハンディキャップ (第8-3項)、またはプレーヤーの一時的な身体障害に基づいて査定されたハンディキャップのいずれかをいう。ローカルハンディキャップはJGA/USGA ハンディキャップインデックスではなく、必ず略称コード「L」を付記して識別し、倶楽部内の使用に限定しなければならない。ローカルハンディキャップは小数第1位までの数値で示され、コースハンディキャップに換算して使用する (例 41.5L)。(ハンディキャップタイプ、トレンドハンディキャップ、および第3-3項参照。)

最も可能性の高いスコア (Most Likely Score)

「最も可能性の高いスコア」とは、ホールアウトしなかったホールやストロークがコンシードされた場合に、ハンディキャップ査定のためにプレーヤーが提出しなければならないスコアをいう。最も可能性の高いスコアは、実際に費やしたストロークに、50パーセント以上の確率でそこからホールアウトするまでに費やすであろうとプレーヤー自身が判断したストローク数を足したものである。最も可能性の高いスコアは、そのプレーヤーのストロークコントロールのスコア上限を超えることはできない (第4-3項参照)。

ネットスコア (Net Score)

「ネットスコア」とは、プレーヤーのグロススコアからハンディキャップストロークを引いたものをいう。プラスハンディキャップのプレーヤーは、グロススコアにハンディキャップストロークを足したものがネットスコアとなる。

オーバーライド (Override)

「オーバーライド」とは、トーナメントスコアによるハンディキャップの低減 (第10-3項) をハンディキャップ委員会が取り消すことをいう。オーバーライドは、予想される第10-3項のハンディキャップ低減を妨げるための予防手段として使用されることはない。

パー (Par)

「パー」とは、上級プレーヤーにとってそのホールで想定されるスコアをいい、通常のコンディションにおけるプレーで、グリーン上で2打を費やすものとする。JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) や JGA/USGA コースレーティングシステムでは、パーは重要な要素ではない (第16章参照)。

スコアの検証 (Peer Review)

「スコアの検証」とは、プレーヤーの潜在技量を理解し、提出されたスコアに関する裏付けや紛議の合理的基礎を形成するゴルファーの能力をいう。

スコアの検証には、以下2つの必須要素がある。

1. 同一のゴルフ倶楽部に所属する会員同士は、合理的且つ定期的に共にプレーする機会を持たなければならない (裁定 2/8 参照)。
2. スコア記録および JGA/USGA ハンディキャップインデックスリストは、同一倶楽部の会員を含む (但しこれに限定しない)、他者による検査が受けられるように開示されなければならない。スコア記録の表示方法は下記2種類とする。

概要表示 — 概要スコア記録は、直近6回のプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックス変更履歴を、以下の情報と共に表示しなければならない:

スコア、スコアタイプ、レーティング、ディファレンシャル、日付 (年/月)。これらはスコア検証に拘わる者に開示されなければならない。

詳細表示 — 詳細スコア記録は、直近6回のプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックス変更履歴を、以下の情報と共に表示しなければならない:

スコア*、スコアタイプ、レーティング、ディファレンシャル、日付 (年/月/日)。これらは同一倶楽部の会員、倶楽部のハンディキャップ委員会、およびそのプレーヤーが参加する競技の役員に開示されなければならない。

* 詳細スコア記録には各スコアにコース名を付記するものとし、特にタイプ3倶楽部の場合はこれを義務づける。

ペナルティースコア (Penalty Score)

「ペナルティースコア」とは、スコアを提出しないプレーヤーに対して、ハンディキャップ委員会が提出するスコアをいう (第8-4b項参照)。

プラスハンディキャップ (Plus Handicap)

「コースハンディキャップ」参照。

プリファードライ (Preferred Lies)

「プリファードライ (ウィンタールール)」とは、競技を管理する委員会またはコースを管理する委員会が採用することのできるローカルルールをいい、不良な状態がコース全域にわたって拡がっているために、ボールのライの改善を特定の方法で認める方がフェアプレーを積極的に進めることになり、またコースを保護することになると考えた場合に採用できる (第7章、および「ゴルフ規則」付則I参照)。

スコアタイプ (Score Type)

プレーヤーの**スコア記録**では、種類の異なる「**スコアタイプ**」を、下記の略称コードで表示する。

A	=	アウェイスコア
AI	=	アウェイ・インターネットスコア
C	=	連結9ホールスコア
I	=	インターネットスコア
P	=	ペナルティースコア
T	=	トーナメントスコア
TI	=	トーナメント・インターネットスコア

スコアタイプが**トーナメントスコア**または**インターネット**で提出されたスコアの場合は、**調整グロススコア**の後ろに指定略称コードを付記しなければならない。

スコア記録 (Scoring Record)

「**スコア記録**」とは、プレーヤーが提出した直近20枚までのスコアに**採用可能なトーナメントスコア**を加えた記録をいい、各スコアには**JGA/USGA コースレーティング**、**スロープレーティング**、**コース名***、**日付**を付記する。

*タイプ1およびタイプ2 **ゴルフ倶楽部**は奨励、タイプ3 **ゴルフ倶楽部**は義務。

スクラッチゴルファー (Scratch Golfer)

「**スクラッチゴルファー**」とは、レーティング査定されたすべてのコースを**コースハンディキャップ0**(ゼロ)でプレーできるプレーヤーをいう。レーティング査定上の定義は、男子**スクラッチゴルファー**は、海拔ゼロメートルでティーショット平均飛距離250ヤード、470ヤードのホールで2オン可能。女子**スクラッチゴルファー**は、海拔ゼロメートルでティーショット平均飛距離210ヤード、400ヤードのホールで2オン可能である。

スロープレーティング (Slope Rating)

「**スロープレーティング**」とは、USGAの商標であり、**スクラッチゴルファー**以外のプレーヤーにとってのコース難易度を、**JGA/USGA コースレーティング**(つまり**スクラッチゴルファー**のコース難易度)との相対比較によって示した尺度である。**スロープレーティング**は**JGA/USGA コースレーティング**と**ボギーレーティング**の差に基づいて算出され、最少55から最大155までの数値で示される。標準難易度のコースの**スロープレーティング**は113である。

正規のラウンド (Stipulated Round)

「**正規のラウンド**」は、委員会が別途承認した場合を除き、コース内の複数ホールを正しい順番でプレーすることから成る。正規の1ラウンドのホール数は18である。但し、委員会によって例外的に18より少ないホール数が承認された場合を除く。タイの場合には、委員会は、マッチの勝ちが決まるのに必要な数だけ、**正規のラウンド**を延長することができる(「**ゴルフ規則**」用語の定義、規則2-3、および本規定第9-5a(i)項参照)。

ストロークホール (Stroke Hole)

「**ハンディキャップホール**」参照。

トーナメントスコア (Tournament Score)

「**トーナメントスコア**」とは、競技を管理する委員会によって開催される競技で出されたスコアをいう。競技は**正規のラウンド**に基づいて優勝者を決定しなければならない、**ゴルフ規則**の本質に従ってプレーされなければならない(第10-3項、および裁定10-3/1～10-3/6参照)。

上記の定義を指針として、委員会は(競技を管理する委員会と協議したうえで**ハンディキャップ委員会**がこれを担うのが望ましい)、その競技が**トーナメントスコア**の条件を満たしているかどうかを事前に決定し、スコア提出の際に略称コード「T」を付記しなければならないかどうかを事前に通知しなければならない。

日常的に行われている競技(オープンコンペなど)は、伝統、スケジュール、競技形態、および倶楽部の会員制度に関わる重要度が低いいため、通常は**トーナメントスコア**に指定されない。

倶楽部間競技は、上記要件を満たす場合に、以下のような例が**トーナメントスコア**として提出することができる: 年齢制限のある競技、メンバー・ゲスト競技、チーム戦、地域および全国競技の予選、ゴルフ協会が開催する競技。

倶楽部内競技は、上記要件を満たす場合に、以下のような例が**トーナメントスコア**として提出することができる: グロス競技、ハンディキャップ競技、フォアボールマッチ、ストロークプレー競技、ステーブルフォード競技、および倶楽部チャンピオンシップ(ストロークプレー、マッチプレー、スクラッチ、アンダーハンディキャップで行われる場合)。

トレンドハンディキャップ (Trend Handicap)

「**トレンドハンディキャップ**」とは、仮ハンディキャップをいい、これには直近のハンディキャップ査定後に提出され検証を受けていないスコアを含むことができる。**トレンドハンディキャップ**は**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**ではなく、必ず略称コード「L」を付記して識別し、倶楽部内の使用に限定しなければならない(「**ローカルハンディキャップ**」参照)。

USGA コースレーティング (USGA Course Rating)

「**USGA コースレーティング**」とは、USGAの商標であり、**スクラッチゴルファー**が通常のコンディションでプレーした場合のコース難易度を示す尺度である。小数第1位までの数値で示され、ヤードージ、実効プレー距離、および障害難易度が、**スクラッチゴルファー**のスコアに及ぼす影響度に基づいて評価される。日本では**JGA/USGA コースレーティング**の名称で使用する。

USGA ハンディキャップインデックス (USGA Handicap Index)

「**ハンディキャップインデックス**」参照。

USGA ハンディキャップシステム (USGA Handicap System)

「**USGA ハンディキャップシステム**」とは、USGAの商標であり、技量の異なるプレーヤーが公平に競い合えるようにするためのUSGAのゴルフ技量評価方法を示すものである。日本では**JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠)**の名称で使用する。

ウィンタールール (Winter Rules)

「**プリファードライ**」参照。

【裁定集】第2章：用語の定義

2/1. 「ゴルフ倶楽部」の定義

質問： あるゴルフ団体は、広範囲の地域内に居住するプレーヤーが誰でも入会できる会員制度を運営している。通常会員は地域内にある様々なゴルフ施設でプレーし、会員同士と一緒にプレーすることはない。この団体は、第2章で定義されているゴルフ倶楽部に当てはまるか？

回答： 当てはまらない。ゴルフ倶楽部と見なすためには、「会員同士は、合理的且つ定期的に共にプレーする機会を持たなければならない」と第2章で明記されている。また、同一ゴルフ倶楽部でJGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得する会員は、狭い範囲の地域内に居なければならない。例えば、会員の自宅または会社住所は、タイプ3ゴルフ倶楽部の場合、通常ゴルフ倶楽部の主たる所在地から半径約50マイル(約80km)以内でなければならず、タイプ2ゴルフ倶楽部の場合は半径約75マイル(約120km)以内でなければならない(タイプ2およびタイプ3倶楽部のみに適用)。【2012年改訂】

2/2. (保留)

2/3. (保留)

2/4. 練習場が会員に対して発行したJGA/USGA ハンディキャップインデックス

質問： 練習場はJGA ハンディキャップ規定(USGA システム準拠)を使用できるか？

回答： できる。練習場で一緒に練習することは、ゴルフ倶楽部の定義で定める「共にプレーする機会」には当てはまらないが、ゴルフ倶楽部の主たる所在地を練習場に置くことは問題ない。会員同士が合理的且つ定期的に共にプレーする機会を持ち、スコアの検証が実施され、倶楽部コンプライアンスチェックリストのすべての要件が満たされていれば、その倶楽部はJGA/USGA ハンディキャップインデックスを発行することができる(裁定2/7参照)。

2/5. 会社の従業員で構成されたゴルフ倶楽部

質問： ある会社の従業員52名がゴルフ倶楽部を設立した。会員は同じ職場で働き、毎週1回仕事の後にリーグ戦を行っている。倶楽部はUSGAの規約例に基づいて規約を制定し、役員会議を実施している。ハンディキャップ委員会も設置し、ハンディキャップに関する報告は掲示板を通して全会員に通知している。スコアは会員各自が提出し、ハンディキャップ委員会によって検証されている。JGA ハンディキャップ規定(USGA システム準拠)のその他の要件もすべて順守している。このグループはJGA ハンディキャップ規定(USGA システム準拠)の使用認可を受けることができるか？

回答： できる。会員同士が共にプレーし、提出されたスコアを検証する合理的且つ定期的な機会を持っており、またハンディキャップ委員会が第8章に明記されるスコア検証の監視要件を満たす合理的機会を持っていることによって、スコア検証の基準は満たされている。

2/6. 公募によって会員を募っている団体

質問： 新聞やWEBサイト上の募集広告によってゴルフ倶楽部と称する組織への入会を募っている団体がある。プレーヤーはWEBサイトまたは郵送で入会申込みおよび会費の支払を行う。会員は頻繁に開催されるトーナメントに参加することができ、ハンディキャップレポートとスコア記録はWEBサイトまたは郵送により査定日に各会員へ通知される。会員は通常インターネット上でスコアを提出し、JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発給される。この団体は、JGA ハンディキャップ規定(USGA システム準拠)が定めるゴルフ倶楽部の定義を満たし、JGA ハンディキャップ規定(USGA システム準拠)を使用することができるか？

回答： できる。ゴルフ倶楽部の定義(第2章)に明記されている通り、タイプ3倶楽部は公募によって会員を募集するものと考えられている。但し、ゴルフ倶楽部の定義に加えて、ゴルフ倶楽部は、倶楽部コンプライアンスチェックリスト(第8-2m項参照)、および裁定2/7の記載内容を含むJGA ハンディキャップ規定(USGA システム準拠)のすべてを順守しなければならない(裁定5-2a/9参照)。

2/6.5. 会員の公募がゴルフ倶楽部のタイプ種別に及ぼす影響

質問： 現在タイプ1またはタイプ2に分類されている倶楽部が公募によって会員を増員することはできるか？ また公募を実施したことにより、タイプ3倶楽部へ種別変更されるか？

回答： タイプに関係なくゴルフ倶楽部が会員を公募することは問題ない。公募により入会した会員が全体のなかで比較的少数であれば、倶楽部タイプの種別に影響は及ばない。

2/6.7. 会員制度に関わる第三者

質問： 複数のゴルフ倶楽部が共同で新規会員の公募を行い、第三者が関与して各倶楽部への入会手続きを実施した。これは認められるか？

回答： 各ゴルフ倶楽部は規約によって新規会員の承認手続きを定めることができる。第三者はプレーヤーに対して特定のゴルフ倶楽部へ入会できる可能性を告知することはできるが、入会申込み手続きはプレーヤー個人が行い、倶楽部によって承認されなければならない。入会候補者は、これらの要件を満たさない限り、倶楽部会員にはなれない。

2/7. ゴルフ倶楽部の定義に定められている、ゴルフ倶楽部のタイプ種別に関する順守・認可要件について

「主たる所在地」（タイプ2および3倶楽部のみ適用）

ゴルフ倶楽部の主たる所在地は、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) の使用許可申請を行った時点で実際に倶楽部が所在している住所でなければならない。そのゴルフ倶楽部が存在している限り、JGA (承認されたゴルフ協会) への事前文書通知なくして主たる所在地を変更することはできない。ゴルフ倶楽部から JGA/USGA ハンディキャップインデックスの発給を受けている会員は、狭い範囲の地域内に居なければならない。例えば、会員の自宅または会社住所は、タイプ3 ゴルフ倶楽部の場合、通常ゴルフ倶楽部の主たる所在地から半径約 50 マイル (約 80km) 以内でなければならない。またタイプ2 ゴルフ倶楽部の場合は、通常ゴルフ倶楽部の主たる所在地から半径約 75 マイル (約 120km) 以内でなければならない。【2012 年改訂】

「身分証明書」（タイプ3倶楽部のみ適用）

ゴルフ倶楽部の会員になるためには、各個人は身分および居住地に関する証明書を倶楽部に提出しなければならない。

「必要なプレー回数と倶楽部の規模」（タイプ3倶楽部のみ適用）

USGA は各倶楽部会員に対して、他の会員とラウンドしたスコアを毎シーズン最低 3 枚提出し、そのうち最低 1 枚は倶楽部主催競技であることを求めている。この最低条件を満たさない者は、ハンディキャップを無効にすべきである。

ゴルフ倶楽部の規模には限りがある。会員数が倶楽部主催競技の参加可能人数を超える場合、必要なプレー回数の要件を満たすことができない。例えば、会員数 200 名の倶楽部が、最大出場数 15 名の主催競技を 8 回しか開催しなかった場合、全会員が倶楽部主催競技に参加することはできない (8 競技 × 15 名 = 120 名 < 会員数 200 名)。

「会員組織のまとまり」（全タイプに適用）

JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) を使用するには、ゴルフ倶楽部には会員組織のまとまりがなくてはならない。そのためにトーナメント以外のグループ活動が必要であり、グループの指針や、会議や懇親会などの催事も必要である。

「連絡先情報」（全タイプに適用）

ゴルフ倶楽部会員の連絡先については、全会員が情報を共有できるようにしなければならない。

2/7.5. 倶楽部主催競技

質問： 裁定 2/7 の「プレー回数の要件」に関する項目で触れられている倶楽部主催競技とは、どのようなものを指すのか？

回答： 倶楽部主催競技とは、ゴルフ倶楽部が主催し、参加者の多数が倶楽部会員であり、参加者が同じゴルフコースで同一ラウンドをプレーするものをいう。競技方法はハンディキャップ査定に採用できるスコアによって最終結果を決めるものでなければならない。またゴルフ規則の理念に則ってプレーされなければならない。普段は共にプレーすることがない会員同士が倶楽部主催競技を通して交流できれば、スコア検証の実施を促進できる。但し、会員数 150 名の倶楽部が参加者数 4 名の競技を開催しても、倶楽部主催競技の要件を満たしたことはない。(新規追加項目)

2/8. 合理的且つ定期的に共にプレーする機会

質問： 「ゴルフ倶楽部」および「スコア検証」の定義のなかで、「同一倶楽部の会員同士が合理的且つ定期的に共にプレーする機会を持たなければならない」と記されているが、同じコースを別の組でプレーした場合は、この要件に当てはまるか？

回答： 当てはまらない。プレーヤーの潜在技量を理解し、提出されたスコアに関する裏付けや紛議の合理的基礎を形成するためには、同一倶楽部の会員同士が同じ組と一緒にプレーしなければならない。「ゴルフ倶楽部」および「スコア検証」の定義で示されているように、同じ日に同じコースでプレーしたというだけではスコア検証の必要条件を満たさない。

パートII – ハンディキャップに関するプレーヤーの責任

第3章： プレーヤー

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、提出されたスコアに基づいて算出されたものであり、ティーマーカー毎にコースハンディキャップに換算して競技に使用する。

3-1. JGA/USGA ハンディキャップインデックスの取得

JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得するためには、プレーヤーは認可を受けたゴルフ倶楽部に所属して調整グロススコアを提出しなければならない。これらのスコアは検証を受け、提出枚数が5枚に達した後、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) に基づいて倶楽部はプレーヤーに JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発行できる。

3-2. JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用方法

ゴルフ倶楽部が発行する JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、スロープレーティング 113 のコースにおけるプレーヤーの潜在技量を示した数値であり、JGA (承認されたゴルフ協会) が定めたハンディキャップ更新日に更新・再発行される。直近の更新日に発行された自身の JGA/USGA ハンディキャップインデックスを知っておくことはプレーヤーの責任である。プレーヤーは JGA/USGA ハンディキャップインデックスをコースハンディキャップに換算して使用しなければならない。例えば、本章 P18 のコースハンディキャップ換算表サンプル例に示されているように、JGA/USGA ハンディキャップインデックス 16.2 は、スロープレーティング 140 のコースではコースハンディキャップ 20 となる (裁定 3-2/1、および 3-2/2 参照)。

3-3. コースハンディキャップ

コースハンディキャップは、プレーするコースとティーマーカーに応じてプレーヤーが受けるハンディキャップストロークである。

プレーヤーは、コースハンディキャップ換算表を使用して、JGA/USGA ハンディキャップインデックスをコースハンディキャップに換算する。レーティング査定された各ティーには、それぞれのスロープレーティングに基づいて男女別々にコースハンディキャップ換算表が設置されている。正しいコースハンディキャップを決定し、ハンディキャップストロークを与えたり受けるホールを知っておくことはプレーヤーの責任である (第 3-6 項、および「ゴルフ規則」規則 6-2 参照)。

コースハンディキャップは、プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスにプレーするティーのスロープレーティングを掛け、これを 113 で割ることによって決定する (第 10-4 項参照)。上記計算式の結果は小数点以下を四捨五入した整数で表示する。

ネットスコアが、プレーしたティーの JGA/USGA コースレーティングと同じだった場合、そのプレーヤーは自分のハンディキャップ通りのプレーをしたということになる。一般的に、このようなプレーは 4～5 ラウンドに 1 回あると考えられる。

コースハンディキャップ換算表はコースハンディキャップを決定するためのものであり、有効な JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングを持つゴルフ倶楽部は、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) と併用する場合に限り使用が認められる。

注： コースハンディキャップ換算表には、当該ティーの JGA/USGA コースレーティングが明記されているものとする (P18 コースハンディキャップ換算表サンプル例参照)。

コースハンディキャップ換算表

発行： 日本ゴルフ協会

倶楽部名： JGA ゴルフ倶楽部 Tee： バックティー

スロープレーティング： 140

JGA/USGA コースレーティング： 72.7 ボギーレーティング： 98.7

性別： X 男子 女子

JGA/USGA ハンディキャップ インデックス	コース ハンディキャップ	JGA/USGA ハンディキャップ インデックス	コース ハンディキャップ
+3.5 ~ +2.9	+4	16.6 ~ 17.3	21
+2.8 ~ +2.1	+3	17.4 ~ 18.1	22
+2.0 ~ +1.3	+2	18.2 ~ 18.9	23
+1.2 ~ +0.5	+1	19.0 ~ 19.7	24
+0.4 ~ 0.4	0	19.8 ~ 20.5	25
0.5 ~ 1.2	1	20.6 ~ 21.3	26
1.3 ~ 2.0	2	21.4 ~ 22.1	27
2.1 ~ 2.8	3	22.2 ~ 23.0	28
2.9 ~ 3.6	4	23.1 ~ 23.8	29
3.7 ~ 4.4	5	23.9 ~ 24.6	30
4.5 ~ 5.2	6	24.7 ~ 25.4	31
5.3 ~ 6.0	7	25.5 ~ 26.2	32
6.1 ~ 6.8	8	26.3 ~ 27.0	33
6.9 ~ 7.6	9	27.1 ~ 27.8	34
7.7 ~ 8.4	10	27.9 ~ 28.6	35
8.5 ~ 9.2	11	28.7 ~ 29.4	36
9.3 ~ 10.0	12	29.5 ~ 30.2	37
10.1 ~ 10.8	13	30.3 ~ 31.0	38
10.9 ~ 11.7	14	31.1 ~ 31.8	39
11.8 ~ 12.5	15	31.9 ~ 32.6	40
12.6 ~ 13.3	16	32.7 ~ 33.4	41
13.4 ~ 14.1	17	33.5 ~ 34.3	42
14.2 ~ 14.9	18	34.4 ~ 35.1	43
15.0 ~ 15.7	19	35.2 ~ 35.9	44
15.8 ~ 16.5	20	36.0 ~ 36.7	45

換算表の使用方法について

- プレーヤーのJGA/USGAハンディキャップインデックスに該当する欄からコースハンディキャップを選んで下さい。
- 上記換算表はサンプル例です。実際のラウンド時には、使用ティーに設置されている換算表(性別毎)を使用して下さい。

3-4. JGA/USGAハンディキャップインデックスの上限

JGA/USGAハンディキャップインデックスの上限は、男子36.4、女子40.4とする(第10-5d項参照)。

注：スロープレーティング113を超えるゴルフコースでは、JGA/USGAハンディキャップインデックス上限値をコースハンディキャップに換算すると、この上限値よりも大きい数値になる。

例：JGA/USGAハンディキャップインデックス36.4のプレーヤーは、スロープレーティング133のコースでは、コースハンディキャップ43となる。

プレーヤーは、この上限を超えるローカルハンディキャップを持つことができるが、その場合、ハンディキャップカードやレポートには必ず略称コード「L」を付記してローカルハンディキャップであることを明確にしなければならない(例：41.5L)。このようなローカルハンディキャップを倶楽部間競技で使用する場合は、本項で定めるJGA/USGAハンディキャップインデックス上限値まで減らして使用することをUSGAは奨励している。

3-5. 異なるティーインググラウンドを使用する競技、男女が同じティーインググラウンドを使用する競技

■ a. 異なるティーインググラウンド：男子 vs 男子、女子 vs 女子、男子 vs 女子

通常、異なるティーにはそれぞれ異なるレーティングが設定されている。JGA/USGAコースレーティングはスクラッチゴルファーの想定スコアを表したものであり、レーティングが高いコースほど難易度が高くなる。従って、JGA/USGAコースレーティングの高いティーを使用するプレーヤーは、双方のJGA/USGAコースレーティングの差(小数点以下を四捨五入した整数)をコースハンディキャップに追加する(裁定3-5/1参照)。

例1：ミドルティー(男子JGA/USGAコースレーティング70.3)を使用する男子と、バックティー(男子JGA/USGAコースレーティング72.6)を使用する男子が対戦する場合、バックティーのプレーヤーはコースハンディキャップに2打を追加する(72.6 - 70.3 = 2.3 → 四捨五入 → 2)。

例2：フォワードティー(女子JGA/USGAコースレーティング73.4)を使用する女子と、ミドルティー(男子JGA/USGAコースレーティング70.9)を使用する男子が対戦する場合、フォワードティーの女子はコースハンディキャップに3打を追加する(73.4 - 70.9 = 2.5 → 四捨五入 → 3)。

■ b. 同じティーインググラウンド：男子 vs 女子

男子と女子が対戦する場合、同じティーからプレーしてもレーティングは男女で異なる。通常JGA/USGAコースレーティングは男子より女子の方が高いため、女子は双方のJGA/USGAコースレーティングの差(小数点以下を四捨五入した整数)をコースハンディキャップに追加する。

例：ミドルティー(女子JGA/USGAコースレーティング77.3)を使用する女子と、同じミドルティー(男子JGA/USGAコースレーティング70.9)を使用する男子が対戦する場合、女子はコースハンディキャップに6打を追加する(77.3 - 70.9 = 6.4 → 四捨五入 → 6)。

上記のハンディキャップ調整を行った結果が使用するティーの**スロープレーティング**に設定された**コースハンディキャップ**最大値を超える場合でも、レーティングの高いティーを使用するプレーヤーの**コースハンディキャップ**には、必ず追加ストロークを加えなければならない。但し別の方法として、**JGA/USGA コースレーティング**が低いティーを使用するプレーヤーの**コースハンディキャップ**から、該当するストロークを差し引くことも可能。

第 3-5 項の正しい適用手順:

ステップ 1: 第 3-3 項に従って、使用するティーの**コースハンディキャップ**を計算する。

各プレーヤーの**コースハンディキャップ**は、プレーするティーに設置されている男女別の**コースハンディキャップ換算表**を使用するか、または**コースハンディキャップ計算式(JGA/USGA ハンディキャップインデックス × プレーするティーのスロープレーティング ÷ 113)**を使用して決定する。

例: **JGA/USGA ハンディキャップインデックス 26.5**の女子が**スロープレーティング 120**のティーからプレーする場合、**コースハンディキャップ**は**28**となる(第 3-3 項の**コースハンディキャップ計算式**参照)。

JGA/USGA ハンディキャップインデックス 26.5の男子が**スロープレーティング 115**のティーからプレーする場合、**コースハンディキャップ**は**27**となる(第 3-3 項の**コースハンディキャップ計算式**参照)。

ステップ 2: 第 9-4 項に従って、**ハンディキャップアローワンス**を適用する(適用可能な場合)。

例: フォアボールストロークプレー競技で男子は**90**パーセント、女子は**95**パーセントの**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**を採用すると競技委員会が決定したとする。

ステップ 1 で**コースハンディキャップ 27**となった男子は**コースハンディキャップ 24**となる($27 \times 0.9 = 24.3 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 24$)。

ステップ 1 で**コースハンディキャップ 28**となった女子は**コースハンディキャップ 27**となる($28 \times 0.95 = 26.6 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 27$)。

ステップ 3: それぞれの使用ティーに設定されている**JGA/USGA コースレーティング**の差を計算する(小数点以下を四捨五入した整数)。

例: 男子はミドルティー(男子**JGA/USGA コースレーティング 73.7**)、女子はフロントティー(女子**JGA/USGA コースレーティング 69.8**)を使用する。双方のレーティングの差を計算すると、 $73.3 - 69.8 = 3.9 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 4$ となる。

上記で算出したレーティング差を、**JGA/USGA コースレーティング**の高いティーを使用するプレーヤーの**コースハンディキャップ**に追加する。但し別の方法として、**JGA/USGA コースレーティング**が低いティーを使用するプレーヤーの**コースハンディキャップ**から、該当するストロークを差し引くことも可能(裁定 3-5/1 参照)。

例: **JGA/USGA コースレーティング**の高いティー(73.7)を使用する男子の**コースハンディキャップ**は、ステップ 2 で導き出した数値に 4 打を追加して**28**となり、女子はステップ 2 のまま**27**となる。

一方、**JGA/USGA コースレーティング**が低いティーを使用する女子の**コースハンディキャップ**から該当するストロークを差し引いた場合、ステップ 2 の数値から 4 打を引いて**23**となり($27 - 4 = 23$)、男子はステップ 2 のまま**24**となる。

注: ステップ 2 およびステップ 3 で与えたり受けるストロークは、ハンディキャップ査定のために**ストロークコントロール (ESC)**を実施する際には無視する(第 4-3 項、例 2 および例 3 参照)。例えば、第 3-5 項の調整で**コースハンディキャップ 25**に 3 打追加した場合、競技上の正しい**コースハンディキャップ**は**28**だが(第 3-6 項参照)、**ストロークコントロール(ESC)**を実施する際の**コースハンディキャップ**は**25**である。

**第 3-5 項の図例
公平な競技の促進**

プレーヤー A ゴールドティー	VS 使用ティー	プレーヤー B ブルーティー
10.4 130 12 <u>+71.1</u> 83	JGA/USGA ハンディキャップインデックス スロープレーティング コースハンディキャップ JGA/USGA コースレーティング 目標スコア	10.4 140 13 <u>+73.2</u> 86
83 <u>-12</u> 71	目標スコア <u>コースハンディキャップ (第 3-5 項調整後)</u> ネットスコア	86 <u>-15</u> 71

付則 D - 第 3-5 項、および第 9-3c 項の解説文書サンプル例参照。

3-6. 競技における正しいハンディキャップの適用

「ゴルフ規則」の規則 6-2 では、競技において正しいハンディキャップを適用することをプレーヤーに義務づけている。競技における正しいハンディキャップとは、**ハンディキャップアローワンス**、競技の条件、異なるティーを使用する競技、または男女が同じティーを使用する競技の結果として、与えたり受けるハンディキャップストロークを調整した**コースハンディキャップ**をいう(第 9-4 項、および第 3-5 項参照)。

■ a. マッチプレー

ハンディキャップ競技では、マッチを始める前に、プレーヤーは互いにそれぞれの**コースハンディキャップ**を決める。プレーヤーがそのプレーヤーに認められる**コースハンディキャップ**よりも多い**コースハンディキャップ**を宣言した上でマッチを始め、このことが与えたり受けるストローク数に影響した場合、そのプレーヤーは競技失格となる。それ以外の場合には、プレーヤーは宣言した**コースハンディキャップ**でプレーしなければならない。

■ b. ストロークプレー

ハンディキャップ競技では、プレーヤーは毎ラウンド、委員会にスコアカードを提出する前に、スコアカードに自分の**コースハンディキャップ**が記入されていることを確認しなければならない。提出されたスコアカード(規則 6-6b)に**コースハンディキャップ**の記入がない場合、または記入された**コースハンディキャップ**が認められているものよりも多くそのために受けるハンディキャップストローク数に影響した場合、そのプレーヤーは競技失格となる。それ以外の場合には、提出されたスコアカードはそのまま有効である。

注: ハンディキャップストロークを与えたり受けるホールを知っておくことは、プレーヤーの責任である。

【裁定集】第3章: プレーヤー

3-2/1. ハンディキャップインデックス(N)(9ホールハンディキャップインデックス)を持つプレーヤーが18ホール競技に参加する場合

質問: ハンディキャップインデックス(N)(第10-5項参照)を持つプレーヤーが18ホール競技への参加を望んでいるが、そのプレーヤーは18ホールのJGA/USGAハンディキャップインデックスを持っていない。このプレーヤーはどのように18ホールのハンディキャップを算出するべきか?

回答: 9ホールハンディキャップインデックスを持つプレーヤーは、それを2倍して18ホールのプレーに使用する。但し、9ホールハンディキャップインデックスは、18ホールのJGA/USGAハンディキャップインデックスよりも正確でないということが言える。半分のホール数のスコアに基づいているために、そのプレーヤーが受けるストロークは、18ホールのJGA/USGAハンディキャップインデックスよりも一般的に1または2打少なくなる。

3-2/2. 18ホールのJGA/USGAハンディキャップインデックスと、ハンディキャップインデックス(N)(9ホールハンディキャップインデックス)を持つプレーヤー

質問: あるプレーヤーが18ホールのJGA/USGAハンディキャップインデックスとハンディキャップインデックス(N)を持っているが、ハンディキャップインデックス(N)を2倍しても18ホールのJGA/USGAハンディキャップインデックスと同じにならない。このプレーヤーは競技ではどちらのハンディキャップインデックスを使用すればよいか?

回答: 18ホール競技では18ホールのJGA/USGAハンディキャップインデックスを使用し、ハンディキャップインデックス(N)は9ホール競技で使用する。

3-5/1. JGA/USGAコースレーティングが異なる2つのティーを使用する競技で、参加者の多数がレーティングの高いティーを使用する場合のレーティング差調整方法

質問: 異なる2つのティーのJGA/USGAコースレーティングの差を調整する場合、レーティングの高いティーを使用するプレーヤーのコースハンディキャップにレーティング差を追加しなければならないとなっている。参加者100名の競技で88名がバックティーを使用し、12名がフォワードティー

を使用する場合、レーティングの差を88名のコースハンディキャップに加えるのではなく、委員会は12名のコースハンディキャップから差し引くことができるか?

回答: できる。全体的な影響は変わらないため、このような場合、委員会はレーティング差を差し引いて調整することができる。

3-5/2. ゴルフクラブがJGAハンディキャップ規定(USGAシステム準拠)第3-5項の規定に則さない措置をとる

質問: 異なるティーを使用した競技において、ゴルフクラブはJGAハンディキャップ規定(USGAシステム準拠)第3-5項の規定に則さない措置をとることができるか?

回答: できない。異なるティーを使用する競技でJGAハンディキャップ規定(USGAシステム準拠)第3-5項の規定を適用しないことは、「ゴルフ規則」の適用を排除することになり、競技を管理する委員会は「ゴルフ規則」の適用を排除する権限を持たない(ゴルフ規則裁定6-2/1参照)。

3-6/1. プレーヤーがJGAハンディキャップ規定(USGAシステム準拠)で認められるハンディキャップよりも多いハンディキャップをマッチで使用した場合

質問: コースハンディキャップ23のプレーヤーAと、コースハンディキャップ31のプレーヤーBがマッチで対戦した。第9-4a(i)項に定められているハンディキャップアローワンスを適用して、両者のコースハンディキャップの差である8打がプレーヤーBに与えられ、そのマッチはプレーヤーBが1アップで勝った。しかしプレーヤーAがプレーヤーBのハンディキャップについて質問したところ、JGAハンディキャップ規定(USGAシステム準拠)に定められているストロークコントロール(ESC)によるホールスコア調整を行っていなかったことをプレーヤーBは認めた。もしESCによるホールスコア調整を行っていたら、プレーヤーBのコースハンディキャップは29であったと判断し、委員会はプレーヤーBを規則6-2aの違反で失格とした。委員会の裁定は正しいか?

回答: 「ゴルフ規則」の規則6-2aには次のように明記している。『ハンディキャップ競技では、マッチを始める前に、プレーヤーは互いにそれぞれのハンディキャップを決めるべきである。プレーヤーがそのプレーヤーに認められるハンディキャップよりも多いハンディキャップを宣言した上でマッチを始め、このことが与えたり受けるストローク数に影響した場合、そのプレーヤーは競技失格となる。それ以外の場合には、プレーヤーは宣言したハンディキャップでプレーしなければならない。』

たとえESCによるホールスコアの調整をプレーヤーBが怠ったためにコースハンディキャップが正確でないとしても、プレーヤーBのコースハンディキャップは31である。従って、プレーヤーBは規則6-2aに違反しておらず、マッチの結果はそのままである。

プレーヤーがハンディキャップ査定のために各ホールのスコアを正しく記入したり提出したかどうかを、競技を開催する委員会が判断するのは現実的ではなく、「ゴルフ規則」は、プレーヤーがこれらを正しく行っていることを前提としている。従ってこのような場合には、ハンディキャップ査定のために提出したスコアにストロークコントロールを適用しなかったことを理由に、JGAハンディキャップ規定(USGAシステム準拠)第8-4c項の規定に基づいて、ハンディキャップ委員会がプレーヤーBに対して適切な処置を下す。

第4章：ホールスコアの調整

用語の定義

定義は**ゴシック体**で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

ゴルフのゲームでは、プレーヤーが常に最善のプレーに務めることを前提としている。**JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠)**は、ホールアウトしていないホール、プレーしなかったホール、またはゴルフ規則の本質に従ってプレーしなかったホールのスコアを記入すること、並びに**ストロークコントロール**のホール上限スコアを超えるスコアを下方修正することを、各プレーヤーに義務づけている。

4-1. ホールアウトしていないホール、コンシードされたストローク

ホールアウトしなかったホールやストロークがコンシードされたホールがある場合、プレーヤーはハンディキャップ査定のために、そのホールに**最も可能性の高いスコア**を記入しなければならない。**最も可能性の高いスコア**は、第4-3項に定義されているそのプレーヤーの**ストロークコントロール**の上限スコアを超えることはできない。**最も可能性の高いスコア**は、略称コード「X」を付記して記入する(裁定4-1/1参照)。

ホールアウトしなかった理由がハンディキャップの改ざん目的でなければ、プレーヤーが1ラウンド中に認められるホールアウトしなかったホールの数に上限はない。

例1: プレーヤーAとプレーヤーBは、フォアボールストロークプレー競技にパートナーとして参加した。両者ともにハンディキャップを受けないホールで、Aは第2打をホールまで残り6メートルにつけ、Bは残り8メートルにつけた。Bが先に第3打のパットを入れ、AはBのスコアを上回る可能性が無くなったために球をピックアップした。この場合、プレーヤーAの**最も可能性の高いスコア**は「4」となり、スコアカードには「X-4」と記入する。

例2: プレーヤーAとプレーヤーBがマッチプレーで対戦した。両者ともにハンディキャップを受けないホールで、Aはスコア「4」で先にホールアウトし、Bはカップまで10メートルの第5打を残した。このホールのBの負けが決定したために、Bは球をピックアップした。この場合、プレーヤーBの**最も可能性の高いスコア**は「6」となり、スコアカードには「X-6」と記入する。

例3: プレーヤーAとプレーヤーBがマッチプレーで対戦した。両者ともにハンディキャップを受けないホールで、Aは第4打をカップまで30センチにつけ、Bは残り3メートルの第4打パットを外した。両者はともにコンシードし、このホールを分けた。この場合、プレーヤーAとプレーヤーBの**最も可能性の高いスコア**は「5」となり、スコアカードには両者とも「X-5」と記入する。

4-2. プレーしなかったホール、ゴルフ規則の本質に従ってプレーしなかったホール

プレーしなかったホールやゴルフ規則の本質に従ってプレーしなかったホール(プリファードライの場合を除く)がある場合、プレーヤーはハンディキャップ査定のために、そのホールのパーにそのホールでプレーヤーが受けるハンディキャップストロークを加えたスコアを記入しなければならない。このスコアは、略称コード「X」を付記して記入する。

例: **コースハンディキャップ10**のプレーヤーは、ハンディキャップホールの最初の10ホールで各ハンディキャップストローク1打を受ける。6番目のハンディキャップホール(パー4)がグリーン改造中だったためにプレーしなかった場合、そのホールはパー(4)にハンディキャップストローク(1)を加え、スコアカードに「X-5」と記入しなければならない(裁定4-2/1、第5-2b項参照)。

4-3. ストロークコントロール (ESC)

トーナメントスコアを含む、ハンディキャップ査定のために提出するすべてのスコアには、**ストロークコントロール (ESC)**を適用しなければならない。**ストロークコントロール**は、プレーヤーの潜在技量をよりハンディキャップに反映させることを目的として、ハンディキャップ査定のために1ホールのスコアに上限を定めて調整する。

ESCを適用していないスコアによって査定されたハンディキャップを、**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**と呼ぶことはできない。

ESCは、下記の表に基づいて、プレーヤーの実際のスコアまたは**最も可能性の高いスコア**が1ホールのスコア上限を超えた場合に、使用するティーの**コースハンディキャップ**に応じて適用する(9ホールの**ストロークコントロール**については第10-5c項参照)。

ストロークコントロール (ESC)

コースハンディキャップ	1ホールのスコア上限
9以下	ダブルボギー
10～19	7
20～29	8
30～39	9
40以上	10

例: **コースハンディキャップ6**のプレーヤーは、1ホールのスコア上限は「パー+2打」(ダブルボギー)。**コースハンディキャップ13**のプレーヤーは、パーに関係なく1ホールのスコア上限は「7打」。**コースハンディキャップ42**のプレーヤーは、パーに関係なく1ホールのスコア上限は「10打」である。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得していないプレーヤーは、**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**上限値(男子36.4、女子40.4)を使用して**コースハンディキャップ**を決定し、**ストロークコントロール**を実施しなければならない。

ストロークコントロールを適用できるホールスコアに制限はない。

例: **コースハンディキャップ23**のプレーヤーがスコア106でラウンドし、そのうち3ホールのスコアが「9」、「10」、「11」だった。この場合、ホールスコア上限「8」を超えるものすべてに**ESC**を適用し($[9-8] + [10-8] + [11-8] = 6$)、**調整グロススコア100**をハンディキャップ査定のために提出する。

競技の条件、**ハンディキャップアローワンス**、異なるティーを使用する競技、または男女が同じティーを使用する競技などによってハンディキャップに調整が加えられる場合でも(第3-5項、第9-3c項、

第9-4項参照)、ストロークコントロールを実施する際にはプレーヤーの実際のJGA/USGAハンディキャップインデックスを使用してコースハンディキャップを決定する。

例1: JGA/USGAハンディキャップインデックス35.4、コースハンディキャップ39のプレーヤーが、競技の条件としてJGA/USGAハンディキャップインデックス25.4を上限に定める競技に参加し、コースハンディキャップ28でプレーした。しかしストロークコントロールを実施する際は、このプレーヤーはコースハンディキャップ39を使用する。

例2: コースハンディキャップ30のプレーヤーがフォアボール競技に参加し、ハンディキャップアローワンス90パーセントの適用を受けてコースハンディキャップ27でプレーした。しかしストロークコントロールを実施する際は、このプレーヤーはコースハンディキャップ30を使用する。

例3: JGA/USGAハンディキャップインデックス25.4、コースハンディキャップ28のプレーヤーが、異なるティーを使用する競技に参加した。レーティングの高いティー(JGA/USGAコースレーティング73.0)とレーティングの低いティー(JGA/USGAコースレーティング71.2)のレーティング差は2打である(73.0 - 71.2 = 1.8 → 四捨五入 → 2)。このプレーヤーはレーティングの高いティーを使用したため、追加2打のハンディキャップストロークを受け、コースハンディキャップ30でプレーした。しかしストロークコントロールを実施する際は、このプレーヤーはコースハンディキャップ28を使用する。

例4: JGA/USGAハンディキャップインデックス25.4、コースハンディキャップ28のプレーヤーが、参加した競技をスコア「92」(ストロークコントロールを適用していないグロススコア)でプレーした。トーナメントでは「92」のスコアを提出したが、ハンディキャップ査定のためにスコアを提出する際には、必ずストロークコントロールによる調整を加えなければならない。

プレーヤーはいかなる場合においても、本章の規定をJGA/USGAハンディキャップインデックスの改ざん目的に使用してはならない。もしそのような目的で本章の規定を使用した場合、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーのJGA/USGAハンディキャップインデックスを第8-4項に基づいて修正するか、或いは無効としなければならない。

【裁定集】第4章: ホールスコアの調整

4-1/1. ホールアウトしなかったホールの「最も可能性の高いスコア」

質問: ホールアウトしなかったホールでは、プレーヤーはハンディキャップ査定のために、そのホールに「最も可能性の高いスコア」を記入しなければならない。このスコアはそのプレーヤーのストロークコントロール上限を超えることはできずと第4章「ホールスコアの調整」で明記されている。「最も可能性の高いスコア」の具体的な意味は?

回答: 「最も可能性の高いスコア」は、各プレーヤーが自身のプレーに基づいて判断しなければならないものであり、実際に費やしたストロークに、50パーセント以上の確率でそこからホールアウトするまでに費やすであろうとプレーヤー自身が判断したストローク数を足したものである。プレーヤーは個々の状況を、合理的な予測に基づいて評価しなければならない。

またプレーヤーは「最も可能性の高いスコア」とストロークコントロールの上限スコアを比較し、そのうち小さい方を採用する。例えば、「最も可能性の高いスコア」が「8」、ESC上限が「7」の場合、ハンディキャップ査定のために提出するスコアには「X-7」と記入する。

4-2/1. 「ゴルフ規則の本質に従う」とは?

質問: 本規定に示されている「ゴルフ規則の本質に従う」とは、どういう意味か?

回答: 「ゴルフ規則の本質に従う」とは、ハンディキャップ計算に使用し得る正確なスコアと考えられる状況でプレーが行われることを意味する。時としてゴルフ規則に厳密に則さずプレーされるホールがあるため、JGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)はこのような場合に柔軟的に対処し、ある特定の状況においてハンディキャップ査定のためにそのようなスコアを提出できるようにしている。より多くのスコアをハンディキャップ査定に採用することによって、プレーヤーの潜在技量をより正確に表すことができるからである。例えば、ストロークプレーでホールアウトしなかったホールがある場合(球をピックアップした場合など)、そのホールに「最も可能性の高いスコア」を記入してハンディキャップ査定用に提出する(第4-1項参照)。

プレー中に距離計測機器を使用したり(距離計測限定)、プリファードライが採用されている場合でも、ローカルルールに拘わらず、そのラウンドのスコアをハンディキャップ査定用に提出できる(裁定5-1e/2および第7章参照)。また、ホールカップの設置やコース上のマーキングが適正でない場合など、一般的にプレーヤーがコントロールできない状況も同様に扱う(第15-5項参照)。**【2012年新規追加】**

プレーヤーおよびハンディキャップ委員会の責任

第5章: スコア

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

5-1. 採用可能なスコア

ハンディキャップの公平性を高めるには、プレーヤーの潜在技量を反映した完全なスコア記録に関する正確な情報が必要である。各プレーヤーは、本章で定義されている採用可能なスコアすべてを提出する責任を負わなければならない。第4章で定めるすべての調整(ストロークコントロールを含む)は、トーナメントスコアを含むすべてのスコアに適用しなければならない。

■ a. スコアの提出

9ホールスコアを提出する場合、プレーヤーは7ホール以上、12ホール以下をプレーしなければならない。そのうち最低7ホールはゴルフ規則の本質に従ってプレーされなければならない。18ホールスコアを提出する場合、プレーヤーは最低13ホールをゴルフ規則の本質に従ってプレーしなければならない(裁定5-1a/3～5-1a/5参照)。

■ b. すべてのコースのスコア

プレーヤーは**アクティブシーズン**中、**JGA/USGA コースレーティング**および**スロープレーティング**を持つすべてのコース（ホームコース、アウェイコース共に）のスコアを、適切な**JGA/USGA コースレーティング**および**スロープレーティング**を付記して提出しなければならない（裁定 5-1b/1 参照）。

■ c. すべての形式の競技のスコア

マッチプレーおよびストロークプレーのスコアは、ハンディキャップ査定のために提出しなければならない。マッチプレー形式、複数ボール形式、またはチーム戦形式においてホールアウトしていないホールがある場合や、そのホールの負けが決定して球をピックアップした場合も、これに含まれる（第4章、および裁定 5-1c/1、5-2a/5、5-2a/7 参照）。

■ d. 失格

プレーヤーが競技失格となった場合でも、採用可能なスコアであれば、ハンディキャップ査定のために**調整グロススコア**を提出しなければならない。例えば、スコアカードの署名を怠ったために競技失格となったプレーヤーのスコアがハンディキャップ査定に採用可能な場合である。

■ e. 採用できないスコア

下記の条件に基づくスコアはハンディキャップ査定に採用することはできず、プレーヤーの**スコア記録**に登録してはならない。

- (i) プレーしたホールが7ホール未満の場合（第5-1a項参照）
- (ii) JGA（**承認されたゴルフ協会**）が定めた非アクティブシーズン中のゴルフコースでプレーが行われた場合
- (iii) 18ホールのコースで距離が3,000ヤード未満（9ホールのコースは1,500ヤード未満）の場合（裁定 5-1e/1 および付則 A 参照）
- (iv) 競技の条件としてクラブの本数が14本未満に制限されている場合、または使用できるクラブの種類が制限されている場合（例：アイアンのみを使用する競技など）
- (v) **JGA/USGA コースレーティング**および**スロープレーティング**を持たないコースでプレーした場合
- (vi) 不適合クラブ、不適合球、または不適合ティーペグを使用した場合
- (vii) ゴルフ規則 14-3 に関連して、ストローク中に人工の機器や異常な用具を使用したり、用具を異常な方法で使用した場合（例外については裁定 5-1e/2 参照）

5-2. スコアの提出

■ a. 通則

プレーしたコースにてラウンド終了後直ちに、プレーヤー自らが直接スコアを提出することは、**スコアの検証**を実施するための望ましい方法である。このスコア提出方法は、可能な限り実施されなければならない。スコア提出場所は、プレーヤーがなるべく容易に毎ラウンドのスコアを提出できるように設置すべきである。具体的なスコア提出方法は**ゴルフ倶楽部**または JGA（**承認されたゴルフ協会**）の責任で決定し、**ハンディキャップ委員会**が採用した手続きに従って実施する。提出されたスコアは、その日のうちに全会員に開示し、**スコア検証**を受けられるようにしなければならない（裁定 5-2a/1）。

ハンディキャップ査定のためにプレーヤーは、プレーしたコースにてラウンド終了後直ちに、以下の情報を提出しなければならない。もし不可能な場合は、次のハンディキャップ更新日前に**スコア記録**が最新の状態になるように、できるだけ速やかに提出しなければならない（裁定 5-2a/2）。

- (i) プレーヤー名前、または ID 番号
- (ii) 日付
- (iii) コース名*
- (iv) プレーしたコースの **JGA/USGA コースレーティング**および**スロープレーティング**
- (v) **調整グロススコア**
- (vi) **トーナメントスコア**またはインターネット上で提出されたスコアの**スコアタイプ**（**スコアタイプ**参照）

*タイプ 1 およびタイプ 2 **ゴルフ倶楽部**は奨励、タイプ 3 **ゴルフ倶楽部**は義務。

ハンディキャップ委員会は、Eメール、ファックス、インターネット、郵送によるスコア提出を認めることができる。但し、電話による口頭でのスコア提出は認められない。

Eメール、ファックス、インターネット、郵送で倶楽部に提出されたスコアは、プレーヤー自らが直接スコアを提出した場合と同様に、**スコア検証**を受けなければならない。Eメール、ファックス、インターネット、郵送によるスコア提出を**ゴルフ倶楽部**が認めた場合は、**ハンディキャップ委員会**はこれらのスコア受付に関する責任者1名を配置しなければならない。またインターネットでのスコア提出を認める場合は、倶楽部の全会員がインターネット上ですべてのスコアを検証できるようにしなければならない。

提出するのは合計スコアで良く、ホールバイホールのスコアは必要ない。**ハンディキャップ委員会**は委員会の責任遂行の補助として、定期的にスコアカード現物の提出やアテスト署名をプレーヤーに求めることができるが、このことを採用可能なスコアの条件として使用してはならない。ハンディキャップ査定に採用可能なスコアは、スコアカード現物の有無に拘わらず採用される（裁定 5-2a/3、および 5-2a/4 参照）。

■ b. 18ホール未満のスコアの提出

13ホール以上プレーした場合は、プレーヤーは18ホールのスコアを提出しなければならない。7～12ホールをプレーした場合は、プレーヤーは9ホールのスコアを提出しなければならない。いずれの場合も、プレーしていないホールについては、そのホールのパーにそのホールでプレーヤーが受けるハンディキャップストロークを加えたスコアを記入しなければならない。(第4章、および第5-1a項参照)。

例： コースハンディキャップ30のプレーヤーが、日没のために16ホールでプレーを終了した。17番ホールはハンディキャップナンバー18のパー3なので、このプレーヤーの17番のスコアは、パー(3) +ハンディキャップストローク(1) = 「X-4」となる。18番ホールはハンディキャップナンバー12のパー4なので、このホールのスコアは、パー(4) +ハンディキャップストローク(2) = 「X-6」となる。

■ c. 9ホールスコアの提出

9ホールのスコアをハンディキャップ査定に採用するためには、以下の条件を満たさなければならない。

- (i) コースが9ホールのJGA/USGAコースレーティングおよびスロープレーティングを持っていないなければならない。
- (ii) 最低7ホール以上プレーしなければならない(第5-1a項参照)。

プレーヤーがスコア記録に登録できる9ホールスコアの数に制限はない。提出したスコアの大部分が9ホールスコアであっても、そのプレーヤーは、9ホールのハンディキャップインデックス(ハンディキャップインデックス(N))ではなく(計算式は第10-5項参照)、18ホールのJGA/USGAハンディキャップインデックス(第10-2項参照)を使用することができる(裁定5-2c/1参照)。

■ d. 9ホールスコアの取扱について

提出された9ホールスコアは、以下のように取り扱う。

- (i) 9ホールスコアをトーナメントスコア(Tスコア)に指定してはならない。
- (ii) 2つの9ホールスコアを連結して18ホールスコアにする場合、JGA/USGAコースレーティングは各9ホールの合計、スロープレーティングは各9ホールの平均(小数点以下を四捨五入した整数)を使用する。
- (iii) 2つの9ホールスコアが連結された18ホールスコアは、略称コード「C」を付記して記録する(例85C)。またその2つの9ホールのうちいずれかがインターネット経由で提出されたものである場合(第5-2a(vi)項参照)、略称コード「CI」を付記して記録する。
- (iv) 9ホールスコアは、スコアタイプに拘わらず、プレーヤーのスコア記録への提出順で連結する。例えば、異なるコースのミドルティーとバックティーの9ホールスコアを、提出順に基づいて連結する。

9ホールスコアを連結した18ホールスコアには、2つの9ホールスコアのうち最も新しい方の日付とコース名(必要に応じて)を付記する(例:4月29日と5月4日の場合は5月4日を採用)。

スコア記録に登録されている20番目に古い18ホールスコアよりも新しい9ホールスコアは、他の9ホールスコアと連結することができる。9ホールスコアの連結はプレーヤーのスコア記録への提出順に基づいて行い、必ずしも日付順である必要はない。

■ e. トーナメントスコアの提出

トーナメントスコアとは、競技を管理する委員会によって開催される競技で出されたスコアをいう。競技は正規のラウンドに基づいて優勝者を決定しなければならない。ゴルフ規則の本質に従ってプレーされなければならない。競技はマッチプレーまたはストロークプレーいずれでも良い。

委員会は(競技を管理する委員会と協議したうえでハンディキャップ委員会がこれを担うのが望ましい)、その競技がトーナメントスコアの条件を満たしているかどうかを事前に決定し、スコア提出の際に略称コード「T」を付記しなければならないかどうかを事前に通知しなければならない。日常的に行われている競技(オープンコンペなど)は、伝統、スケジュール、競技形態、および倶楽部の会員制度に関して重要度が低いいため、通常はトーナメントスコアに指定されない(第2章、および裁定10-3/1～10-3/6参照)。

■ f. プレーヤーの代わりに委員会がスコアを提出する場合

プレーヤーがスコア提出を怠った場合、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーの承諾なしにスコアを提出することができる(第8-4b項参照)。競技においては、その競技を管理する委員会が参加者すべてのスコアを提出することができる。プレーヤーと委員会によるスコアの重複提出を避けるため、委員会はスコアを提出する際に必ずプレーヤーにその旨を通知しなければならない。

■ g. レーティング査定済みコースの未査定ティーインググラウンドを使用したスコアの提出

JGA(承認されたゴルフ協会)は、最も使用頻度の高いティーインググラウンドにJGA/USGAコースレーティングとスロープレーティングを査定する。もしプレーしたティーインググラウンドに該当する性別のJGA/USGAコースレーティングとスロープレーティングが査定されていない場合、プレーヤーは一時的な措置として以下の手順を適用することができる。

- ・ 該当する性別のレーティングが査定されている最も近いティーインググラウンドを選ぶ。
- ・ 選択したティーインググラウンドとプレーするティーインググラウンドのヤーデージ差を算出する。
- ・ 次頁に記載した表を使用して、ヤーデージ差によるレーティング調整値を導き出す。

女子：未査定ティーインググラウンドのレーティング調整表

査定済み ティーとの ヤードージ差	JGA/USGA コース レーティング 調整値	スロープ レーティング 調整値	査定済み ティーとの ヤードージ差	JGA/USGA コース レーティング 調整値	スロープ レーティング 調整値
0～8	0.0	0	621～638	3.5	7
9～26	0.1	0	639～656	3.6	8
27～44	0.2	0	657～674	3.7	8
45～62	0.3	1	675～692	3.8	8
63～80	0.4	1	693～710	3.9	8
81～98	0.5	1	711～728	4.0	8
99～116	0.6	1	729～746	4.1	9
117～134	0.7	1	747～764	4.2	9
135～152	0.8	2	765～782	4.3	9
153～170	0.9	2	783～800	4.4	9
171～188	1.0	2	801～818	4.5	10
189～206	1.1	2	819～836	4.6	10
207～224	1.2	2	837～854	4.7	10
225～242	1.3	3	855～872	4.8	10
243～260	1.4	3	873～890	4.9	10
261～278	1.5	3	891～908	5.0	11
279～296	1.6	3	909～926	5.1	11
297～314	1.7	4	927～944	5.2	11
315～332	1.8	4	945～962	5.3	11
333～350	1.9	4	963～980	5.4	11
351～368	2.0	4	981～998	5.5	12
369～386	2.1	4	999～1016	5.6	12
387～404	2.2	5	1017～1034	5.7	12
405～422	2.3	5	1035～1052	5.8	12
423～440	2.4	5	1053～1070	5.9	13
441～458	2.5	5	1071～1088	6.0	13
459～476	2.6	5	1089～1106	6.1	13
477～494	2.7	6	1107～1124	6.2	13
495～512	2.8	6	1125～1142	6.3	13
513～530	2.9	6	1143～1160	6.4	14
531～548	3.0	6	1161～1178	6.5	14
549～566	3.1	7	1179～1196	6.6	14
567～584	3.2	7	1197～1211	6.7	14
585～602	3.3	7	1212～1232	6.8	14
603～620	3.4	7	1233～1250	6.9	15

調整表の使用方法： 査定済みティーインググラウンドと未査定ティーインググラウンドのヤードージ差で該当する欄を選択し、JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングの調整値を導き出す。未査定ティーインググラウンドのヤードージが査定済みティーインググラウンドより長い場合、上記の調整値を査定済みティーインググラウンドのレーティングに加える。未査定ティーインググラウンドのヤードージが査定済みティーインググラウンドより短い場合、上記の調整値を査定済みティーインググラウンドのレーティングから差し引く。

男子：未査定ティーインググラウンドのレーティング調整表

査定済み ティーとの ヤードージ差	JGA/USGA コース レーティング 調整値	スロープ レーティング 調整値	査定済み ティーとの ヤードージ差	JGA/USGA コース レーティング 調整値	スロープ レーティング 調整値
0～10	0.0	0	407～428	1.9	5
11～32	0.1	0	429～450	2.0	5
33～54	0.2	0	451～472	2.1	5
55～76	0.3	1	473～494	2.2	5
77～98	0.4	1	495～516	2.3	5
99～120	0.5	1	517～538	2.4	6
121～142	0.6	1	539～560	2.5	6
143～164	0.7	2	561～582	2.6	6
165～186	0.8	2	583～604	2.7	6
187～208	0.9	2	605～626	2.8	7
209～230	1.0	2	627～648	2.9	7
231～252	1.1	3	649～670	3.0	7
253～274	1.2	3	671～692	3.1	7
275～296	1.3	3	693～714	3.2	8
297～318	1.4	3	715～736	3.3	8
319～340	1.5	4	737～758	3.4	8
341～362	1.6	4	759～780	3.5	8
363～384	1.7	4	781～802	3.6	9
385～406	1.8	4			

調整表の使用方法： 査定済みティーインググラウンドと未査定ティーインググラウンドのヤードージ差で該当する欄を選択し、JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングの調整値を導き出す。未査定ティーインググラウンドのヤードージが査定済みティーインググラウンドより長い場合、上記の調整値を査定済みティーインググラウンドのレーティングに加える。未査定ティーインググラウンドのヤードージが査定済みティーインググラウンドより短い場合、上記の調整値を査定済みティーインググラウンドのレーティングから差し引く。

未査定ティーインググラウンドのヤードージが査定済みティーインググラウンドより長い場合、上記表の調整値を最も近い査定済みティーインググラウンドのレーティング（該当する性別用）に加える。未査定ティーインググラウンドのヤードージが査定済みティーインググラウンドより短い場合は、上記表の調整値を査定済みティーインググラウンドのレーティングから差し引く。

この方法は、プレーヤーが異なるティーインググラウンドを組み合わせる場合にも適用できる。その場合は、まずプレーする合計ヤードージを決定し、上記の手順を適用する。

競技を管理する委員会が異なるティーインググラウンドを組み合わせる場合も、この方法を適用することができる。但しこの方法で決定したレーティングは、正式な **JGA/USGA コースレーティング** および **スロープレーティング** ではない。

9 ホールのレーティングを調整する場合は、**JGA/USGA コースレーティング** は実際のヤードージ差に基づいて決定し、**スロープレーティング** はヤードージ差を2倍した数値に基づいて決定する。

例1: 女子レーティングが査定されていないミドルティーから女子がプレーした。フォワードティーの女子 **JGA/USGA コースレーティング**は71.6、**スロープレーティング**は119、ミドルティーのヤーデージはフォワードティーより396ヤード長い。この場合、女子調整表を使用して、査定済みティーインググラウンドとのヤーデージ差「387～404」から、**JGA/USGA コースレーティング調整値**「2.2」、**スロープレーティング調整値**「5」を選択し、それぞれをフォワードティーのレーティングに加える。提出スコアには、**JGA/USGA コースレーティング**73.8 (71.6 + 2.2)、**スロープレーティング**124 (119 + 5) を記入する。

例2: 男子レーティングが査定されていないフォワードティーから男子が9ホールをプレーした。ミドルティーの男子9ホール **JGA/USGA コースレーティング**は34.8、**スロープレーティング**は117、フォワードティーのヤーデージはミドルティーより195ヤード短い。この場合、男子調整表を使用して、査定済みティーインググラウンドとのヤーデージ差「187～208」から **JGA/USGA コースレーティング調整値**「0.9」を選択し、2倍のヤーデージ差 (195×2 = 390) に該当する「385～406」から**スロープレーティング調整値**「4」を選択。それぞれをミドルティーのレーティングから差し引く。提出スコアには、**JGA/USGA コースレーティング**33.9 (34.8 - 0.9)、**スロープレーティング**113 (117 - 4) を記入する。

注1: 必要な **JGA/USGA コースレーティング**および**スロープレーティング** (男女共に) が査定されていないコースをプレーした場合、プレーヤーはJGA (承認されたゴルフ協会) に連絡すること。

注2: 査定済みティーインググラウンドとのヤーデージ差が女子1,250ヤード、男子802ヤードを超える場合、そのヤーデージ差を2で割った数値を調整表に適用し、これに該当する **JGA/USGA コースレーティング**と**スロープレーティング**の調整値を2倍する。例えば男子のヤーデージ差が1,400ヤードの場合、ヤーデージ差700ヤードに該当する「693～714」を選択し、調整値は **JGA/USGA コースレーティング**が「 $3.2 \times 2 = 6.4$ 」、**スロープレーティング**は「 $8 \times 2 = 16$ 」となる。

【裁定集】第5章: スコア

5-1a/1. 任意に選択した9ホールを2回プレーしたスコアの使用

質問: ある倶楽部では、悪天候の時に多くのメンバーが、クラブハウスに近い9ホール (1、2、3、13、14、15、16、17、18番) をプレーすることが多い。この9ホールを2回プレーしたスコアは、ハンディキャップ査定に採用できるか?

回答: できる。このようなプレー方法がよく行われている場合は、倶楽部はJGA (承認されたゴルフ協会) から、このプレー方法でハンディキャップディファレンシャルを決定できるJGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングを取得することができる。

5-1a/2. 1人でプレーした時のスコア

質問: プレーヤーが1人でプレーした時のスコアは、ハンディキャップ査定に採用できるか?

回答: できる。但し、ゴルフ規則に従ってプレーした場合に限る。

5-1a/3. 臨時のグリーンまたはティーインググラウンドを使用したスコアを、ハンディキャップ査定に採用する

質問: 臨時のグリーンまたはティーインググラウンドを使用した場合、倶楽部はそのスコアをハンディキャップ査定に採用できるか?

回答: できる。コース改造中でもゴルフ規則に従ってプレーできる場合は、そのスコアは提出すべきである。具体的な状況の対処方法については、倶楽部は必ずJGA (承認されたゴルフ協会) に相談しなければならない。臨時のグリーン (恒久的なサブグリーンは除く) を使用する場合は、JGA (承認されたゴルフ協会) は倶楽部に対して、「パー+プレーヤーが受けるハンディキャップストローク」をそのホールのスコアとして提出させるよう勧めることができる (第4-2項参照)。【2012年改訂】

5-1a/4. レッスンを受けながらプレーしたスコア

質問: レッスンを受けながらプレーしたスコアを提出できるか?

回答: できない。レッスンを受けながらのプレーはゴルフ規則に従ったものでなく (ゴルフ規則8-1参照)、そのスコアはハンディキャップインデックスの計算に使用できない。【旧裁定5-1d/1】

5-1a/5. 1人のプレーヤーがラウンドを通して2つの球をプレーした場合のスコア

質問: あるプレーヤーは、しばしば1人でラウンドし、ラウンド全体を通して2つの球をプレーする。このプレーヤーは、それぞれの球のスコアをハンディキャップ査定のために提出することができるか?

回答: できない。2つの球をプレーすることは、ゴルフ規則に従ったプレーとはみなされず (ゴルフ規則7-2参照)、いずれの球でプレーしたスコアも提出することはできない。【旧裁定5-1d/2】

5-1b/1. アウェイスコアを認めない倶楽部

質問: 倶楽部は、アウェイスコアをハンディキャップ査定に採用することを拒否できるか?

回答: できない。プレーヤーがすべての採用可能なスコアを提出してスコア検証を受けることは、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) の基本理念である。

5-1c/1. マッチプレーとストロークプレーが複合された場合のスコアの取扱

質問: 倶楽部選手権のマッチプレー競技で対戦した2人のプレーヤーが、同時にストロークプレーでも競った。このようなプレー方法はゴルフ規則33-1で禁止されている。2人のプレーヤーは、このスコアをハンディキャップ査定のために提出できるか?

回答: ストロークプレーのスコアは、ハンディキャップ査定に採用できる。

5-1e/1. パー3コースのスコア

質問： 距離 3,000 ヤード未満のパー3コースでのスコアが JGA/USGA ハンディキャップインデックスの査定に採用できないのは何故か？

回答： 一般的にこのようなコースでは、14 本すべてのクラブを使用することが求められず、そのスコアを通常のコースと同じ基準でハンディキャップ査定に使用するのとは公平ではない。また、このようなショートコースでのスコアは、使用クラブの種類を制限した競技でのスコアと同様である。従って、ハンディキャップ査定に採用することはできない。

但しパー3コースのスコアは、そのようなショートコースでの使用に限定したハンディキャップ（ショートコースハンディキャップ）を査定するために採用できる。詳細は付則 A を参照。【旧裁定 5-1f/1】

5-1e/2. 距離計測機器を使用したプレーのスコア

質問： 距離計測機器を使用したプレーのスコアは、ハンディキャップ査定に採用できるか？

回答： 使用した距離計測機器が距離のみを測定する機器であれば、委員会が距離測定機器の使用を認めるローカルルールを制定しているか否かに拘わらず、そのスコアはハンディキャップ査定に採用することができる。しかし、プレーヤーのプレーに影響する可能性のあるその他の条件（例えば風や傾斜など）を測定する機器を使用することは認められず、そのような付属の機能を実際に使用したかどうか拘わらず、その機器を使用したプレーのスコアはハンディキャップ査定に採用することができない。【旧裁定 5-1f/2】

5-1e/3. ストローク中に人工の機器を使用したプレーのスコア

質問： ストローク中にタオルを脇の下に挟むなど、人工の機器を使用したプレーのスコアは、ハンディキャップ査定に採用できるか？

回答： できない。規則 14-3 に定められているように、ストローク中に人工の機器を使用した場合、そのスコアは第 5-1e(vii) 項に基づいてハンディキャップ査定に採用することはできない。【旧裁定 5-1f/3】

5-2a/1. 指定期間内のスコア提出

質問： 倶楽部会員のなかにはプレー日の 2 ヶ月後にスコアを提出する者がいる。プレー日から 2 週間以内のスコア提出をハンディキャップ委員会が義務づけることは適切か？

回答： 適切である。通常、スコアはラウンド終了直後または可及的速やかに提出すべきである。ハンディキャップ委員会は、情状を酌量したうえでスコア提出の合理的な期限を定めることができる。

5-2a/2. スコア提出が遅れてハンディキャップ更新日に間に合わなかった場合

質問： 5月1日はハンディキャップ更新日だったが、4月30日にプレーしたプレーヤーがスコアを提出したのは5月2日だった。この場合、ハンディキャップ委員会はどのような措置をとれば良いか？

回答： 可能であれば、4月30日のスコアを追加してこれらのプレーヤーのハンディキャップを直ちに再計算する。ハンディキャップ計算を外部委託している倶楽部など、もしそれが不可能な場合は、そのスコアは次回のハンディキャップ更新日まで持ち越す。

5-2a/3. スコアカードの提出

質問： ハンディキャップ委員会は、プレーヤーに対してスコアカード現物の提出を義務づけることはできるか？

回答： できない。ハンディキャップ委員会は、プレーヤーのスコア調整が正確に実施されているかどうかを確認するために、定期的にスコアカード現物の提出を求めることはできるが、仮にスコアカードの提出がなくても、スコア記録や JGA/USGA ハンディキャップインデックスに関するペナルティーを課すことがあってはならない。

5-2a/4. JGA/USGA ハンディキャップインデックスの取り消しまたは修正を受けたプレーヤーに対する、スコアカード提出の義務づけ

質問： ハンディキャップ委員会によって JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取り消されたり修正されたプレーヤーが、新たに JGA/USGA ハンディキャップインデックスの取得を認められた場合、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーに対してスコアカードの提出を義務づけることはできるか？

回答： できる。ハンディキャップ委員会によって JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取り消されたり修正されたプレーヤーに対して、ハンディキャップ委員会は観察期間内のスコアカード提出を要請することができる。

5-2a/5. フォアボール競技でスコア未記入のホールがある場合

質問： 倶楽部主催のフォアボール競技に参加したプレーヤーは、ゴルフ規則 31-3 に従って、2つのホールでパートナーのスコアを採用したため自分のスコアを記入しなかった。ハンディキャップ査定のために、委員会はこのプレーヤーの 2 ホールのスコアをどのように記入すれば良いか？

回答： プレーヤー自身がスコア未記入ホールのスコアを覚えている場合は、そのプレーヤーはストロークコントロールの上限範囲内で実際のスコアを記入しなければならない。プレーヤーが球をピックアップした場合は、委員会はそのプレーヤーがホールアウトしたものと仮定して、最も可能性の高いスコアを記入しなければならない（第 4-1 項参照）。しかしながら、これらの情報が得られない場合は、委員会はスコア未記入ホールに、そのホールのパーにプレーヤーが受けるハンディキャップストロークを加えたスコアを記入しなければならない（裁定 4-1/1 参照）。

注： ハンディキャップ査定のためにプレーヤーに認められる 1 ラウンドのスコア未記入ホール数には上限がある。プレーヤーは、18 ホールスコアでは 13 ホール以上プレーしなければならない、9 ホールスコアでは 7 ホール以上プレーしなければならない。従って、18 ホールスコアで認められるスコア未記入ホールは最大 5 ホール、9 ホールスコアでは最大 2 ホールとなる。

5-2a/6. インターネットでのスコア提出

質問： インターネットでのスコア提出に関する重要なポイントは？

回答： インターネットの簡便性により、ゴルフ倶楽部とハンディキャップ委員会はインターネットによるスコア提出を積極的に推進できるとUSGAは考える。インターネットのスコア提出を実施する場合、倶楽部の全会員がインターネット上ですべてのスコアを検証できるようにすることが義務づけられる。会員同士で常時スコアを検証し合えるこの方法は、スコア検証の機能を向上させることができ、ゴルフ倶楽部とJGAハンディキャップ規定(USGAシステム準拠)の基礎をより強固にすると考えられる。

5-2a/7. 18ホール未満でマッチが終了し、その後プレーヤーが残りホールをプレーした場合のスコア

質問： 16番ホールでマッチの勝敗が決した後、プレーヤーは残り2ホールをプレーした。この2ホールのスコアはどのように記入すれば良いか？

回答： このプレーヤーの実際のスコアを記入して提出すべきである。それ以外の方法でスコアを提出することは、ゴルファーは毎ホール毎ラウンド最善のスコアを目指すという前提条件に相反する。マッチ終了後ホールのスコアが過大であると委員会が判断した場合は、第8章の規定を適用することができる(第8-4c(iv)項参照)。**【2012年改訂】**

5-2a/8. モバイル端末またはワイヤレス機器によるスコア提出

質問： プレーヤーは、モバイル端末やワイヤレス機器を使用して個人的にスコアを提出できるか？

回答： できる。インターネットのスコア提出を認めている倶楽部の会員は、このような方法でスコアを提出することができる。このような方法はコンピューター端末を使用したインターネットのスコア提出と同様であるため、これらの機器の使用は認められる。

5-2a/9. ウェブサイト上でのハンディキャップ取得

質問： 個人はウェブサイト上でJGA/USGAハンディキャップインデックスを取得できるか？

回答： できない。但し、ライセンス認可を受け、JGAハンディキャップ規定(USGAシステム準拠)を完全に順守し、主にウェブサイトを通して会員とコミュニケーションを図るゴルフ倶楽部から、個人はJGA/USGAハンディキャップインデックスを取得することができる(裁定2/7参照)。

5-2c/1. 9ホールスコアの連結方法

質問： 27ホールの総当たり戦形式のように、複数の9ホールをプレーする競技の場合、各9ホールスコアはどのように連結すれば良いか？

回答： 9ホール毎の総当たり戦、または27ホールや複数の9ホールで争う競技方法の場合、USGAは以下の方法で各9ホールスコアを連結することを奨励している： 1番目と2番目にプレー

した9ホールのスコアを連結して18ホールスコアとする。3番目にプレーした9ホールのスコアは、9ホールスコアとして提出し、別の9ホールスコアと連結した時点でスコア記録に登録する。

また例外として、例えば1人のプレーヤーが1日に27ホールをプレーし、そのうち最初の9ホールが練習ラウンドだった場合、最初にプレーした練習ラウンドの9ホールを9ホールスコアとして提出し、続く2つの9ホールスコアを連結して18ホールスコアとする。

上記いずれの場合も、連結した2つの9ホールスコアは18ホールのトーナメントスコアに指定できる。

第6章： スコア記録

用語の定義

定義は**ゴシック体**で表記され、「第2章—用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

6-1. 継続的な記録

スコア記録では、新しいシーズン(または暦年)のスコアを前のシーズンのスコアに追加していかなければならない。スコア記録は年をまたいで継続的に管理されなければならない(裁定6-1/1参照)。

6-2. 非アクティブシーズン

地域を管轄するJGA(**承認されたゴルフ協会**)は、管轄地域内の**非アクティブシーズン**期間を制定する責任を持つ。JGA(**承認されたゴルフ協会**)が管轄する地域内の**ゴルフ倶楽部**は、JGAの加盟倶楽部であるか否かに拘わらず、JGAが定めた**非アクティブシーズン**を守らなければならない(裁定6-2/1参照)。

非アクティブシーズン中のコースでプレーしたスコアは、ハンディキャップ査定に採用できない。但し、プレーヤーが**JGA/USGAハンディキャップインデックス**の発給を受ける**ゴルフ倶楽部**が**非アクティブシーズン**中であっても、プレーしたコースが**アクティブシーズン**中だった場合は、そのスコアはハンディキャップ査定のために提出しなければならない。倶楽部の**ハンディキャップ委員会**は、プレーヤーがアウェイスコアを次回の**ハンディキャップインデックス**更新日までに提出できるようにしなければならない。

例： ミシガン州の**ゴルフ倶楽部**に所属するプレーヤーが1月にフロリダ州でプレーした場合、そのスコアはミシガン州の所属**ゴルフ倶楽部**に提出しなければならない。もしこのプレーヤーがフロリダ州の**ゴルフ倶楽部**にも所属している場合、このスコアはフロリダ州の**ゴルフ倶楽部**にも提出しなければならない。

6-3. ハンディキャップリストとスコア記録

スコア記録の閲覧は、**スコア検証**の重要な構成要素である。そのために倶楽部は、最新の**ハンディキャップ**更新日時点における会員の**JGA/USGAハンディキャップインデックス**リストと**スコア記録**を、全会員が容易に閲覧できる場所で開示しなければならない(裁定6-3/1、および6-3/2参照)。

ハンディキャップレポートは各プレーヤーの正しい記録履歴であり、最新の JGA/USGA ハンディキャップインデックスと共に、少なくとも最新 20 枚のスコア (スコア記録が 20 未満の場合はそれに準じる)、各スコアのプレー日付、JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティング、およびコース名 * が記録されていなければならない。ハンディキャップ情報が蓄積されているコンピューターに会員が直接アクセスできる場合は、コンピューター上でスコア記録を開示することも可能だが、スコア検証のためには、直近の更新日時点におけるハンディキャップインデックスリスト、最新のスコア記録、およびインターネットで提出されたスコア (認められる場合) を、倶楽部は紙面上で開示すべきである。

* タイプ 1 およびタイプ 2 ゴルフ倶楽部は奨励、タイプ 3 ゴルフ倶楽部は義務。

6-4. ハンディキャップカード

プレーヤーには、各自の JGA/USGA ハンディキャップインデックスが示されたハンディキャップカードが発行される。カードに表示されるハンディキャップは、JGA (承認されたゴルフ協会) または JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) を順守するゴルフ倶楽部が発給したものであり、JGA/USGA ハンディキャップインデックスと明記されていなければならない。JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発給したゴルフ倶楽部または JGA (承認されたゴルフ協会) の名称もカードに記載しなければならない。コンピューター計算プログラムを提供したり発給元を支援している団体名を表示することは可能だが、その際に表示サイズが高さ 1/4 インチ (6mm) 未満且つ発行元名より小さくなくてはならない。

氏名	京橋 太郎				
倶楽部名	日本ゴルフ協会 JGAゴルフ倶楽部				
発行日	12/01/01	JGA/USGA			
提出スコア数	20	HDCP INDEX			
		13.7			
スコア履歴 *は最新の採用スコア					
1-5	93	88*	91	86*	92
6-10	96*	89	92	92	88*
11-15	90*	89*	98	97*A	89*
16-20	84*	96	86	87*A	93

【ハンディキャップカードのサンプル例】

6-5. 複数の倶楽部に所属するプレーヤー

複数のゴルフ倶楽部に所属するプレーヤーとは、以下いずれかに該当する場合をいう。

- JGA (承認されたゴルフ協会) またはコンピューター計算プログラム (提供されている場合) に複数倶楽部所属会員 (マルチメンバー) として登録され、すべての倶楽部のスコアがコンピューター上でそのプレーヤーのスコア記録に登録される場合。
- すべての倶楽部のスコアを、JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティング、および日付と共に、プレーヤーが直接提出しているか、または E メール、ファックス、インターネット、郵送で提出 (第 5-2 項参照) している場合 (倶楽部が認める場合)。

プレーヤーが複数の倶楽部で JGA/USGA ハンディキャップインデックスを保持し、且つそれらの倶楽部がオンラインネットワーク計算プログラムを使用していない場合は、すべての採用可能なスコアをすべての倶楽部に提出しなければならない (裁定 6-5/1 参照)。郵送遅延や通信障害などの問題が生じない限り、このことによってすべての倶楽部で JGA/USGA ハンディキャップインデックスを均一に保つことができる。採用可能なすべてのスコアをすべての倶楽部に提出することを怠ると、

最新 20 枚中ベストディファレンシャル 10 枚に基づいた JGA/USGA ハンディキャップインデックスではなく、結果的に JGA/USGA ハンディキャップインデックスと呼べなくなる。すべてのスコアをすべての倶楽部に提出したにも拘わらず倶楽部間で JGA/USGA ハンディキャップインデックスが異なる場合は、競技を管理する委員会はそのプレーヤーに対して、そのなかで最も低いものを使用を求めることができる (裁定 6-5/2 および 6-5/3 参照)。

6-6. プレーヤーが所属倶楽部を変更する場合

所属倶楽部を変更する場合は、プレーヤーは新しい倶楽部に適切な JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングを付記した最新のスコア 20 枚と採用可能なトーナメントスコアを日付順で提出する。この情報はそのプレーヤーのスコア記録として新しい倶楽部に登録されるが、通常次のハンディキャップ更新日までは JGA/USGA ハンディキャップインデックスを変更することはない。またプレーヤーは、スコア記録に最低 5 枚のスコアを登録しなければならない。スコア記録が登録されない場合は、5 枚のスコアが提出されてハンディキャップ更新が実施されるまで、そのプレーヤーは JGA/USGA ハンディキャップインデックスを持たない状態となる。最低 5 枚のスコアがスコア記録に登録されるまでの間は、ハンディキャップ委員会は暫定措置としてそのプレーヤーに修正ハンディキャップインデックスを発行することができる (第 3-1 項および第 8-2h 項参照)。

6-7. 倶楽部を退会した会員の記録

退会した会員のスコア記録は、新しいゴルフ倶楽部がそれを必要とする場合に備えて、最低 1 年間は旧所属ゴルフ倶楽部または JGA (承認されたゴルフ協会) が保存しておくべきである。

退会した会員の JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、次回ハンディキャップ更新日まで有効である。そのプレーヤーが別のゴルフ倶楽部に入会した場合、次回ハンディキャップ更新日に、旧所属倶楽部のスコア記録と暫定期間中のスコアに基づいて、新しい JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発行する。この暫定期間中、ハンディキャップ委員会は入手可能なスコアに基づいて、修正ハンディキャップインデックス (ハンディキャップインデックス (M)) を発行できる。但し JGA/USGA ハンディキャップインデックスまたはハンディキャップインデックス (M) を発行するには、プレーヤーのスコア記録に最低 5 枚のスコアが登録されていなければならない (第 8-2i 項参照)。

【裁定集】第6章: スコア記録

6-1/1. 長期間プレーを辞めていたプレーヤーが、プレーを再開した場合

質問: JGA/USGA ハンディキャップインデックスを持つプレーヤーが、長期間ゴルフのプレーを辞めていたが、再びプレーを再開した。このプレーヤーは以前の JGA/USGA ハンディキャップインデックスを使用すべきか? それとも新たに取得すべきか?

回答: 予定されている次のハンディキャップ更新日まで、そのプレーヤーは JGA/USGA ハンディキャップインデックスを持たない状態となる。但し、プレーヤーのスコア記録に最低 5 枚のスコアが登録されている場合、所属倶楽部のハンディキャップ委員会はハンディキャップ更新日の前に、修正ハンディキャップインデックス (ハンディキャップインデックス (M)) を発行することができる。

プレーを再開した時点でスコア記録が登録されていない場合は、5枚のスコアが提出されてハンディキャップ更新が実施されるまで、そのプレーヤーはJGA/USGAハンディキャップインデックスを持たない状態となる。

6-2/1. 同一地域内のアクティブシーズンと非アクティブシーズン

質問： 例えば米国の場合、州の南部では年間を通してゴルフをプレーできるが、州の北部はそうではない。承認されたゴルフ協会は非アクティブシーズンをどのように制定するのか？

回答： 承認されたゴルフ協会は、州の北部では非アクティブシーズンを制定できるが、州の南部では制定できない。

6-3/1. スコア検証を目的としたスコア記録の開示

質問： JGA/USGAハンディキャップインデックスを持つプレーヤーの概要スコア記録は、ゴルフ倶楽部のウェブサイトおよびハンディキャップ計算プログラムのウェブサイトで開示されている。倶楽部会員、ハンディキャップ委員会、およびプレーヤーが参加する競技の役員は、これらのウェブサイトを通してプレーヤーの詳細スコア記録を閲覧できる。これはプレーヤーの個人情報保護に反しないか？

回答： 反しない。JGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)の根幹はスコア検証であり、ハンディキャップインデックスリストを含むスコア記録は、倶楽部会員およびハンディキャップ委員会を含む(但しこれらに限定しない)他者による閲覧を受ける。ゴルファーはJGA/USGAハンディキャップインデックスの取得を決めた時点で、これらの情報開示を含む規定の運用を承諾しており、個人情報保護に関する問題はない。

6-3/2. 容易に閲覧できるスコア記録

質問： 第5-2項には、提出されたスコアはすぐに閲覧されると記されている。第6-3項では、スコア記録(JGA/USGAハンディキャップインデックスリスト含む)は容易に閲覧できる場所で開示しなければならないと定めている。これを満たす具体的な要件は？

回答： 情報は容易に閲覧できる状態で開示しなければならない。例えば、提出されたスコア、スコア記録、およびJGA/USGAハンディキャップインデックスリストを閲覧できる場所が1ヶ所しかなく、その場所が管理者の自宅内、ゴルフショップのカウンター内、または他者が簡単に立ち入れない場所だった場合、必要な条件は満たされていない。もしゴルフ倶楽部の全会員がインターネットに接続できるのであれば、提出されたスコア、スコア記録、およびJGA/USGAハンディキャップインデックスリストを倶楽部のウェブサイト上で表示することは、必要条件を満たすことになる。会員の情報にアクセスする唯一の手段としてその会員のID番号を使用することは、容易に閲覧できる状態とは見なされない。つまり氏名検索機能のような追加手段を提供しなければならない。

6-3/3. 所属倶楽部のスコア検証情報の開示

質問： 倶楽部またはJGA(承認されたゴルフ協会)は、倶楽部のハンディキャップ委員長、および競技を管理する委員会に対して、プレーヤーの詳細スコア記録を開示することはできるか？

回答： できる。このことはスコア検証の本質であり、倶楽部またはJGA(承認されたゴルフ協会)が、これらの者に対して詳細スコア記録を提供することをUSGAは奨励している。

6-3/4. 競技役員がスコア記録の提出を求めた場合

質問： ゴルフ倶楽部のハンディキャップ委員会、またはゴルファーが参加する競技を管理する委員会が、別の倶楽部に会員のスコア記録を提供するよう求めた。この要請を拒むことは、JGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)の違反となるか？

回答： このような要請を拒むことはJGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)の違反ではないが、スコア検証が広範囲で実施できるように、倶楽部がこのような要請を受け入れることをUSGAは奨励している。競技を管理する委員会は、もしこのような要請が却下された場合、ゴルファーの参加を断ることができる。

6-5/1. 所属倶楽部に対するスコア検証情報の提供

質問： 近隣の3つのゴルフ倶楽部に所属するプレーヤーがいる。しかしその地域では複数倶楽部所属会員に対応するネットワークサービスが提供されておらず、第6-5項に従ってすべての倶楽部にスコアを提出するのは容易ではない。このプレーヤーに対して特例措置を適用できるか？

回答： できる。プレーヤーが近隣地域内の3つのゴルフ倶楽部に所属し、その地域では複数倶楽部所属会員に対応するネットワークサービスが提供されておらず、且つプレーヤーが第6-5項に従って3つの倶楽部すべてにスコアを提出するのは容易ではないため、そのプレーヤーはJGA/USGAハンディキャップインデックスの発給を受ける倶楽部を1ヶ所に指定することができる。その場合、以下を追加の条件とする：

通常、指定する倶楽部は、そのプレーヤーが最も多くプレーする倶楽部であるべきである。

そのプレーヤーが所属する地域内の他の倶楽部は、ハンディキャップ記録からそのプレーヤーを削除し、JGA/USGAハンディキャップインデックスの発給を停止することに合意しなければならない。

そのプレーヤーのすべてのスコアは、プレーした場所に拘わらず、指定した倶楽部に提出するか、または指定した倶楽部を経由して提出しなければならない。

6-5/2. (保留)

6-5/3. 複数倶楽部会員のJGA/USGAハンディキャップインデックス修正

質問： 複数倶楽部に所属するプレーヤーが、そのうち1つの倶楽部で第8章の規定に基づくJGA/USGAハンディキャップインデックスの修正を受けた。これは他の倶楽部にも通知すべきか？

回答： JGA/USGAハンディキャップインデックスを修正した倶楽部が、そのプレーヤーが所属するすべての倶楽部にその旨を通知することを、USGAは奨励している。修正されたJGA/USGAハンディキャップインデックスは、すべての倶楽部で適用されるべきである。

第7章: プリファードライ (ウィンタールール) および不良なコースの状態

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

7-1. プリファードライ適用時の採用可能なスコア

プリファードライ (ウィンタールール) を認めるローカルルールを採用した場合のスコアは、ハンディキャップ査定のために提出しなければならない。但し、委員会(コースを管理する委員会と協議したうえで**ハンディキャップ委員会**がこれを担うのが望ましい)が、コースの状態が不良であるためにそのスコアを提出すべきでないとは判断した場合は例外とする。コースの状態を理由に、プレーヤー個人がスコア提出の可否を判断することはない。仮にプレーヤー個人がこのローカルルールのような措置を適用できると判断しても、委員会がそのようなルールを採用していなければ、プレーヤーはスコアをハンディキャップ査定のために提出しなければならない。

洪水、ぬかるみ、豪雪などの悪条件がコース全域にわたって広がっている場合、委員会は条件が改善するまでスコア提出を中断することを検討すべきである。もし委員会が不良なコースの状態によるスコア提出の中断を決定した場合は、そのコースをプレーしているすべてのプレーヤーにその旨を通知すべきである。

委員会がプリファードライを認めるローカルルールの採用を決定した場合、「ゴルフ規則」付則I (B) ローカルルールの参考例 4c、および規則 33-8a を適用すべきである。但し、これは期間限定の措置であるため、ローカルルールの参考例 4c をスコアカードに記載することはできない。このローカルルールは悪条件が解消したときにはすぐに取り下げらるべきである。

以下、「ゴルフ規則」付則I (B)4c より。

プリファードライ (ウィンタールール) および不良なコースの状態

フェアプレーを妨げるような一時的な異常な状態があり、しかもそれがあまり広範囲にわたるものではないときは、そのような所は修理地と標示することができる(ゴルフ規則 25)。

しかしながら、豪雪や雪解け、長雨や酷暑のような悪条件がフェアウェイをひどい状態にし、時には、大型芝刈機類を使えなくすることもある。そのような不良な状態がコース全域にわたって広がっているために、委員会が**プリファードライ (ウィンタールール)** を認める方がフェアプレーを積極的に進めることになり、またコースを保護することになると考えた場合には、次のようなローカルルールの採用を勧める。

スルーザグリーン(またはより限定的に例えば、「6番ホールでは)の「芝草を短く刈ってある区域」にある球は、罰なしに拾い上げてふくことができる。球を拾い上げる前に、プレーヤーはその位置をマークしなければならない。球を拾い上げたあと、プレーヤーはその球を元の位置より、(ここに、例えば6インチ(15cm)とか1クラブングスなどと許容限度を記載のこと)の範囲内で、ホールに近づく、ハザード内でもグリーン上でもない所にプレースしなければならない。

プレーヤーは自分の球を一度だけプレースすることができ、球がプレースされた時点でその球はインプレーとなる(規則 20-4 参照)。球がプレースされた箇所に止まらない場合は、規則 20-3d が適用となる。プレースした球がプレースした箇所に止まり、そのあとで球が動いても、罰はない。その球は他の規則の規定が適用となるのでなければあるがままにプレーされなければならない。

プレーヤーが球を拾い上げる前にその位置をマークしなかったり他の方法(クラブで球を転がすなどで球を動かした場合、プレーヤーは1打の罰を受ける。

注:「芝草を短く刈ってある区域」とは、フェアウェイの芝の長さかそれより短く刈ってあるコース上のすべての区域(ラフを通り抜ける通路を含む)をいう。

* このローカルルール違反の罰は

マッチプレーでは そのホールの負け

ストロークプレーでは 2打

* プレーヤーがこのローカルルールの一般の罰を受ける場合、このローカルルールによる罰(1打の罰)は加える必要はない。

例えば、ストロークプレーで、プレーヤーがこのローカルルールが採用されていないのに誤って行使したことで2打の罰を受けた場合、球を拾い上げる前にその位置をマークしなかったことによる1打の罰は受けない。

7-2. プリファードライ適用時の注意点

プリファードライ (ウィンタールール) を認めるローカルルールを採用する前に、委員会は以下のことを考慮しておくべきである。

- (a) このようなローカルルールは、球はあるがままにプレーするという基本理念に対立する。
- (b) **プリファードライ**はコースの保護という名目で採用することがあるが、実際には良好な状態の芝に球を動かすことを認めてその部分の芝を削るため、逆にコースを痛める。
- (c) 一般的に**プリファードライ**を採用するとプレーヤーのスコアは良くなり、その結果**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**は低くなるため、**プリファードライ**でプレーしたことの無いプレーヤーと対戦した時に不利となる。
- (d) **プリファードライ**を過度に採用すると、あるがままの状態で球をプレーしなければならない時にプレーヤーが不利を被る。

7-3. 通常のコース難易度の維持

プリファードライを認めるローカルルールを採用する場合、委員会はティーマーカーの位置を調整するなどして、そのコースの通常の難易度をできるだけ変えないように務めるべきである(第15章「コースセッティング」参照)。

ハンディキャップ委員会の責任

第8章： ハンディキャップ委員会

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

ハンディキャップ委員会は、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の根幹である。JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) を使用する各ゴルフ倶楽部は、それぞれが発行する JGA/USGA ハンディキャップインデックスを保全するために必ずハンディキャップ委員会を設置しなければならない。この委員会は、会員が JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) を順守するように務めなければならない。

8-1. ハンディキャップ委員長

ハンディキャップ委員長は、十分に時間をかけて JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) の基本知識を把握する必要がある。ハンディキャップ委員長が会員に提供する情報が多岐にわたるほど、会員からより多くの協力を得ることができる (裁定 8-1/1、および 8-1/1.5 参照)。

8-2. 任務と責任

ゴルフ倶楽部のハンディキャップ委員会は、各会員の JGA/USGA ハンディキャップインデックス計算を含む JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) のすべてに関して責任を持つ。ハンディキャップ委員会は、ハンディキャップ査定のために提出されたすべての採用可能なスコアを確認し、スコア検証を受けられるようにしなければならない。またハンディキャップ委員会は、コースの状態が不良な場合にスコアの提出を中断する権限を持つ。長期に渡ってスコア提出を中断する場合、ゴルフ倶楽部は JGA (承認されたゴルフ協会) から許可を得なければならない。

■ a. 会員への通知

シーズンが始まる前に、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) の説明、すべての採用可能スコアを提出することの重要性、およびハンディキャップ委員会の方針について、会員に対して通知することが望ましい。会員は、以下について説明を受けるものとする。

- (i) スコアの提出方法、提出場所
- (ii) ハンディキャップカード発行の有無 (第 6-4 項参照)
- (iii) JGA/USGA ハンディキャップインデックスの更新方法
- (iv) 全米統一更新スケジュール、または海外の倶楽部は管轄協会が定めたハンディキャップ更新日

- (v) JGA (承認されたゴルフ協会) が定めた非アクティブシーズンの期間 (第 6-2 項参照)
- (vi) 非アクティブシーズン期間中のアウェイスコアの提出方法
- (vii) JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正に関するハンディキャップ委員会の責任 (第 8-4 項、および第 10-3 項参照)
- (viii) スコア提出を怠ったプレーヤーに対するペナルティー (第 8-4b 項参照)
- (ix) トーナメントスコアの指定方法 (第 8-2l 項、および第 10-3 項参照)

■ b. 倶楽部における JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングの表示

各ティーインググラウンドの JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングは、スコアカードに印刷するとともに、できれば JGA (承認されたゴルフ協会) が認定した掲示板などを使用して目立つ場所に表示する。またこれらのレーティングは、スコア提出用のコンピューター上でも簡単に検索できるようにしておく。

■ c. 同一地域内コースの JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングの表示

同一地域内にあるコースの JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングは、JGA (承認されたゴルフ協会) によって提供されたリストをスコア提出場所に掲示する。スコア提出にコンピューターを使用する場合は、このリストをコンピューター上で簡単に検索できるようにする。

■ d. コースハンディキャップ換算表の掲示

JGA (承認されたゴルフ協会) がゴルフ倶楽部に発行した各ティーインググラウンドのコースハンディキャップ換算表は、倶楽部内の目立つ場所、1 番ティーインググラウンド付近、およびその他 JGA/USGA ハンディキャップインデックスをコースハンディキャップに換算するうえで適切な場所に掲示しなければならない。JGA (承認されたゴルフ協会) からこれらの換算表を入手し、しかるべき場所に掲示することはハンディキャップ委員会の責任である。換算表には、JGA/USGA ハンディキャップインデックスと対応するコースハンディキャップの一覧リストに加えて、そのティーインググラウンドの JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングを表示する。コースハンディキャップ換算表は、レーティングを発行した JGA (承認されたゴルフ協会) から入手することができる。

■ e. JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングの使用

倶楽部は、JGA (承認されたゴルフ協会) が発行した JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングを使用しなければならない。査定されたレーティングに不服がある場合、倶楽部は JGA (承認されたゴルフ協会) に対して見直しを求めることができる。

JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングは、各ティーインググラウンドに男女別で査定されなければならない。

■ f. 競技結果の検査

ハンディキャップ委員会は、競技の結果を検査すべきである。もし非常に優れたネットスコアのプレーヤーがいる場合は、ハンディキャップ委員会は第8-4項、および第10-3項の規定に基づいてしかるべき措置をとる(付則E参照)。ゴルフ倶楽部またはハンディキャップ委員会は、非常に優れたトーナメントスコアを出したプレーヤーが所属するゴルフ倶楽部またはJGA(承認されたゴルフ協会)に、その旨を報告する。

■ g. プレーヤーの記録の管理

ハンディキャップ委員会は、プレーヤーの記録の管理(JGA/USGAハンディキャップインデックスリストの開示を含む)に責任を持たなければならない。直近のハンディキャップ更新日時点での最新スコア記録は、スコア検証の定義に定められているようにすべての会員と他者に開示されなければならない。委員会のなかでプレーヤーの記録管理の責任者1名を任命し、各会員のJGA/USGAハンディキャップインデックス更新作業に取り組むことが望ましい。

ハンディキャップ計算にコンピューターや計算プログラムを使用している場合でも、入力されたデータや計算結果を検証し、JGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)のその他の規定を適用することは、ハンディキャップ委員会の責任である。

■ h. 新規会員の記録

新規会員のスコア記録(各スコアおよび付随するJGA/USGAコースレーティングとスロープレーティングを含む)を入手することは、ハンディキャップ委員会の責任である。ハンディキャップ委員会は、プレーヤーの旧所属ゴルフ倶楽部、JGA(承認されたゴルフ協会)、計算プログラム、またはプレーヤー本人から、スコア記録を入手することができる。もしスコア記録が入手できない場合は、新規会員は最低5枚のスコアを提出してハンディキャップ更新日にJGA/USGAハンディキャップインデックスを取得するか、あるいは最低5枚のスコアがスコア記録に登録されるまでの暫定措置として、ハンディキャップ委員会が修正ハンディキャップインデックスを発行することができる(第6-6項、および裁定6-1/1参照)。

■ i. 倶楽部を退会した会員の記録

退会した会員のスコア記録は、新しいゴルフ倶楽部がそれを必要とする場合に備えて、最低1年間は旧所属ゴルフ倶楽部またはJGA(承認されたゴルフ協会)が保存しておくべきである。

退会した会員のJGA/USGAハンディキャップインデックスは、それを発行したゴルフ倶楽部が定める次回ハンディキャップ更新日まで有効である。そのプレーヤーが別のゴルフ倶楽部に入会した場合は、第6-7項を参照。

■ j. 記録や計算結果の訂正

ハンディキャップ委員会は、スコア記録や計算プログラムによる計算結果の正確性を検証しなければならない。もし間違いが存在する場合は、委員会はJGA(承認されたゴルフ協会)または計算プログラム管理者に連絡し、次回のハンディキャップ更新日までのできるだけ早い時期にスコア記録を訂正させなければならない。ハンディキャップ委員会は、スコア記録の間違いが発覚後できるだけ早く、訂正したJGA/USGAハンディキャップインデックスを発行しなければならない。ゴルフ倶楽部は、JGAや計算プログラム管理者に協力を求めることができ、すべてのレポートは訂正された情報に基づいて修正されなければならない(裁定5-2a/2参照)。

■ k. ハンディキャップカード

ハンディキャップ委員会は、JGA/USGAハンディキャップインデックスが表示されたハンディキャップカードを各プレーヤーに発行することができる(第6-4項参照)。

■ l. 他の委員会との連携

ハンディキャップ委員会は、定期的に以下の項目について(但しこれらに限定しない)他の委員会と協議するものとする。

- ・ USGAのガイドラインに基づいたハンディキャップホールのハンディキャップナンバー割り当て(第17章参照)
- ・ コースセッティングおよびパーの設定(第15章、および第16章参照)
- ・ コースの状態が不良な場合のスコア提出中断の決定(第7章参照)
- ・ トーナメントスコア指定の可否に関するトーナメント委員会、または競技を管理する委員会との協議(第2章、第8-2項、第10章、および裁定10-3/1～10-3/6参照)
- ・ コース難易度の維持(第15章)
- ・ プリファードライに関するローカルルールの採用(第7-1項参照)

他の委員会との連携において、ハンディキャップに関する情報を随時提供することはハンディキャップ委員会の責任である。

■ m. コンプライアンス順守の要件

ゴルフ倶楽部がJGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)を順守しているかどうかを確認するために、次頁のチェックリストを使用する。

倶楽部コンプライアンスチェックリスト

ゴルフ倶楽部の順守要件		Yes	No
1	・本規定が定める ゴルフ倶楽部 の定義を満たしているか?		
2	・ ハンディキャップ委員会 は主に会員で構成されているか? 委員長は会員か? (第8-1項)		
3	・プレーヤーのスコア提出時に、各ティーインググラウンドの正しい JGA/USGA コースレーティング と スロープレーティング を登録できるようになっているか? (第5-2項、第8-2b項、第8-3b項)		
4	・ホームとアウェイのスコアをすべて提出するように義務づけているか? (第5-1項)		
5	・スコア提出前に本規定が定める ホールスコア調整 を義務づけているか? (第4章)		
6	・9ホールスコアの提出を義務づけているか? (第5-2c～d項)		
7	・ゴルフ規則の理念順守を強く求めているか? (第5-1d項)		
8	・ JGA (承認されたゴルフ協会) が定めるハンディキャップ更新スケジュールとスコア提出期間を守っているか? (第8-3a項、第8-3b項)		
9	・すべての採用可能なスコアが正しく登録されているか? (第5-2項)		
10	・ハンディキャップの計算や調整は、 JGA/USGA ハンディキャップ計算式 に基づいて行われているか? (第8-4項、第10章)		
11	・全会員の最新の スコア記録 と JGA/USGA ハンディキャップインデックス リストは、他者による検証を容易に受けられる状態になっているか? (第6-3項)		
12	・プレーヤーの潜在技能を反映していない JGA/USGA ハンディキャップインデックス の増減修正を実施しているか? (第8-4c項)		
13	・恒久的なコース改造があった時は JGA (承認されたゴルフ協会) に通知し、新しい JGA/USGA コースレーティング および スロープレーティング が査定できるようにしているか? (第14-5b項)		
14	・男子36.4、女子40.4の上限を超えるハンディキャップは、略称コード「L」を付記して ローカルハンディキャップ として識別しているか? (第3-4項)		
15	・ JGA (承認されたゴルフ協会) が発行した最新の JGA/USGA コースレーティング および スロープレーティング を使用しているか? (第14章)		
16	・USGA ハンディキャップセミナー (USGA または JGA (承認されたゴルフ協会) が開催) に ゴルフ倶楽部 の代表者が参加し、システムに関するテストに合格しているか?		
17	・ JGA/USGA ハンディキャップインデックス の発給を JGA (承認されたゴルフ協会) に認められているか?		

上記設問の回答がすべて「はい」の場合は、その**ゴルフ倶楽部**は**JGA ハンディキャップ規定(USGA ハンディキャップシステム準拠)**を順守しており、**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**を発行することができる。

上記設問の回答にひとつでも「いいえ」がある場合、**JGA (承認されたゴルフ協会)**に連絡し、コンプライアンス順守に必要なしかるべき措置をとる。

8-3. ハンディキャップの更新

ゴルフ倶楽部の**ハンディキャップ委員会**は、**JGA (承認されたゴルフ協会)**が定めるハンディキャップ更新のスケジュールと手順に従う責任がある。

■ a. 更新スケジュール、更新頻度、および非アクティブシーズン

米国内の**ゴルフ倶楽部**は、全米統一更新スケジュールに従って**ハンディキャップインデックス**を毎月1日と15日に更新しなければならない。

日本の**ゴルフ倶楽部**は、**JGA (承認されたゴルフ協会)**が定めた更新スケジュールに従って、アクティブシーズン中、1ヶ月に1度以上且つ2週間に1度以下の頻度で**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**を更新しなければならない。

JGA (承認されたゴルフ協会)は、管轄地域内において**非アクティブシーズン**を定めることができ、その場合は**非アクティブシーズン**の開始日と終了日を定めなければならない。

これらのスケジュールは、地域内にあるすべての倶楽部に通知する。

非アクティブシーズンを採用している**承認されたゴルフ協会**は、ハンディキャップ更新日を**非アクティブシーズン**中に設定することができる。但し更新頻度は、1ヶ月に1度以上且つ2週間に1度以下でなければならない。

上記に定める頻度を超えて更新された**ハンディキャップインデックス**は(提出スコア1枚毎に更新されたものを含む)、**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**ではなく、略称コード「L」を付記して**ローカルハンディキャップ**として識別しなければならない。

■ b. 非アクティブシーズン中のスコア

承認されたゴルフ協会が定めた**非アクティブシーズン**中のスコアは、ハンディキャップ査定に採用してはならない(例えば、12月にニューヨークでプレーした時のスコアなど)。但し、所属倶楽部の**非アクティブシーズン**期間中に**アクティブシーズン**中のコースでプレーした場合は(例えば12月にフロリダでプレーした場合など)、そのスコアをできるだけ速やかに提出しなければならない。

8-4. ペナルティスコア、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正と取り消し

■ a. 通則

プレーヤーは必ず**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**を取得しなければならず、**ゴルフ倶楽部**の**ハンディキャップ委員会**にプレー技量を証明する完全な情報を提供しないプレーヤーは、**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**を取得することはできない。**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**の変更は**JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠)**のみに従って行われなければならない、プレーヤーの**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**を変更できるのは、そのプレーヤーのハンディキャップを管理する**ハンディキャップ委員会**のみである。シーズンや年のはじめに自動的に**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**を増やしてはならない。**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**は、シーズンや年をまたいで継続的に管理されなければならない(第6-1項、および裁定8-4a/1参照)。

■ b. スコア提出を怠った場合のペナルティースコア

採用可能なスコアをプレーヤーがラウンド終了後できるだけ速やかに提出しなかった場合、ハンディキャップ委員会は下記いずれかの措置をとることができる。

- 1) そのプレーヤーの実際のスコアを提出する
- 2) そのプレーヤーのスコア記録に登録されている最も小さい（または大きい）ハンディキャップディファレンシャルと等しいペナルティースコアを提出する
- 3) 実際のスコアとペナルティースコアを提出する

ハンディキャップ委員会はペナルティースコア提出の旨を事前にプレーヤーに通知しなくてもよい。

■ c. ハンディキャップ委員会による JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正

プレーヤーの潜在技量を反映した JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発給することは、ハンディキャップ委員会の責任である。以下に記載した状況が発生した場合、ハンディキャップ委員会はプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを修正する必要がある。但し、以下の状況に限らず必要な場合には、ハンディキャップ委員会の判断で修正を実施できる。JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正を実施する前に、ハンディキャップ委員会はプレーヤーに対して、直接または書面にて異議を申し立てる機会を与えなければならない。修正された JGA/USGA ハンディキャップインデックスには略称コード「M」を付記し、ハンディキャップ委員会によって修正されたハンディキャップインデックス (M) であることを識別する (例: 4.9M)。

注: JGA/USGA ハンディキャップインデックス修正に関する通知文書サンプル例は付則 B 参照。

- (i) **本規定が対応できない速さで上達した場合**
ゴルフを始めたばかりのプレーヤーは急速に上達することがあり、通常の査定手順では潜在技量を JGA/USGA ハンディキャップインデックスに反映できない場合がある。例えば、練習やラウンドレッスン (裁定 5-1a/4 参照) で上達したプレーヤーはスコア記録に正しい潜在技量が反映されず、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正が必要となる場合がある。
- (ii) **大量のアウェイスコアやインターネットスコアがインデックスを変える場合**
アウェイスコアやインターネットスコアを大量に提出したために JGA/USGA ハンディキャップインデックスが 3.0 ストローク以上増加し、その後プレーヤーが所属倶楽部でプレーした時のスコアによってこの増加が過大であることが明らかになった場合、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスに修正を加えて減らさなければならない。
- (iii) **一時的な身体障害**
プレーヤーが一時的にプレーから遠ざかったりプレーを辞めたことで JGA/USGA ハンディキャップインデックスを増やしてはならないが、一時的な身体障害を理由にハンディキャップインデックスを増やすことはできる。増加修正されたハンディキャップは JGA/USGA ハンディキャップインデックスではなく、略称コード「L」を付記して倶楽部内の

使用に限定したローカルハンディキャップとして識別しなければならない。例えば手術を受けたプレーヤーには回復するまでの期間、多いハンディキャップを与えることができる (ローカルハンディキャップの定義および裁定 8-4c/1、8-4c/2 参照)。

(iv) スコアを改ざんした場合

プレーヤーがスコアを改ざんした場合、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを修正または取り消さなければならない (第 8-4f 項参照)。スコア改ざん例には、以下のものが含まれる。

- (a) 誤った情報をスコア記録に登録した場合
- (b) スコアの提出を避けるために 7 ホール未満でプレーを終了した場合
- (c) スコアの提出を避けるために 2 つ以上の球を繰り返しプレーした場合 (裁定 5-1a/5 参照)
- (d) 第 4 章に定められたホールスコアの調整を行わなかった場合
- (e) 故意に過少スコアを申告した場合
- (f) 故意に余分なストロークを打ってスコアを増やした場合
- (g) JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) の根幹となる 2 つの前提条件を順守していない場合 (第 1-1 項参照)

(v) 第 5-1e 項の継続的な違反

ハンディキャップ委員会は、第 5-1e 項の規定を継続的に違反しているプレーヤーを特定し、そのようなラウンドのスコアはハンディキャップ査定に採用できないことをそのプレーヤーに通知しなければならない。もしプレーヤーがハンディキャップ委員会の通知を受けた後に違反を続けた場合、ハンディキャップ委員会はこのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスの取り消しを検討することができる。

■ d. ハンディキャップ委員会による修正の適用期間

ハンディキャップ委員会は、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正または取り消し期間を決定しなければならない。そのためにハンディキャップ委員会はハンディキャップ更新日毎に、修正されたハンディキャップインデックス (M) と第 10-2 項に定める通常の計算方法で算出した JGA/USGA ハンディキャップインデックスを比較するべきである。例えば、修正されたハンディキャップインデックス 4.9M のプレーヤーが、その後のスコア記録でこれよりも少ない JGA/USGA ハンディキャップインデックスが算出された場合 (例 4.0)、ハンディキャップ委員会は修正を解除できる。

■ e. トーナメントスコアの検証

ハンディキャップ委員会は、非常に優れたトーナメントスコアによる JGA/USGA ハンディキャップインデックスの低減を検証しなければならない。この JGA/USGA ハンディキャップインデックスの低減は第 10-3 項によって自動的に算出される。

ハンディキャップ委員会は、第10-3項に基づいて低減されたJGA/USGAハンディキャップインデックスをハンディキャップ更新日毎に見直し、下記いずれかの措置をとる。

- 第10-3d項の規定に従ってJGA/USGAハンディキャップインデックスの低減措置をそのまま継続する。
- 更なるJGA/USGAハンディキャップインデックスの低減を適用する(第10-3e項参照)。
- 低減措置を取り消す(オーバーライド)。例えば、プレーヤーが大量のトーナメントスコア(例えば50枚)を提出していて、そのうち初期のスコアに基づいてJGA/USGAハンディキャップインデックスが低減されている場合は、ハンディキャップ委員会はこれを取り消すことができる。

■ f. JGA/USGAハンディキャップインデックスの取り消し

プレーヤーがJGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)に定められているプレーヤーの責任を繰り返し果たさなかった場合、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーのJGA/USGAハンディキャップインデックスを取り消さなければならない。但し取り消し措置をとる前に、ハンディキャップ委員会はその旨をプレーヤーに通知し、プレーヤーが直接または書面にてハンディキャップ委員会に回答する機会を与えなければならない。取り消されたJGA/USGAハンディキャップインデックスは、ハンディキャップ委員会が定める条件に基づいて復活させることができる(裁定5-2a/4参照)。

【裁定集】第8章：ハンディキャップ委員会

8-1/1. 倶楽部のオーナーと従業員

質問： ハンディキャップ委員会の定義では、倶楽部の従業員は委員長になれないとなっている。ゴルフ倶楽部のオーナーは従業員の1人とみなされるか？ ゴルフ倶楽部を運営する第三者機関の従業員、或いはゴルフ倶楽部を所有または運営する自治体の職員は、委員長になれないのか？

回答： 倶楽部の所属プロと同様、上記に示された者はいずれも倶楽部会員に対して満足を提供する立場の人間であるため、公平な役割を担うことは難しい。従ってこれらの「従業員」は、彼らが雇われているゴルフ倶楽部のハンディキャップ委員長になることはできない。

8-1/1.5. ハンディキャップ委員会の報酬

質問： ゴルフ倶楽部を運営する会社がハンディキャップ委員長に報酬を支払っている。これは認められるか？

回答： 認められない。ハンディキャップ委員会のメンバー(委員長含む)の任務を遂行する対価として報酬を受け取っている者は従業員とみなされ、ハンディキャップ委員長を務める資格はない。報酬(またはUSGAが報酬と同等であるとみなすもの)を受け取った者は、裁定8-1/1と同様に従業

員のような立場に立たされる。報酬に含まれるのは(但しこれらに限定しない)、収益の歩合、旅費の支払い、コース売上増に伴う金銭的利益、手数料、奨励金、などである。但し、ハンディキャップ委員会メンバーまたは委員長は、任務遂行に対して以下のような恩恵を受けることができる：年会費の免除、年間グリーンフィーの免除、または倶楽部の練習場の無償使用など。

8-2m/1. 倶楽部の代表者が退任した場合

質問： USGAハンディキャップセミナーに参加した倶楽部の代表者が退任した場合、その倶楽部のハンディキャップライセンス契約は無効となるか？

回答： 無効とはならない。ライセンス契約期間中に倶楽部の代表者がセミナーに参加し、JGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)に関する知識テストに合格していれば、契約は期間満了まで有効である。但し、各ゴルフ倶楽部には、上記の要件を満たす最低1名の代表者が常に在籍するべく務めることを奨励する。JGA(承認されたゴルフ協会)は加盟倶楽部に対して、加盟倶楽部としての恩恵を受けるための必要条件として、セミナーに参加しテストに合格した代表者を常時在籍させることを義務づけることができる。但し、このような条件によって、その倶楽部に対するJGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)使用ライセンスの認可要件が影響を受けることはない。

また、クラブAの代表者がクラブBの代表者として新規に就任した場合、クラブBはセミナー参加と知識テスト合格の必要条件を満たしたとみなされる。このような場合には、クラブのハンディキャップ委員長または役員はJGA(承認されたゴルフ協会)に通知するべきである。【2012年改訂】

8-3a/1. 更新されたJGA/USGAハンディキャップインデックスの公表日

質問： 倶楽部がハンディキャップ計算プログラム管理者から更新されたJGA/USGAハンディキャップインデックスリストを受け取る日付は月によって異なる。例えばある月は倶楽部がリストを受け取ったのは更新日の3日前だったが、翌月は更新日の前日だった。この場合、倶楽部はリストを受領後すぐに公表しても良いか？ それとも更新日に公表すべきか？

回答： 更新されたJGA/USGAハンディキャップインデックスリストは更新日に公表すべきである。リストを倶楽部が受け取ってから公表するまでの期間は、ハンディキャップ計算プログラム管理者と調整して最短にすべきである。【2012年改訂】

8-4a/1. JGA/USGAハンディキャップインデックス増加幅の上限設定

質問： 1回の更新でプレーヤーのJGA/USGAハンディキャップインデックスが増加する幅に上限を設けたい。倶楽部はそのような規定を採用することができるか？

回答： できない。

8-4c/1. 一時的な身体障害を持つプレーヤーの扱い

質問： JGA/USGA ハンディキャップインデックス 11.1 のプレーヤーが、股関節置換手術を受けたために一時的にプレーすることができなくなった。その後プレーヤーは再びプレーを再開したが、術後の影響で最新3枚のスコアは104、100、102であった。このプレーヤーは体調が回復するまでの間、特別なハンディキャップ修正措置を受けることができるか？

回答： 第8-4c(iii)項の規定に基づいて、このプレーヤーはハンディキャップ修正を受けることができる。このプレーヤーには、一時的な身体障害を持つ間、現状の技量を反映させた臨時のローカルハンディキャップを発給するべきである。このハンディキャップには略称コード「L」を付記し、倶楽部内の使用に限定したローカルハンディキャップとして識別しなければならない。臨時のローカルハンディキャップは、倶楽部のハンディキャップ委員会または競技を管理する委員会が許可した場合に限り使用することができる。

8-4a/2. 身体障害を持つプレーヤーの扱い

質問： 重度の身体障害を持つプレーヤーが、長期間に渡る療養を経て再びプレーできる状態に回復したが、障害を負う以前に査定されたJGA/USGAハンディキャップインデックスでのプレーはもはや不可能である。この場合、特別なハンディキャップ修正の適用は可能か？

回答： 可能。但し、この場合の身体障害は恒久的であり、第8-4c(iii)項で想定している身体障害よりも障害の程度は大きい。

従って、ハンディキャップ委員会はこのプレーヤーの以前のスコア記録を破棄し、新たに5枚のスコアが提出されるまでローカルハンディキャップの使用を認めることができる。5枚のスコアが提出された時点で、新たにJGA/USGAハンディキャップインデックスを発給する。

8-4c/3. 季節変動がもたらすJGA/USGAハンディキャップインデックスへの影響

質問： ほぼ毎年、あるプレーヤーのスコアは特定の季節になると非常に良くなり（または悪くなり）、それによってJGA/USGAハンディキャップインデックスも変化する。本人曰く、このスコアの変動は季節的なコースコンディションの違いによるものであるとのこと。ハンディキャップ委員会は、このプレーヤーのJGA/USGAハンディキャップインデックスに季節的な修正を適用することができるか？

回答： できる。コースコンディションの自然な変化はプレーヤーの潜在技量に影響を及ぼすものではなく、JGA/USGAハンディキャップインデックスの変動に結びつけるべきではない。ハンディキャップ委員会は、このようなスコアがプレーヤーの潜在技量と異なると判断した場合、そのプレーヤーのJGA/USGAハンディキャップインデックスを修正できる。

このような季節的なコースコンディションの違いによるスコア変動が多くのプレーヤーに見受けられ、且つハンディキャップ委員会がレーティング通りにコース難易度を維持することが困難と判断した場合、ハンディキャップ委員会はスコア提出の中断を検討すべきである。但し、この中断期間が長期に及ぶ場合は、レーティングを査定したJGA（承認されたゴルフ協会）の許可を得なければならない。

第9章： ハンディキャップ競技**用語の定義**

定義は**ゴシック体**で表記され、「第2章—用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

9-1. 競技に必要なハンディキャップ

ゴルフ協会、ゴルフ倶楽部、その他の団体が開催する競技に参加するために、プレーヤーが**JGA/USGAハンディキャップインデックス**を持つことを、USGAは勧めている（裁定9-1/1、9-1/2参照）。

■ a. エントリー時点で有効なハンディキャップ

JGA/USGAハンディキャップインデックスが競技の参加資格に含まれている場合、プレーヤーはエントリー時点で有効な**JGA/USGAハンディキャップインデックス**を提出しなければならない。

■ b. 委員会によって修正されたハンディキャップインデックス

本規定マニュアルで別途定めている場合を除き、**ハンディキャップ委員会**によって修正された**ハンディキャップインデックス**は、そのプレーヤーの**ハンディキャップインデックス**である（ローカルハンディキャップの定義、第3-4項、第8-4c項、第8-4d項、第8-4e項、および第10-3e項参照）。

9-2. JGA/USGAハンディキャップインデックスの使用**■ a. 競技開始時**

競技開始時に使用する**JGA/USGAハンディキャップインデックス**は、競技を管理する委員会が決定しなければならない。競技開始時点で有効な**JGA/USGAハンディキャップインデックス**の使用を委員会が義務づけることを、USGAは奨励している。

■ b. 競技中のハンディキャップ変更

競技中にプレーヤーの**コースハンディキャップ**変更を認めるかどうかは、競技を管理する委員会の判断であり、その決定は競技開始前に発表する。「ゴルフ規則」の規則33-1は、『委員会は、それに基づいて競技がプレーされる競技規定を作らなければならない』と定めている。

個別な特例として、委員会はプレーヤーの**コースハンディキャップ**を競技のラウンド間または前に変更することができる。但し**JGA/USGAハンディキャップインデックス**を修正できるのは、プレーヤーの所属倶楽部の**ハンディキャップ委員会**のみである（第8-4c項参照）。

また可能な場合は、各ラウンド当日における有効な**JGA/USGAハンディキャップインデックス**をプレーヤーが使用することを、USGAは勧めている。例えば、競技期間がハンディキャップ更新日の前後にわたる場合、各ラウンド当日の有効な**JGA/USGAハンディキャップインデックス**を使用すべきである（裁定9-2b/1参照）。

■ c. 複数のJGA/USGAハンディキャップインデックスを持っているプレーヤー

プレーヤーが複数の**ゴルフ倶楽部**に所属し、それぞれの**JGA/USGAハンディキャップインデックス**が異なる場合、競技を管理する委員会は、そのプレーヤーに対して最も低いものを使用することを義務づけるべきである（第6-5項、および裁定6-5/2、6-5/3参照）。

9-3. ハンディキャップストロークの適用

■ a. ハンディキャップストロークの適用方法

グロススコアにハンディキャップストロークを適用する場合は、スコアカードに記入されているハンディキャップ（通常はコースハンディキャップ）をグロススコアから引いて、そのプレイヤーのネットスコアを決定する。

ストロークプレーでは、委員会は、各ホールをスコアを加算し、スコアカードに記入されているコースハンディキャップを適用することに責任がある（「ゴルフ規則」規則 33-5 参照）。

プレー中に各ホールでハンディキャップストロークを適用する際、通常プレイヤーはスコアカードに記載されたハンディキャップナンバー（ハンディキャップストロークを与えたり受けるべきホールの順番）に従う。例えば、ハンディキャップストローク 3 打を受けるプレイヤーは、ハンディキャップナンバー 1 から 3 の各ホールで 1 打ずつ受ける。但し、競技を管理する委員会は、この順番を特別に設定することが認められており、その場合はハンディキャップストロークを与えたり受けるべきホールの順番を示す「ハンディキャップストローク表」を公表しなければならない。例えば、スコアカードに記載されたハンディキャップナンバーが「3 番 = 1」、「13 番 = 2」、「8 番 = 3」となっている場合でも、委員会は「4 番 = 1」、「12 番 = 2」、「7 番 = 3」とすることができる（「ゴルフ規則」規則 33-4 参照）。

男女混合競技でプレイヤーが各自の球をプレーし且つ各ホールのハンディキャップナンバーが男女で異なる場合、プレイヤーはそれぞれのハンディキャップナンバーに従ってハンディキャップストロークを受ける。

パートナー間で良い方のティーショットを選ぶ男女混合のフォアサムマッチプレー競技の場合は、男子のハンディキャップナンバーに従う。

■ b. ハンディキャップストロークの適用方法（プラスハンディキャップの場合）

プラスコースハンディキャップのプレイヤーは、ハンディキャップナンバー 18 のホールからハンディキャップストロークを加えていかなければならない。例えば、ストロークプレーのパートナー競技の場合、コースハンディキャップ「+1」のプレイヤーのサイドは、ハンディキャップナンバー 18 のホールのスコアに 1 打を加えなければならない。またマッチプレーでハンディキャップの少ないサイドにコースハンディキャップ「+1」のプレイヤーがいる場合は、そのサイドはスクラッチでプレーし、もう一方のサイドのコースハンディキャップに 1 打を加える（裁定 9-3a/1、9-3a/2、9-3a/3 参照）。

プラスハンディキャップのプレイヤーがいるサイドは、プレー形式に応じたハンディキャップアローワンス (%) 適用することで（第 9-4 項参照）、そのプレイヤーのコースハンディキャップがゼロ (0) に近づく（例： $+3 \times 50\% = +1.5 \rightarrow$ 端数切り捨て $\rightarrow +1$ ）。これによりプラスハンディキャップのプレイヤーとパートナー（同一サイド）のコースハンディキャップの差は、できるだけ適正に保たれる。

例： コースハンディキャップ「+5」のプレイヤー A とコースハンディキャップ「10」のプレイヤー B が同じサイドで競技に参加した。両者のコースハンディキャップの差は 15 打である。これに 80% のハンディキャップアローワンスを適用すると、プレイヤー A のコースハンディキャップは「 $+5 \times 80\% = +4$ 」、プレイヤー B は「 $10 \times 80\% = 8$ 」となり、両者のコースハンディキャップの差は 12 打に縮まる。

■ c. 異なるティーインググラウンドを使用する競技、男女が同じティーインググラウンドを使用する競技

- (i) **異なるティーインググラウンド：男子 vs 男子、女子 vs 女子、男子 vs 女子**
通常、各ティーインググラウンドにはそれぞれ異なるレーティングが設定されている。JGA/USGA コースレーティングはスクラッチゴルファーの想定スコアを表したものであり、レーティングが高いほど難易度が高くなる。従って JGA/USGA コースレーティングの高いティーインググラウンドを使用するプレイヤーは、双方の JGA/USGA コースレーティングの差（小数点以下を四捨五入した整数）をコースハンディキャップに追加する（裁定 3-5/1 参照）。

例 1： ミドルティー（男子 JGA/USGA コースレーティング 70.3）を使用する男子プレイヤーと、バックティー（男子 JGA/USGA コースレーティング 72.6）を使用する男子プレイヤーが対戦する場合、バックティーのプレイヤーはコースハンディキャップに 2 打を追加する（ $72.6 - 70.3 = 2.3 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 2$ ）。

例 2： フォワードティー（女子 JGA/USGA コースレーティング 73.4）を使用する女子プレイヤーと、ミドルティー（男子 JGA/USGA コースレーティング 70.9）を使用する男子プレイヤーが対戦する場合、フォワードティーの女子プレイヤーはコースハンディキャップに 3 打を追加する（ $73.4 - 70.9 = 2.5 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 3$ ）。

- (ii) **同じティーインググラウンド：男子 vs 女子**
男子と女子が対戦する場合、同じティーインググラウンドからプレーしてもレーティングは男女で異なる。通常、JGA/USGA コースレーティングは男子より女子の方が高いため、女子プレイヤーは、双方の JGA/USGA コースレーティングの差（小数点以下を四捨五入した整数）をコースハンディキャップに追加する（裁定 3-5/1 参照）。

例： ミドルティー（女子 JGA/USGA コースレーティング 77.3）を使用する女子プレイヤーと、同じミドルティー（男子 JGA/USGA コースレーティング 70.9）を使用する男子プレイヤーが対戦する場合、女子はコースハンディキャップに 6 打を追加する（ $77.3 - 70.9 = 6.4 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 6$ ）。

- (iii) **異なるティーインググラウンドを使用するフォアサム競技、男女が同じティーインググラウンドを使用するフォアサム競技**
フォアサム競技で異なるティーインググラウンドを使用する場合、または男女が同じティーインググラウンドを使用する場合、それぞれの JGA/USGA コースレーティング差の半分をコースハンディキャップの調整に使用する。

例： プレイヤー A（男子）とプレイヤー B（女子）がパートナーを組み、フォアサム競技でプレイヤー C（男子）とプレイヤー D（女子）のチームと対戦した。男子は JGA/USGA コースレーティング 71.2 の白ティーマーカーを使用し、女子は JGA/USGA コースレーティング 73.6 の赤ティーマーカーを使用した。2つのティーインググラウンドのレーティング差は 2.4 である。このレーティング差の半分は、小数点以下を四捨五入した整数で 1 となる（ $2.4 \div 2 = 1.2 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 1$ ）。この場合、各チームのコースハンディ

キャップを決定した後、両チームのコースハンディキャップに1打を加える。もしプレーヤーAとプレーヤーBが共に男子だった場合は、男女がパートナーを組むプレーヤーCとプレーヤーDのチームだけに1打のハンディキャップストロークを追加する。

フォアサム競技でチーム毎に使用するティーインググラウンドが異なる場合は、JGA/USGA コースレーティングの高いティーインググラウンドを使用するチームは、双方のJGA/USGA コースレーティングの差（小数点以下を四捨五入した整数）をコースハンディキャップに追加する（裁定3-5/1参照）。

例： プレーヤーAとプレーヤーBがパートナーを組む男子チームが、フォアサム競技でプレーヤーCとプレーヤーDの女子チームと対戦した。男子はJGA/USGA コースレーティング71.2の白ティーマーカーを使用し、女子はJGA/USGA コースレーティング73.6の赤ティーマーカーを使用した。2つのティーインググラウンドのレーティング差は2.4であり、小数点以下を四捨五入した整数で2となる（2.4→四捨五入→2）。この場合、各チームのコースハンディキャップを決定した後、女子チームのコースハンディキャップに2打を加える。

注： 上記の手順で適用した追加ハンディキャップストロークは、ハンディキャップ査定のために行うストロークコントロールの際には除外する（第4-3項・例3参照）。

9-4. ハンディキャップアローワンス

ハンディキャップアローワンスは、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの査定には何ら影響を及ぼさないが、フェアで公正な競技を実施するためにその使用を奨励する。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスは18ホールを基準としている。競技が複数ラウンドに及ぶ場合でも、第9-4項のハンディキャップアローワンスは18ホール毎に適用する。

ハンディキャップアローワンスは、すべての形式のプレーを公平に行うために考案されたものである。100%のコースハンディキャップを使用した方がプレーヤーにとって公平なプレー形式もあるが、チーム競技では、100%のコースハンディキャップを使用するとハンディキャップの多いチームがハンディキャップの少ないチームよりも有利になることがあるため、100%未満のコースハンディキャップを使用することを勧める。

ハンディキャップアローワンスを正しく適用するために、以下の手順に従う。

ステップ1： まず、プレーヤーのコースハンディキャップ（使用するティーインググラウンドに応じて）を決定しなければならない。

ステップ2： 次に、プレー形式に応じて適切なハンディキャップアローワンスを適用する。

ステップ3： フォアボールストローク競技では、パートナー同士（同一サイド）のコースハンディキャップ差が8打を超える場合、それぞれのコースハンディキャップを10%ずつ減らすことを勧める（第9-4b(ii)項の注記参照）。

ステップ4： 異なるティーインググラウンドを使用する競技または男女が同じティーインググラウンドを使用する競技の場合は（第3-5項、および第9-3c項参照）、使用するティーインググラウンドのJGA/USGA コースレーティング差に基づく調整を加えなければならない。

例えば、JGA/USGA コースレーティングが4打異なる2つのティーインググラウンドを使用した競技でハンディキャップアローワンス80%を適用する場合、レーティングの高いティーインググラウンドを使用するコースハンディキャップ30のプレーヤーAは、まずステップ2で「 $30 \times 80\% = 24$ 」、次にステップ4で「 $24 + 4 = 28$ 」となり、コースハンディキャップ28でプレーする。もし誤ってこの手順を逆にすると、ステップ4「 $30 + 4 = 34$ 」→ステップ2「 $34 \times 80\% = 27.2 = 27$ 」となり、ハンディキャップストロークを1打失うので注意。

上記調整を行った結果、コースハンディキャップがハンディキャップインデックスの上限を超える場合でも（第3-4項参照）、ステップ4の追加ストロークをコースハンディキャップに加算する。

注1： マッチプレー競技でハンディキャップの少ないプレーヤーがスクラッチでプレーする場合、ステップ4でそのプレーヤーがスクラッチとならない時は必要に応じてステップ2を繰り返す。

注2： ステップ2および/または3の結果が小数の場合、端数を四捨五入した整数で表示する。

■ a. マッチプレー

マッチプレーでは、ゲームは各ホールごとに行われる。「ゴルフ規則」で別の定めがある場合を除き、少ないストローク数で球をホールに入れたサイドがそのホールの勝ちを得、ハンディキャップマッチでは少ないネットスコアのサイドがそのホールの勝者となる（裁定9-4a/3参照）。一方のサイドが残りのホール数よりも多く勝ち越した時に、マッチ（委員会が別途定めた場合を除き、正規のラウンドから成る）はそのサイドの勝ちである。タイの場合には、委員会は、マッチの勝ちが決まるのに必要な数だけ、正規のラウンドを延長することができる（「ゴルフ規則」規則2-1、および規則2-3）。また委員会は、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技のハンディキャップ調整を適用する前に、適切なハンディキャップアローワンスを決定しなければならない（第9-3項参照）。

(i) シングルマッチプレー

シングルマッチプレーでは、一方のプレーヤーが残りのホール数よりも多く勝ち越した時に、マッチはそのプレーヤーの勝ちである。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c項を適用しなければならない。

アローワンス： 2人のプレーヤーのコースハンディキャップの差(100%)をハンディキャップの多いプレーヤーが受け、ハンディキャップの少ないプレーヤーはスクラッチでプレーする（裁定9-4a/1）。

例： コースハンディキャップ17のプレーヤーはコースハンディキャップ13のプレーヤーから、ハンディキャップストローク4打を受け、ハンディキャップナンバー1から4のホールで1打ずつ受ける。

(ii) シングルマッチプレーのボギー競技とパー競技

ボギー競技またはパー競技は、ホールごとに決められているスコアに対してプレーする競技形式であり、得点のつけ方は、マッチプレーの場合と同様である。競技者がスコアを申告しなかったホールは負けとして扱われる。各ホールの勝ち負けを集計して最高の成績を得た競技者が、優勝者である（「ゴルフ規則」規則 32-1）。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第 9-3c 項を適用しなければならない。

アローワンス： 各プレーヤーは 100% のコースハンディキャップを受ける。

例： コースハンディキャップ 17 のプレーヤーは、ハンディキャップナンバー 1 から 17 のホールでハンディキャップストロークを 1 打ずつ受ける。

(iii) フォアボールマッチプレー

フォアボールマッチプレーは、2 人のうちの良い方のスコア対他の 2 人のうちの良い方のスコアでマッチを競う（「ゴルフ規則」規則 30、およびフォアボールの定義参照）。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第 9-3c 項を適用しなければならない。

アローワンス： プレーヤー 4 人のうち最もハンディキャップの少ないプレーヤーはスクラッチでプレーする。他の 3 人はそれぞれ、最もハンディキャップの少ないプレーヤーのコースハンディキャップとの差 (100%) をハンディキャップストロークとして受ける（裁定 9-4a/2 参照）。

例： プレーヤー A、B、C、D のコースハンディキャップは、A = 5、B = 10、C = 15、D = 20。プレーヤー A はスクラッチでプレーし、プレーヤー B は 5 打、C は 10 打、D は 15 打のハンディキャップストロークを受ける。

男女混合フォアボールマッチプレーの場合は、それぞれのハンディキャップストローク表に基づいてハンディキャップストロークを割り当てる。競技を管理する委員会は使用するティーインググラウンドを指定する（第 9-3a 項参照）。

(iv) フォアボールマッチプレーのボギー競技とパー競技

フォアボールマッチプレー形式のボギー競技とパー競技は、2 人のうちの良い方のスコア対他の 2 人のうちの良い方のスコアでマッチを競い、各ホールごとに決められているパーやボギーに対してプレーする。各ホールの勝ち負けを集計して最高の成績を得たチームが、優勝者である。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第 9-3c 項を適用しなければならない。

アローワンス： 男子は 90%、女子は 95% のコースハンディキャップを適用。

例： 共に男子のプレーヤー A と B は、コースハンディキャップ 10 のプレーヤー A がハンディキャップストローク 9 打を受け ($10 \times 90\% = 9$)、コースハンディキャップ 16

のプレーヤー B はハンディキャップストローク 14 打を受ける ($16 \times 90\% = 14.4 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 14$)。ハンディキャップストロークの割り当ては、それぞれのハンディキャップストローク表に基づく。

(v) パートナーの合計スコアによるフォアボールマッチプレー

パートナーの合計スコアによるフォアボールマッチプレーは、同じサイドのプレーヤー 2 人がそれぞれ自分の球をプレーし、各ホールのパートナーの合計スコアでマッチを競う。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第 9-3c 項を適用しなければならない。

アローワンス： 4 人のプレーヤーのうち最もハンディキャップの少ないプレーヤーはスクラッチでプレーする。他の 3 人はそれぞれ、最もハンディキャップの少ないプレーヤーのコースハンディキャップとの差 (100%) をハンディキャップストロークとして受ける。

例： プレーヤー A、B、C、D のコースハンディキャップは、A = 5、B = 10、C = 15、D = 20。プレーヤー A はスクラッチでプレーし、プレーヤー B は 5 打、C は 10 打、D は 15 打のハンディキャップストロークを受ける。

(vi) ベストボール団体戦マッチプレーのボギー競技とパー競技

ベストボールマッチプレー形式のボギー競技とパー競技は、4 人のうち最も良いスコアで各ホールごとにパーやボギーに対してプレーする。各ホールの勝ち負けを集計して最高の成績を得たチームが、優勝者である。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第 9-3c 項を適用しなければならない。

アローワンス： 男子は 80%、女子は 90% のコースハンディキャップを適用。

例： プレーヤー A、B、C、D (すべて男子) のコースハンディキャップは、A = 5、B = 10、C = 15、D = 20。全員 80% のアローワンスを適用し、プレーヤー A = 4、B = 8、C = 12、D = 16 となる。4 人の中のベストネットスコアで各ホールのパーまたはボギーに挑む。ハンディキャップストロークの割り当ては、それぞれのハンディキャップストローク表に基づく。

(vii) フォアサムマッチプレー

フォアサムマッチプレーは、2 対 2 でマッチを競い、両サイドともそれぞれ 1 つの球をプレーする。各ラウンドとも正規のラウンド中は、パートナー同士は交互にティーインググラウンドからプレーし、また各ホールのプレー中も交互にプレーしなければならない（「ゴルフ規則」規則 29-1、および用語の定義）。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第 9-3c(iii) 項を適用しなければならない。

アローワンス： パートナーの合計コースハンディキャップが多いサイドは、少ないサイドの合計コースハンディキャップとの差の 50% を受ける（ティーショットでパートナー間の良い方を選べる場合は 40%）。ハンディキャップが少ないサイドはスクラッチでプレーする。

例： サイドAの合計コースハンディキャップは15で、サイドBの合計コースハンディキャップは36。ハンディキャップの多いサイドBはハンディキャップストローク11打を受ける ($36 - 15 = 21 \times 50\% = 10.5 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 11$)。ハンディキャップストロークの割り当ては、それぞれのハンディキャップストローク表に基づく。

(viii) フォアサムマッチプレーのボギー競技とパー競技

フォアサムマッチプレー形式のボギー競技とパー競技は、各ホールごとにパーやボギーに対するプレーでマッチを競う。各ホールの勝ち負けを集計して最高の成績を得たサイドが、優勝者である。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c(iii)項を適用しなければならない。

アローワンス： パートナーのコースハンディキャップ合計の50%を適用する(但しティーショットでパートナー間の良い方を選べる場合は40%)。

例： パートナーを組むプレーヤーAとBのコースハンディキャップは、A=5、B=10。このサイドは合計コースハンディキャップの50%の8打を受ける ($(5 + 10) \times 50\% = 7.5 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 8$)。ハンディキャップストロークの割り当ては、それぞれのハンディキャップストローク表に基づく。

(ix) チャップマンマッチプレー (またはパインハーストマッチプレー)

チャップマンマッチプレー (またはパインハーストマッチプレー) は、2対2でマッチを競う。ティーショットは全員が打ち、第2打はそれぞれのパートナーの球をプレーする。第3打は各サイドで選択した球をもう一方のパートナーがプレーし、以降そのホールを終えるまで、両サイドともそれぞれ1つの球を交互にプレーする。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c(iii)項を適用しなければならない。

アローワンス： 両サイドとも、コースハンディキャップの少ないパートナーが60%、多いパートナーが40%のアローワンスを適用した後、2人の合計コースハンディキャップの多いサイドが、少ないサイドとの差をハンディキャップストロークとして受ける。合計コースハンディキャップが少ないサイドはスクラッチでプレーする。

例： コースハンディキャップ5のプレーヤーAとコースハンディキャップ10のプレーヤーBがパートナーを組むサイドABは、 $[A : 5 \times 60\% = 3] + [B : 10 \times 40\% = 4] =$ 合計コースハンディキャップ7。コースハンディキャップ14のプレーヤーCとコースハンディキャップ17のプレーヤーDがパートナーを組むサイドCDは、 $[C : 14 \times 60\% = 8.4 = 8] + [D : 17 \times 40\% = 6.8 = 7] =$ 合計コースハンディキャップ15となる。

合計コースハンディキャップ7のサイドABがスクラッチでプレーし、合計コースハンディキャップ15のサイドCDはハンディキャップナンバー1から8のホールでハンディキャップストローク1打ずつを受ける。

■ b. ストロークプレー

ストロークプレーでは、1または複数の正規のラウンドで最小のネットスコアの競技者が優勝者となる(「ゴルフ規則」規則3-1)。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c項を適用しなければならない。

(i) ストロークプレー個人競技

アローワンス： 各競技者は100%のコースハンディキャップを受ける(プラスコースハンディキャップはグロススコアに加算してネットスコアを決定しなければならない)。

例： コースハンディキャップ10のプレーヤーAは、グロススコア82の場合はネットスコア72。コースハンディキャップ+2のプレーヤーBは、グロススコア70の場合はネットスコア72となる。

(ii) フォアボールストロークプレー

フォアボールストロークプレーは、2人の競技者がパートナーとしてそれぞれ自分の球をプレーする。パートナーのうちの少ないスコアがそのホールのスコアとなる。(「ゴルフ規則」規則30、およびフォアボールの用語の定義)。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c項を適用しなければならない。

アローワンス： 男子は90%、女子は95%のコースハンディキャップを適用。

例1： パートナーを組むプレーヤーAとB(共に男子)は、コースハンディキャップ5のプレーヤーAがハンディキャップストローク5打を受け ($5 \times 90\% = 4.5 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 5$)、コースハンディキャップ20のプレーヤーBはハンディキャップストローク18打を受ける ($20 \times 90\% = 18$)。

男女混合フォアボールストロークプレーの場合は、それぞれのハンディキャップストローク表に基づいてハンディキャップストロークを割り当て、使用するティーインググラウンドは競技を管理する委員会が決定しなければならない。

例2： 男子がミドルティーを使用し、女子がフォワードティーを使用する場合は、男子はミドルティーのハンディキャップナンバーに従い、女子はフォワードティーのハンディキャップナンバーに従ってハンディキャップストロークを割り当てなければならない。

注： 同じサイドのパートナー間のコースハンディキャップ差(アローワンス適用後)は、8打を超えることができないというフォアボールストロークプレーの競技の条件を、委員会が検討することを勧める。パートナー間のコースハンディキャップ差が大きいサイドは、小さいサイドより有利になる。8打を超える差が避けられない場合は、そのサイドのプレーヤー2人のコースハンディキャップを更に10%減らす。

例3： 上記「例1」で、同じサイドのプレーヤーAとBのコースハンディキャップ差は、アローワンス適用後8打を超えていた(18打-5打=13打)ため、両者のコースハ

ンディキャップを更に10%減らす。その結果、プレーヤーAの**コースハンディキャップ**は5 ($5 - 0.5 = 4.5 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 5$)、プレーヤーBの**コースハンディキャップ**は16 ($18 - 1.8 = 16.2 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 16$)となる。それぞれのハンディキャップストローク表に基づいてハンディキャップストロークを割り当てる。

(iii) パートナーの合計スコアによるストロークプレー

パートナーの合計スコアによるストロークプレーは、同じサイドのプレーヤー2人がそれぞれ自分の球をプレーし、そのラウンドの両者の合計スコアが、そのサイドのスコアとなる。**ハンディキャップアローワンス**を決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c項を適用しなければならない。

アローワンス： 各パートナーは共に100%の**コースハンディキャップ**を適用する。

例： プレーヤーAとプレーヤーBがパートナーを組んだ。**コースハンディキャップ**は、 $A = 12, B = 26$ 、両者のスコアは $A = 87, B = 101$ 。このサイドのチームスコアは、 $(A : 87 - 12) + (B : 101 - 26) = 75 + 75 = 150$ となる。

(iv) ベストボール団体戦ストロークプレー

ベストボールストロークプレーは、4人のプレーヤーがそれぞれ自分の球をプレーし、そのうち最も良いスコアが各ホールのチームスコアとなる。**ハンディキャップアローワンス**を決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c項を適用しなければならない。

アローワンス： 男子は80%、女子は90%の**コースハンディキャップ**を適用。

例： 男女混合チームのプレーヤーA、B、C、D (ABは男子、CDは女子)の**コースハンディキャップ**は、 $A = 8, B = 10, C = 12, D = 14$ 。男子のAとBは80%のアローワンスを適用し、 $A = 6 (8 \times 80\% = 6.4 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 6)$ 、 $B = 8 (10 \times 80\% = 8)$ 、女子のCとDは90%を適用し、 $C = 11 (12 \times 90\% = 10.8 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 11)$ 、 $D = 13 (14 \times 90\% = 12.6 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 13)$ となる。各ホールの最も少ないネットスコアを加算したものが正規のラウンドの合計スコアとなる。ハンディキャップストロークの割り当ては、それぞれのハンディキャップストローク表に基づく。

(v) 4人中2人のベストボール団体戦ストロークプレー

4人中2人のベストボールストロークプレーは、4人のプレーヤーがそれぞれ自分の球をプレーし、そのうち最も良い2人のスコアが各ホールのチームスコアとなる。**ハンディキャップアローワンス**を決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c項を適用しなければならない。

アローワンス： 男子は90%、女子は95%の**コースハンディキャップ**を適用。

例： プレーヤーA、B、C、D (すべて女子)の**コースハンディキャップ**は、 $A = 11, B = 16, C = 22, D = 35$ 。全員95%のアローワンスを適用し、プレーヤーAは $10 (11 \times 95\% = 10.4 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 10)$ 、Bは $15 (16 \times 95\% = 15.2 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 15)$ 、Cは $21 (22 \times 95\% = 20.9 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 21)$ 、Dは $33 (35 \times 95\% = 33.2 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 33)$ となる。ハンディキャップストロークの割り当ては、それぞれのハンディキャップストローク表に基づく。

(vi) フォアサムストロークプレー

フォアサムストロークプレーは、2対2で競い、両サイドともそれぞれ1つの球をプレーする。パートナー同士は交互にティーインググラウンドからプレーし、また各ホールのプレー中も交互にプレーしなければならない(「ゴルフ規則」規則29-1)。**ハンディキャップアローワンス**を決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c(iii)項を適用しなければならない。

アローワンス： パートナーの合計**コースハンディキャップ**の50%を適用する(ティーショットでパートナー間の良い方を選べる場合は40%)。パートナーの合計**コースハンディキャップ**がプラスハンディキャップの場合は、**グロススコア**に加算して**ネットスコア**を決定しなければならない。

例： 同じサイドのプレーヤーAは**コースハンディキャップ**5、プレーヤーBは**コースハンディキャップ**12。このサイドの合計**コースハンディキャップ**は17 ($5 + 12 = 17$)となり、これに50%のアローワンスを適用して9打のハンディキャップストロークを受ける ($17 \times 50\% = 8.5 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 9$)。

(vii) チャップマンストロークプレー (またはパインハーストストロークプレー)

チャップマンストロークプレー (またはパインハーストストロークプレー) は2対2で競う。ティーショットは全員が打ち、第2打はそれぞれのパートナーの球をプレーする。第3打は各サイドで選択した球をもう一方のパートナーがプレーし、以降そのホールを終えるまで、両サイドともそれぞれ1つの球を交互にプレーする。**ハンディキャップアローワンス**を決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c(iii)項を適用しなければならない。

アローワンス： 両サイドとも、**コースハンディキャップ**の少ないパートナーが60%、多いパートナーが40%のアローワンスを適用する。

例： 同じサイドのプレーヤーAは**コースハンディキャップ**10、プレーヤーBは**コースハンディキャップ**18。プレーヤーAは60%のアローワンスを適用して**コースハンディキャップ**6 ($10 \times 60\% = 6$)となり、プレーヤーBは40%のアローワンスを適用して**コースハンディキャップ**7 ($17 \times 40\% = 7.2 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 7$)となる。このサイドの合計**コースハンディキャップ**は13 ($6 + 7 = 13$)となる。

(viii) ステープルフォード競技

ステープルフォード競技での得点は、ホールごとに決められているスコア（通常はパーまたはネットパー）との比較で競技者に以下の点数が与えられ、それを集計して決める。

プレーしたホールで	点数
決められたスコアより2打以上多いか、スコアの申告がないとき	0点
決められたスコアより1打多いとき	1点
決められたスコアと同じとき	2点
決められたスコアより1打少ないとき	3点
決められたスコアより2打少ないとき	4点
決められたスコアより3打少ないとき	5点
決められたスコアより4打少ないとき	6点

競技者の得点数を集計して最高点を得た競技者が、優勝者である（「ゴルフ規則」規則32-1b）。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c項を適用しなければならない。

アローワンス： 100%のコースハンディキャップを適用し、ハンディキャップストロークの割り当ては、それぞれのハンディキャップストローク表に基づく。

例： コースハンディキャップ16のプレーヤーAが、ハンディキャップナンバー15のパー4ホールでグロススコアが5だった。プレーヤーAはこのホールでハンディキャップストローク1打を受けるためネットスコアは4となり、2点を獲得する。

■ c. コースハンディキャップアローワンス換算表

本規定のハンディキャップアローワンスを適用する際の参考として、以下の換算表を使用する。

コースハンディキャップアローワンス換算表

コース ハンディキャップ	アローワンス		
	80%	90%	95%
1	1	1	1
2	2	2	2
3	2	3	3
4	3	4	4
5	4	5	5
6	5	5	6
7	6	6	7
8	6	7	8
9	7	8	9
10	8	9	10
11	9	10	10
12	10	11	11
13	10	12	12
14	11	13	13
15	12	14	14
16	13	14	15
17	14	15	16
18	14	16	17
19	15	17	18
20	16	18	19
21	17	19	20
22	18	20	21
23	18	21	22
24	19	22	23
25	20	23	24

コース ハンディキャップ	アローワンス		
	80%	90%	95%
26	21	23	25
27	22	24	26
28	22	25	27
29	23	26	28
30	24	27	29
31	25	28	29
32	26	29	30
33	26	30	31
34	27	31	32
35	28	32	33
36	29	32	34
37	30	33	35
38	30	34	36
39	31	35	37
40	32	36	38
41	33	37	39
42	34	38	40
43	34	39	41
44	35	40	42
45	36	41	43
46	37	41	44
47	38	42	45
48	38	43	46
49	39	44	47
50	40	45	48

9-5. ハンディキャップ競技のタイの決定方法

(「ゴルフ規則」付則Iを参照)

参考: 「サイド」とは1人のプレーヤー、または互いにパートナーである複数のプレーヤーをいう。「サイド」は「チーム」と同義語とみなされる。

競技を管理する委員会は規則 33-6 に基づいてタイの決定の方法と時期を決める権限を持っている。委員会はその内容を前もって公表しておくべきである。

USGA は以下を奨励する。

(i) マッチプレー

マッチがオールスクエアに終わったときは、どちらかのサイドが1ホール勝つまで、1ホールずつプレーを続けて決着をつけるべきである。プレーオフはそのマッチを始めた同じホールから始め、ハンディキャップマッチでは与えたり受けるべきハンディキャップストロークは**正規のラウンド**と同じにするべきである。

(ii) ストロークプレー

ハンディキャップ・ストロークプレー競技でタイのときは、ハンディキャップ付きのプレーオフを行うことを勧める。そのプレーオフは18ホールで行ってもよいし、委員会が決めたそれよりも少ないホール数で行ってもよいが、どのようなプレーオフも少なくとも3ホールで行うことを勧める。

ハンディキャップストローク表が関係のない競技(個人戦ストロークプレー競技など)で、18ホール未満のホール数でのプレーオフの場合には、プレーオフ・ハンディキャップは、プレーするホール数と18ホールとの比率をそれぞれのプレーヤーのハンディキャップに乗じて決めるべきである。その場合、端数は四捨五入とするべきである。

例 1: コースハンディキャップ 10 のプレーヤー A と、コースハンディキャップ 7 のプレーヤー B が、個人戦ストロークプレー競技でタイに並んだ。委員会が9ホール(18ホールの50パーセント)のプレーオフ実施を決めた場合、両者のプレーオフ・ハンディキャップは、A = 5、B = 4 となる。

ハンディキャップストローク表が関係する競技(フォアボールストロークプレー競技やステーブルフォード競技など)で、18ホール未満のホール数でのプレーオフの場合には、プレーヤー個々に対してハンディキャップストローク表を用いてその競技に割り当てられた通りのハンディキャップストロークが採用されるべきである。

例 2: フォアボールストロークプレー競技で、コースハンディキャップ 10 のプレーヤー A とコースハンディキャップ 7 のプレーヤー B (共にアローワンス適用後) がパートナーを組むサイドが、プレーオフに進出した。ハンディキャップナンバーはフロントナインに奇数、バックナインに偶数が割り当てられ、プレーオフはバックナインの9ホールで行われた。この場合、プレーヤー A はハンディキャップナンバー 2、4、6、8、10 のホールで各1打のハンディキャッ

プストローク(合計5打)を受け、プレーヤー B はハンディキャップナンバー 2、4、6 のホールで各1打(合計3打)を受ける。

(iii) プレーオフを行えない状況(マッチング・スコアカード)

プレーオフを行えない状況のときは、マッチング・スコアカードを勧める。ただし、マッチング・カード方法は前もって発表しておくべきで、また、この方法で勝者が決まらなかった場合にどのようにするのかを規定しておくべきである。認められるマッチング・カードの方法として、最後の9ホールの合計スコアを比較し、最も成績のよい競技者を優勝者とする方法がある。タイの競技者が数人いて、最後の9ホールの合計スコアが同じであったときは最後の6ホールの合計スコア、それも同じであったときは最後の3ホールの合計スコアに基づいて優勝者を決める。それでもなお同スコアのときは、18番ホールのスコアで決める。複数のティーインググラウンドからスタートさせる方式を採用している競技では、「最後の9ホール」とか「最後の6ホール」は、それぞれ「10番ホールから18番ホール」、「13番ホールから18番ホール」と読み替えることを勧める。

ハンディキャップストローク表が関係のない競技(個人戦ストロークプレー競技など)で、最後の9ホール、6ホール、3ホールというマッチングの方法が使われる場合、それぞれコースハンディキャップの1/2、1/3、1/6がそれぞれのホールの合計スコアから差し引かれるべきである。その場合、端数は四捨五入とするべきである。

例 3:

ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
プレーヤー(コースハンディキャップ)										
プレーヤー E (11)	4	6	5	4	3	4	5	6	3	40
プレーヤー F (10)	5	4	4	4	4	4	5	4	4	39

プレーヤー E とプレーヤー F の18ホールのネットスコアは同じ。

最後の9ホール: E = $34(11 \times 50\% = 5.5 = 6, 40 - 6 = 34)$ 。F = $34(10 \times 50\% = 5, 39 - 5 = 34)$ 。まだ同スコア。

最後の6ホール: E = $21(11 \times 33\% = 3.6 = 4, 25 - 4 = 21)$ 。F = $23(10 \times 33\% = 3.3 = 3, 26 - 3 = 23)$ 。従ってプレーヤー E の勝ち。

ハンディキャップストローク表が関係する競技(フォアボールストロークプレー、マッチプレーのパー競技とボギー競技、ステーブルフォード競技など)では、プレーヤー個々に対してハンディキャップストローク表を用いてその競技に割り当てられた通りのハンディキャップストロークが採用されるべきである。

例 4: フォアボールストロークプレー競技で、委員会が最後の9ホールのマッチング・スコアカードを採用した。各ホールでパートナーのうちの少ないネットスコアを使用して、サイド AB とサイド CD を比較したが、最後の9ホールは共に同スコアの34だった。そこで、次に最後の6ホールで比較したところ、サイド AB は23、サイド CD は21となり、サイド CD の勝ちとなる。

例 4:

ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
ハンディキャップナンバー	3	5	11	9	7	15	17	1	13	
プレーヤー (コースハンディキャップ)										
プレーヤー A (5)	5*	4*	5	3	5	4	4	4*	5	
プレーヤー B (22)	7**	5*	5*	6*	5*	6*	5*	8**	7*	
サイド AB ネット	4	3	4	3	4	4	4	3	5	34
プレーヤー C (10)	6*	4*	6	3*	5*	6	3	6*	5	
プレーヤー D (15)	7*	5*	6*	5*	5*	5*	5	4*	6*	
サイド CD ネット	5	3	5	2	4	4	3	3	5	34
* =ハンディキャップストローク 1 打										
** =ハンディキャップストローク 2 打										

【裁定集】第9章: ハンディキャップ競技

9-1/1. 所属倶楽部のスコアに基づく JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用をプレーヤーに義務づける競技

質問: ハンディキャップ競技の競技の条件で、所属倶楽部でプレーしたスコア 4 枚に基づいた JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用を義務づけることは適切か?

回答: 競技を管理する委員会は、競技の条件を制定する権限を持つ(「ゴルフ規則」規則 33-1 参照)。但し委員会が、所属倶楽部でプレーしたスコア 4 枚に基づいて査定したハンディキャップの使用をプレーヤーに義務づけた場合、このハンディキャップを JGA/USGA ハンディキャップインデックスと呼ぶことはできず、プレーヤーは JGA/USGA ハンディキャップインデックスを使用しないことになる。JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) は、プレーした場所に拘わらずすべてのスコアを提出することをプレーヤーに義務づけている (第 5-1b 項参照)。競技をフェアで公正なものにするために、競技を管理する委員会はプレーヤーに JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用を義務づけるよう、USGA は奨励している。

9-1/2. 10 枚未満のスコアに基づいて査定した JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用を禁止する競技

質問: あるハンディキャップ競技では、委員会が 10 枚未満のスコアで査定した JGA/USGA ハンディキャップインデックスを持つプレーヤーの参加を禁止している。一般的に 10 枚以上のスコアで査定したものよりも数値が高くなるというのが理由である。この措置は適切か?

回答: 競技を管理する委員会は、競技の条件を制定する権限を持つが(「ゴルフ規則」規則 33-1 参照)、10 枚未満のスコアで査定した JGA/USGA ハンディキャップインデックスを持つプレーヤーの参加を禁止することを USGA は奨励していない。10 枚未満のスコアで査定したものの、10 枚以上のスコアで査定したハンディキャップインデックスと同様に有効であり、しかも 10 枚未満のスコアで査定したものを使用することで他のプレーヤーよりも有利になることはない (第 11-4 項参照)。

9-2b/1. ラウンド中にプレー中断となり、プレーが再開される前にハンディキャップ更新日が訪れた場合

質問: 日曜日に開催されたハンディキャップ競技が、競技開始後、プレーが雨のために中断され、その日のうちに競技を終了することができなかった。

翌週の土曜日にプレーは再開されたが、その間に JGA/USGA ハンディキャップインデックスリストが更新され、新しい JGA/USGA ハンディキャップインデックスが公表された。

競技の条件では、プレーヤーは、ラウンド当日における有効な JGA/USGA ハンディキャップインデックスを使用するべきであるとしているが、この場合は、ラウンド開始時の JGA/USGA ハンディキャップインデックスを使用すべきか? それともプレー再開時のものを使用すべきか?

回答: たとえラウンド中にプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスが更新された場合でも、ラウンド開始時において有効だった JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、そのラウンドが終了するまで有効とすべきである。

9-3a/1. プラスハンディキャップのプレーヤーがシングルマッチプレーに参加した場合のハンディキャップアローワンス決定方法

質問: コースハンディキャップ+2 のプレーヤー A と、コースハンディキャップ 8 のプレーヤー B がマッチで対戦した。この場合、プレーヤー B はハンディキャップストロークを何打受けるか?

回答: B が 10 打を受け、A がスクラッチでプレーすることを USGA は勧めている。

9-3a/2. プラスハンディキャップのプレーヤーがフォアボールマッチプレーに参加した場合のハンディキャップアローワンス決定方法

質問: フォアボールマッチプレーにプレーヤー A、B、C、D の 4 人が参加した。コースハンディキャップは、A = +2、B = 6、C = 2、D = 4 である。コースハンディキャップをどのように割り当てるか?

回答: プレーヤー A はスクラッチでプレーし、B が 8 打、C が 4 打、D が 6 打受けることを USGA は勧めている (第 9-4a(iii) 項参照)。

9-3a/3. プラスハンディキャップのプレーヤーがフォアボールストロークプレーに参加した場合のハンディキャップストローク決定方法

質問: ネットスコアで競うフォアボールストロークプレーで、プレーヤー A とプレーヤー B がパートナーを組んだ。コースハンディキャップは A = +2、B = 2 である。両者はそれぞれ、どのホールでハンディキャップストロークを与えたり受けるのか?

回答: プレーヤー A はハンディキャップナンバー 17 と 18 のホールで各 1 打をグロススコアに加える。プレーヤー B はハンディキャップナンバー 1 と 2 のホールで各 1 打をグロススコアから差し引く (第 9-4b(ii) 項参照)。

9-3a/4. ネットスコアがゼロまたはマイナスになる場合

質問： ハンディキャップマッチで、パー3のホールに2打のハンディキャップを受けるプレーヤーが、2打でホールアウト、またはホールインワンを記録した。この場合、プレーヤーのネットスコアは？

回答： プレーヤーのスコアが2のときはネットスコアは「0（ゼロ）」、ホールインワンのときは「-1」となる。なお、フォアボールストロークプレーやステーブルフォード競技ではスコアはホールごとの計算となるので、これらの競技の場合についても同様に扱う（「ゴルフ規則裁定集」裁定 2-1/2 参照）。

9-4a/1. シングルマッチプレーで共にフルハンディキャップを採用する

質問： シングルマッチプレーで、コースハンディキャップ17のプレーヤーAとコースハンディキャップ13のプレーヤーBが対戦した。第9-4a(i)項の規定ではAはハンディキャップナンバー1から4のホールで各1打ずつ受けるとなっているが、両者は互いにフルハンディキャップを採用し、Aは17ホール、Bは13ホールで各1打ずつハンディキャップを受けることにした。これは正しいか？

回答： 正しくない。ハンディキャップホールは、マッチのなかで引き分けのホールの数をできるだけ多くするために設定するものであり、この場合はプレーヤーAが引き分けるためにハンディキャップを最も必要とする4ホールに各1打ずつを割り当てる。もしこれらの4ホールで両者がハンディキャップを受けると、技量の高いプレーヤーBが勝つ可能性が大きくなる。またハンディキャップナンバー14から17の4ホールでプレーヤーAだけがハンディキャップを受けることによって、これらのホールではプレーヤーAが勝つ可能性が大きくなる。つまり互いにフルハンディキャップを採用することは、引き分けのホールよりも勝敗がつくホールの数を増やすことになり、結果的に技量の高いプレーヤー（この場合はB）が有利になってしまう。

9-4a/2. フォアボールマッチプレーで、プレーヤーの1人が不参の場合のハンディキャップアローワンス決定方法

質問： フォアボールマッチで、ハンディキャップの一番少ないプレーヤーがプレーできなくなった。残り3人のハンディキャップアローワンスは不参のプレーヤーを除外して決めてもよいか？

回答： 3人のコースハンディキャップは不参のプレーヤーのコースハンディキャップから差し引いて決定しなければならず、その差（100%）をハンディキャップストロークとして受けることができる。不参プレーヤーについて誤ったハンディキャップが申告された場合には、本規定第3-6a項が適用となる（「ゴルフ規則」規則 30-3a、30-3e(i)、および「ゴルフ規則裁定集」裁定 30-3a/3 参照）。

9-4a/3. 男子と女子のパーが異なるホールの結果

質問： 男子と女子がマッチプレー競技で対戦し、男子はパー4で女子はパー5のホールで、共にスコアはパーだった。このホールの結果は？

回答： パーは関係ない。少ないストロークでホールアウトしたプレーヤーが、そのホールの勝ちとなる。

9-4b/1. プラスハンディキャップのプレーヤーがフォアサムストロークプレーに参加した場合のハンディキャップアローワンス決定方法

質問： フォアサムストロークプレーで、コースハンディキャップ+1のプレーヤーとコースハンディキャップ12のプレーヤーがパートナーを組んだ。このサイドが受けるハンディキャップストロークは？

回答： 6打である（ $11 \times 50\% = 5.5 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 6$ ）。（第9-4b(vi)項参照）

計算式

第10章: JGA/USGA ハンディキャップ計算式

用語の定義

定義は**ゴシック体**で表記され、「第2章—用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

プレーヤーの潜在技量は **JGA/USGA ハンディキャップインデックス**によって示され、複数枚のベストスコアを使用して算出する。これらのベストスコアは、各スコアの**ハンディキャップディファレンシャル**に基づいて決定する。**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**は、**ベストハンディキャップディファレンシャル**（1枚または複数）の平均に乗数0.96を掛けたものをいい、2枚以上の採用可能な**トーナメントスコア**がある場合には第10-3項を適用する。

10-1. ハンディキャップディファレンシャルの計算

ハンディキャップディファレンシャルは、次の4つの要素を使用して算出する：**調整グロススコア**、**JGA/USGA コースレーティング**、**スロープレーティング**、113（標準難易度のスロープレーティング）。ハンディキャップディファレンシャルは、**調整グロススコア**から**JGA/USGA コースレーティング**を引き、113を掛け、**スロープレーティング**で割り、端数を四捨五入した小数第1位の数値で表示する。

ハンディキャップディファレンシャル＝

（調整グロススコア－ JGA/USGA コースレーティング） $\times 113 \div$ スロープレーティング

■ a. プラスハンディキャップディファレンシャル

調整グロススコアが **JGA/USGA コースレーティング**より大きい場合、ハンディキャップディファレンシャルは正の数（プラス）となる。下記は、**JGA/USGA コースレーティング 71.5**、**スロープレーティング 125**、**調整グロススコア 95**の場合の、ハンディキャップディファレンシャル算出例である。

調整グロススコア－ JGA/USGA コースレーティング： $95 - 71.5 = 23.5$

上記の差 \times 標準スロープレーティング： $23.5 \times 113 = 2655.5$

上記結果 \div スロープレーティング： $2655.5 \div 125 = 21.24$

ハンディキャップディファレンシャル： 21.2（小数第2位四捨五入）

■ b. マイナスハンディキャップディファレンシャル

調整グロススコアが JGA/USGA コースレーティングより小さい場合、ハンディキャップディファレンシャルは負の数（マイナス）となる。下記は、JGA/USGA コースレーティング 71.5、スロープレーティング 125、調整グロススコア 69 の場合の、ハンディキャップディファレンシャル算出例である。

調整グロススコアー JGA/USGA コースレーティング： $69 - 71.5 = -2.5$

上記の差 × 標準スロープレーティング： $-2.5 \times 113 = -282.5$

上記結果 ÷ スロープレーティング： $-282.5 \div 125 = -2.26$

ハンディキャップディファレンシャル： -2.3 (少数第 2 位四捨五入)

10-2. JGA/USGA ハンディキャップインデックスの査定方法

JGA/USGA ハンディキャップインデックスの査定方法は、プレーヤーのスコア記録に登録されているベストハンディキャップディファレンシャルに基づく。プレーヤーのスコア記録に 20 枚以上のスコアが登録されている場合は、最新 20 枚のスコアのうちベストハンディキャップディファレンシャル 10 枚を使用して計算する。スコア記録に登録されているスコアの数が少なくなると、使用するベストハンディキャップディファレンシャルの比率（最大 50 パーセント）も小さくなる。例えば、スコア記録内のスコアが 9 ～ 10 枚の場合は、使用するベストハンディキャップディファレンシャルは 3 枚（30 ～ 33 パーセント）となる。従って、プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスの正確性は、提出された採用可能なスコアの枚数に比例する。このため、提出された採用可能なスコアが 5 枚未満のプレーヤーには、JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発給してはならない。以下、承認されたゴルフ協会、ゴルフ倶楽部、およびハンディキャップ計算プログラムがプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを査定する手順を示す。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスの査定手順：

ステップ 1： 下記の表を使用して、使用するベストハンディキャップディファレンシャル枚数を決定する。

採用可能なスコア枚数	使用するディファレンシャル枚数
5 ～ 6	ベスト 1 枚
7 ～ 8	ベスト 2 枚
9 ～ 10	ベスト 3 枚
11 ～ 12	ベスト 4 枚
13 ～ 14	ベスト 5 枚
15 ～ 16	ベスト 6 枚
17	ベスト 7 枚
18	ベスト 8 枚
19	ベスト 9 枚
20	ベスト 10 枚

ステップ 2： 使用するハンディキャップディファレンシャルを決定する。

ステップ 3： 使用するハンディキャップディファレンシャルの平均を求める。

ステップ 4： ハンディキャップディファレンシャル平均に乗数 0.96* を掛ける。

ステップ 5： 端数を切り捨て、小数第 1 位の数値で表示する（四捨五入ではないので注意）。

例 1： 採用可能スコア 20 枚未満（11 枚）の場合：

ベスト 4 枚のハンディキャップディファレンシャル合計： 104.1

上記の平均値 ($104.1 \div 4$)： 26.025

平均値に乗数 0.96 を掛ける： 24.984

少数第 2 位切り捨て： 24.9

(四捨五入しないこと)

JGA/USGA ハンディキャップインデックス： 24.9

*乗数 0.96 は、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) に組み込まれた「上級者へのボーナス」という計算手法で、プレーヤーの技量向上意欲を促す効果がある。ディファレンシャル平均からわずかな比率を差し引いた数値 (96%) を JGA/USGA ハンディキャップインデックス計算に使用することにより、プレーヤーの技量が高まるほど（つまり JGA/USGA ハンディキャップインデックスが少なくなるほど）、そのプレーヤーがハンディキャップ競技で好成績を収める可能性が若干増すようになっている。

例 2： 採用可能スコア 20 枚の場合：

ベスト 10 枚のハンディキャップディファレンシャル合計： 154.8

上記の平均値 ($154.8 \div 10$)： 15.48

平均値に乗数 0.96 を掛ける： 14.861

少数第 2 位切り捨て： 14.8

(四捨五入しないこと)

JGA/USGA ハンディキャップインデックス： 14.8

ステップ 6： 採用可能なトーナメントスコアが 2 枚以上ある場合、第 10-3 項を適用する。

日付	調整 グロススコア	スコア タイプ	JGA/USGA コース レーティング	スロープ レーティング	ハンディキャップ デファレンシャル
1/15/12	90	H	70.1	116	19.4
1/11/12	91	H	70.1	116	20.4
1/5/12	94	A	72.3	123	19.9
1/3/12	*88	H	70.1	116	17.4
1/1/12	89	H	70.1	116	18.4
12/25/11	*90	A	72.3	123	16.3
12/13/11	*91	A	72.3	123	17.2
12/1/11	91	I	70.1	116	20.4
11/18/11	91	I	70.1	116	20.4
11/7/11	86	A	68.7	105	18.6
11/2/11	90	H	70.1	116	19.4
10/30/11	*92	AI	72.3	123	18.1
10/23/11	*85	T	68.0	107	18.0
10/13/11	*78	T	68.7	105	10.0
10/4/11	*82	H	70.1	116	11.6
9/30/11	*84	H	70.1	116	13.5
9/29/11	94	A	72.3	123	19.9
9/21/11	93	A	72.3	123	19.0
9/17/11	*89	A	72.3	123	15.3
9/12/11	*88	H	70.1	116	17.4
* ベスト 10 枚のハンディキャップデファレンシャル					
採用可能なトーナメントスコア・ベスト 2 枚					
日付	調整 グロススコア	スコア タイプ	JGA/USGA コース レーティング	スロープ レーティング	ハンディキャップ デファレンシャル
10/13/11	78	T	68.7	105	10.0
7/4/11	83	T	70.1	116	12.6

10-3. 非常に優れたトーナメントスコアによる JGA/USGA ハンディキャップインデックスの低減

トーナメントスコアの定義(トーナメントスコアの用語の定義、および裁定 10-3/1 ~ 10-3/6 参照)に従って、委員会は(競技を管理する委員会と協議したうえでハンディキャップ委員会がこれを担うのが望ましい)、その競技のスコアを略称コード「T」を付記して提出するトーナメントスコア(例: 82T)に指定するかどうかを事前に決定しなければならない。第 10-3 項では、このスコアを「Tスコア」と表記している箇所がある。

■ a. 追加計算の適用

プレーヤーが 2 枚以上の採用可能なトーナメントスコアを持つ場合、プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックス査定に以下の追加計算を適用しなければならない。採用可能なトーナメントスコアのハンディキャップデファレンシャルベスト 2 枚の平均が、第 10-2 項で算出したプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスより 3.0 以上低い場合、その JGA/USGA ハンディキャップインデックスをこの追加計算によって減らすことができる。

ハンディキャップ委員会またはハンディキャップ計算プログラムは、必ず下記の手順に従って、第 10-2 項で算出された JGA/USGA ハンディキャップインデックスを減らすかどうかを決定しなければならない。

■ b. 手順

例: JGA/USGA ハンディキャップインデックス 17.3 のプレーヤーが、採用可能なトーナメントスコア 3 枚(82T、83T、85T)を持っている。これらはいずれも、JGA/USGA コースレーティング 70.6、スロープレーティング 130 のコースをプレーした時のスコアである。

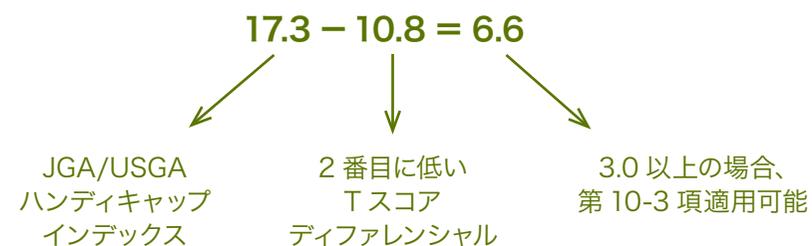
ステップ 1: それぞれの採用可能なトーナメントスコアから JGA/USGA コースレーティングを引き、113 を掛け、スロープレーティングで割ることによってトーナメントスコアハンディキャップデファレンシャルを算出し、そのなかからベスト 2 枚を決定する。

$$82T : (82 - 70.6) \times 113 \div 130 = 9.9$$

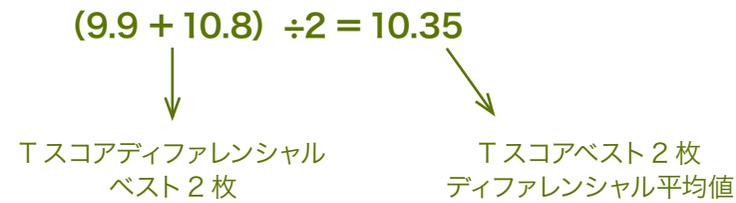
$$83T : (83 - 70.6) \times 113 \div 130 = 10.8$$

$$85T : (85 - 70.6) \times 113 \div 130 = 12.5$$

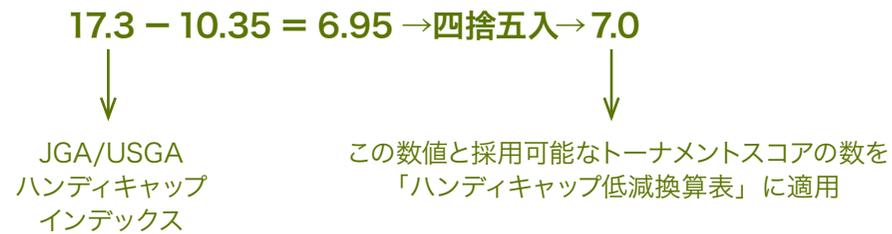
ステップ 2: 第 10-2 項で査定した JGA/USGA ハンディキャップインデックスから、2 番目に低いトーナメントスコアハンディキャップデファレンシャルを引き、計算結果が 3.0 以上であれば次のステップに進む。



ステップ3: トーナメントスコアハンディキャップディファレンシャルのベスト2枚の平均値を求める。

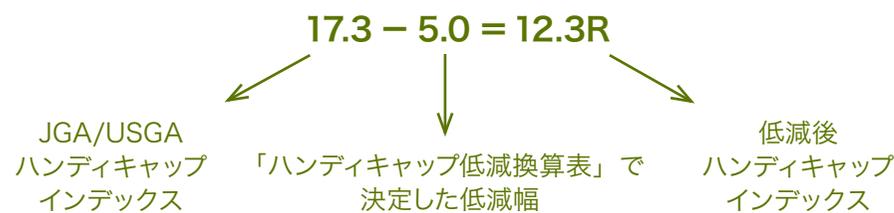


ステップ4: プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスからステップ3の平均値を引く。



ステップ5: ステップ4の算出結果(7.0)と、そのプレーヤーのスコア記録に登録されているトーナメントスコア合計枚数を「ハンディキャップ低減換算表」に適用し、そのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスの低減幅を決定する。

ステップ6: プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスから「ハンディキャップ低減換算表」で決定した低減幅を差し引いた結果が、そのプレーヤーの低減後 JGA/USGA ハンディキャップインデックスとなる。その際、第10-2項で査定された JGA/USGA ハンディキャップインデックスより1.0以上低くなっていることを条件とする。低減後 JGA/USGA ハンディキャップインデックスをハンディキャップレポートやコンピューター画面上で表示する場合、略称コード「R」を付記して識別する(例: 12.3R)。



ハンディキャップ低減換算表

	採用可能なトーナメントスコアの枚数								
	2	3	4	5-9	10-19	20-29	30-39	40以上	
Tスコアベスト2枚とハンディキャップインデックスの差									
3.0 ~ 3.4									
3.5 ~ 3.9									
4.0 ~ 4.4	1.0								
4.5 ~ 4.9	1.8	1.0							
5.0 ~ 5.4	2.6	1.9	1.0						
5.5 ~ 5.9	3.4	2.7	1.9	1.0					
6.0 ~ 6.4	4.1	3.5	2.8	1.9	1.0				
6.5 ~ 6.9	4.8	4.3	3.7	2.9	2.0	1.0			
7.0 ~ 7.4	5.5	5.0	4.5	3.8	3.0	2.1	1.0		
7.5 ~ 7.9	6.2	5.7	5.3	4.7	3.9	3.1	2.2	1.0	
8.0 ~ 8.4	6.8	6.4	6.0	5.5	4.8	4.1	3.2	2.2	
8.5 ~ 8.9	7.4	7.1	6.7	6.2	5.7	5.0	4.2	3.3	
9.0 ~ 9.4	8.1	7.8	7.4	7.0	6.5	5.9	5.2	4.4	
9.5 ~ 9.9	8.7	8.4	8.1	7.7	7.3	6.7	6.1	5.4	
10.0 ~ 10.4	9.2	9.0	8.8	8.4	8.0	7.6	7.0	6.4	
10.5 ~ 10.9	9.8	9.5	9.4	9.1	8.7	8.3	7.8	7.2	
11.0 ~ 11.4	10.4	10.2	10.0	9.7	9.4	9.1	8.6	8.1	
11.5 ~ 11.9	11.0	10.8	10.6	10.4	10.1	9.8	9.4	8.9	
12.0 ~ 12.4	11.5	11.4	11.2	11.0	10.7	10.5	10.1	9.7	
12.5 ~ 12.9	12.1	11.9	11.8	11.6	11.4	11.1	10.8	10.5	
13.0 ~ 13.4	12.6	12.5	12.4	12.2	12.0	11.8	11.5	11.2	
13.5 ~ 13.9	13.2	13.1	12.9	12.8	12.6	12.4	12.2	11.9	
14.0以上	13.7	13.6	13.5	13.4	13.2	13.0	12.8	12.6	

例:

「ハンディキャップ低減換算表」からの決定値: 5.0

JGA/USGA ハンディキャップインデックス-上記数値: 17.3 - 5.0 = 12.3

低減後 JGA/USGA ハンディキャップインデックス: 12.3R

■ c. トーナメントスコアの集計方法

(i) Tスコア集計表

採用可能なトーナメントスコアは、直近 12 ヶ月間の枚数に基づいて集計する。集計表の履歴にはすべての T スコアを保存するわけではなく、そのために月毎の集計が必要である。T スコア集計表は、直近 12 ヶ月間の各月の集計記録と、最新 20 枚のスコアに含まれる登録後 12 ヶ月以上経過した T スコアによって構成される。月毎の集計表には、プレーの日付ではなく、スコア提出日に基づいて記録を加えていく。

(ii) ベスト T スコアファイル

最大 6 枚の最も良い採用可能なトーナメントスコアが、そのプレーヤーの最新 20 枚のスコアとは別に、「ベスト T スコアファイル」に保存される。

(iii) Tスコアの追加

新規に提出されたトーナメントスコアは、スコアおよびハンディキャップディファレンシャルとして、そのプレーヤーの通常のハンディキャップ記録に加えられる。「ベスト T スコアファイル」に登録されている採用可能なトーナメントスコアが 6 枚未満の場合、新しい T スコアはそのファイルに追加される。既に 6 枚の T スコアがファイルに登録されていて新しい T スコアがファイル内の T スコアより良い場合は、スコアの日付に拘わらずファイル内の最も悪い T スコアを削除し、新しい T スコアをファイルに追加する。

(iv) 古い T スコアの破棄

ハンディキャップ更新日毎に、「ベスト T スコアファイル」内の各 T スコアが、登録後 1 年以上経過し且つそのプレーヤーの最新 20 枚のスコアから外れていないかどうかを確認する。もしそうであれば、そのスコアを記録から削除する。T スコアを削除した場合、「ベスト T スコアファイル」未登録の採用可能なトーナメントスコアがあれば、そのなかで最も良いものを登録する。

■ d. JGA/USGA ハンディキャップインデックス低減の継続と変動

非常に優れたトーナメントスコアによる JGA/USGA ハンディキャップインデックスの低減は、ハンディキャップ更新日毎に再計算され、以下を含む様々な要素によって随時再計算の結果が変化する可能性がある。

- ・ 新たに追加されたトーナメントスコア
- ・ 採用可能なトーナメントスコアの有効期限切れ
- ・ 第 10-2 項の計算結果の変動
- ・ ベスト 2 枚の T スコアに関連する第 10-2 項の計算結果の変動

■ e. ハンディキャップ委員会による JGA/USGA ハンディキャップインデックス低減の見直し

ハンディキャップ委員会は、すべての JGA/USGA ハンディキャップインデックスの低減を必ず見直さなければならない。見直しの結果、ハンディキャップ委員会は以下いずれかの措置をとることができる。

- ・ 第 10-3d 項の規定に従って JGA/USGA ハンディキャップインデックスの低減措置をそのまま継続する。
- ・ 更なる JGA/USGA ハンディキャップインデックスの低減を適用する。例えば、委員会は、プレーヤーのプレー結果が第 10-3 項の低減によって示された潜在技量を継続的に上回っているとの判断を下すことができる。その場合、ハンディキャップ更新日毎に見直しを継続的に実施し、既に低減されている JGA/USGA ハンディキャップインデックスを更に減らすことができる (第 8-4e 項参照)。
- ・ 低減措置を取り消す (オーバーライド)。例えば、プレーヤーが負傷し、負傷する以前のトーナメントスコアに基づいて低減が実施されている場合、委員会はそのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスの低減を取り消すことができる。その際、委員会は第 10-2 項に従ってそのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを再査定し、略称コード「R」の付記を取り止める。尚、2 枚以上の非常に優れたトーナメントスコアが第 10-3 項の低減条件に該当し続ける限り、委員会はハンディキャップ更新日毎にこれを取り消す (オーバーライド) 選択肢を保持し続ける。プレーヤーのスコア記録に含まれる非常に優れたトーナメントスコアの枚数が 2 枚未満になった場合は、委員会はオーバーライドの適用を中止し、第 10-2 項の通常の査定手順に従わなければならない。
- ・ 低減幅を修正する。例えば、委員会は、第 10-3 項の低減を 100 パーセント適用するとプレーヤーの潜在技量を正確に反映できないが、それでも低減措置は必要であるとの判断を下すことができる。その場合、委員会は、第 10-2 項で査定されたプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスと算出された低減幅に修正を適用することができる。例えば、第 10-3 項で低減されたプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスが 10.0R で、第 10-2 項の査定結果が 15.0 だった場合、委員会は低減後の JGA/USGA ハンディキャップインデックスを 12.5M に修正することが可能である。この方法によって、低減措置を完全に取り消さずに適切な低減幅を採用することができる。

■ f. 報告の義務

JGA (承認されたゴルフ協会) とハンディキャップ計算プログラムは、第 10-3b 項に基づいて適用された JGA/USGA ハンディキャップインデックスの低減をゴルフ倶楽部に報告しなければならない。もしコンピューターによる報告レポートが JGA (承認されたゴルフ協会) に対して提供されている場合は、ハンディキャップ計算プログラムは JGA/USGA ハンディキャップインデックスの低減を JGA (承認されたゴルフ協会) に報告しなければならない。本章規定に従って低減された JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、略称コード「R」を付記して識別しなければならない。

10-4. コースハンディキャップ

コースハンディキャップは、プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスにプレーするコースのスロープレーティングを掛け、これを 113 で割ることによって決定する (第 3-3 項参照)。上記計算式の結果は小数点以下を四捨五入した整数で表示する。

10-5. 9ホール・ハンディキャップ (ハンディキャップインデックス (N))

■ a. 9ホール・ハンディキャップの使用と識別

ゴルフ倶楽部がJGAハンディキャップ規定 (USGAハンディキャップシステム準拠) を順守していれば、9ホール・ハンディキャップはハンディキャップインデックス (N) として認められる。9ホール・ハンディキャップまたはハンディキャップインデックス (N) は、倶楽部間競技で9ホール・ハンディキャップを持つ他のプレーヤーと対戦する場合に使用することができる。JGA/USGAハンディキャップインデックスの使用が義務づけられている18ホール競技では、ハンディキャップインデックス (N) を2倍して使用することができる (裁定3-2/1 および3-2/2 参照)。

JGA/USGAハンディキャップインデックスとハンディキャップインデックス (N) の両方を持つプレーヤーは、9ホールの倶楽部間競技ではハンディキャップインデックス (N) を使用し、18ホール競技ではJGA/USGAハンディキャップインデックスを使用すべきである。

JGA/USGAハンディキャップインデックスしか持っていないプレーヤーが9ホール競技に参加する場合は、JGA/USGAハンディキャップインデックスを2で割り端数を切り上げた小数第1位までの数値を使用して、プレーするティーインググラウンドのコースハンディキャップ換算表から9ホールのスロープレーティングに基づいてコースハンディキャップを決定する。

■ b. 査定方法

ゴルフ倶楽部がハンディキャップインデックス (N) を査定する場合、9ホールの調整グロススコアに、プレーした9ホールのJGA/USGAコースレーティングとスロープレーティングを適用してハンディキャップディファレンシャルを算出する。

注: ハンディキャップインデックス (N) を持つプレーヤーが18ホールをプレーした場合、2つの9ホールスコアをそのプレーヤーのスコア記録に登録しなければならない。

例: 9ホールのJGA/USGAコースレーティング36.2、スロープレーティング121、調整グロススコア45の場合、この9ホールのハンディキャップディファレンシャルは「 $(45 - 36.2) \times 113 \div 121 = 8.2$ 」。仮に9ホールハンディキャップディファレンシャルのベスト10枚の平均が8.9とすれば、ハンディキャップインデックス (N) は「 $8.9 \times 0.96 = 8.5$ 」となり、「8.5N」と識別して登録する。

■ c. 9ホールのストロークコントロール

ストロークコントロール (ESC) の定義を参照。

ストロークコントロール (ESC)

9ホールコースハンディキャップ	1ホールのスコア上限
4以下	ダブルボギー
5～9	7
10～14	8
15～19	9
20以上	10

例: 9ホールのコースハンディキャップが12のプレーヤーは、ホールのパーに関係なく各ホールのスコア上限を「8打」としてESC調整しなければならない。

■ d. 9ホール・ハンディキャップ (ハンディキャップインデックス (N)) の上限

ハンディキャップインデックス (N) の上限は、男子18.2、女子20.2とする。

注: スロープレーティング113を超えるゴルフコースでは、ハンディキャップインデックス上限値をコースハンディキャップに換算すると、この上限値よりも大きい数値になる。

プレーヤーは、この上限を超えるローカルハンディキャップを持つことができるが、その場合、ハンディキャップカードやレポートには必ず略称コード「L」を付記してローカルハンディキャップであることを明確にしなければならない (例: 24.5L)。このようなローカルハンディキャップを倶楽部間競技で使用する場合は、本項で定めるハンディキャップインデックス (N) の上限値まで減らして使用することをUSGAは奨励している。

【裁定集】第10章: JGA/USGAハンディキャップ計算式

10-3/1. 獲得ポイント合計による年間表彰を実施する場合の、その対象ラウンドにおけるトーナメントスコアの指定

質問: 「レディースデー」にグロス部門とネット部門で競技を実施した。各クラスの1位から3位にはポイントが与えられ、年間で最も多くのポイントを獲得したプレーヤーは表彰される。これらのラウンドのスコアは、トーナメントスコアとみなされるか?

回答: みなされない。トーナメントスコアとみなすには、同じ数の正規のラウンドをプレーすることが義務づけられるべきである。

10-3/2. 賞品がゴルフボールの競技におけるトーナメントスコアの指定

質問: 賞品がゴルフボールのみの競技におけるスコアは、トーナメントスコアとして提出できるか?

回答: 賞品の価値や性質は、トーナメントスコアとしての指定可否を決定する要素ではない。トーナメントスコアの定義の条件を満たせば、そのスコアはトーナメントスコアとして提出し、略称コード「T」を付記して識別しなければならない (トーナメントスコアの定義、および第10-3項参照)。

10-3/3. スタート時点でエントリー可能な競技におけるトーナメントスコアの指定

質問: 倶楽部所属のプロが、スタート直前にエントリー可能な競技を主催した。賞品はその日の参加人数に応じて決められる。この競技のスコアは、トーナメントスコアとして提出できるか?

回答: 倶楽部のトーナメント委員会が所属プロによる競技の主催を認め、その競技が正規のラウンドに基づいて優勝者を決定し、且つゴルフ規則の本質に従ってプレーされる場合 (および、Tスコアに指定することを委員会が事前に告知している場合)、その競技のスコアはトーナメントスコアとして提出することができる。エントリー受付の時期や賞品の性質は、トーナメントスコア指定の可否には関係ない。例えば頻繁に行われている競技 (レディースデー、シニアデー、オープンコンペなど) は、

伝統、スケジュール、競技形態、および倶楽部の会員制度に関わる重要度が高くないため、通常はトーナメントスコアに指定されない。重要度の高い競技とは、例えば必ず毎年 1 回開催されるものなどをいう。

10-3/4. 組合せとスタート時間を設定していない競技におけるトーナメントスコアの指定

質問： 倶楽部のトーナメント委員会が毎週 1 回、簡単な賞品の競技を開催しているが、その競技では組合せとスタート時間を設定していない。この競技のスコアは、トーナメントスコアとして提出できるか？

回答： 組合せとスタート時間を設定していないという事実のみによって競技の性質を決めることはできない。また、賞品が簡単なものかどうかも関係ない(裁定 10-3/2 参照)。倶楽部のトーナメント委員会は、毎週開催しているこれらの競技のスコアが、トーナメントスコアとして提出できる条件を満たしているかどうかを決定しなければならない。その条件を満たすためには、その競技は委員会によって開催され、正規のラウンドに基づいて優勝者を決定し、且つゴルフ規則の本質に従ってプレーされなくてはならない。これらの条件が満たされている場合、委員会は、トーナメントスコアを提出する際には略称コード「T」を付記して識別しなければならない旨を事前に告知しなければならない。もしハンディキャップ委員会の判断でこれに該当するプレーヤーが特定される場合、その競技のスコアをトーナメントスコアとして提出しなければならない旨を委員会は告知できる。例えば頻繁に行われている競技(レディースデー、シニアデー、オープンコンペなど)は、伝統、スケジュール、競技形態、および倶楽部の会員制度に関わる重要度が高くないため、通常はトーナメントスコアに指定されない。重要度の高い競技とは、例えば必ず毎年 1 回開催されるものなどをいう。但し、トーナメントスコアに指定する競技が多くなりすぎると、第 10-3 項による非常に優れたトーナメントスコアに基づいた JGA/USGA ハンディキャップインデックスの低減を効果的に適用できなくなるので、十分に注意すること。

10-3/5. 倶楽部が定期的に行っている懸賞競技におけるトーナメントスコアの指定

質問： 上記の裁定 10-3/3 および 10-3/4 を委員会が承知したうえで、倶楽部は毎週水曜日に懸賞競技を開催している。参加者はラウンドスタート時に所属プロに各 2 ドルを支払い、これを懸賞分としてプールする。組合せやスタート時間は設定されていない。優勝者は、その日に集まった懸賞金額相当の商品券を獲得する。この競技はゴルフ規則の本質に従ってプレーされる時もあるが、そうでない時もある。また、毎週の競技スコアを集計して、年末には決勝大会が開催されている。これらの競技のスコアは、トーナメントスコアに指定できるか？

回答： ゴルフ規則の本質に従っていない競技のスコアは、通常トーナメントスコアに指定することはできない。但し、上記に示されている条件そのものは、委員会がこれらの競技のスコアをトーナメントスコアに指定することを妨げるものではない。トーナメントスコアを適用する目的は、競技において、自身の JGA/USGA ハンディキャップインデックスを上回るプレーをしたプレーヤーを特定することである。もしハンディキャップ委員会の判断でこれに該当するプレーヤーが特定される場合、その競技のスコアをトーナメントスコアとして提出しなければならない旨を委員会は告知できる。倶楽部の伝統、スケジュール、競技形態、および会員を熟知している委員会は、この判断を下すうえで最も適任である。例えば頻繁に行われている競技(レディースデー、シニアデー、オープンコンペなど)は、

伝統、スケジュール、競技形態、および倶楽部の会員制度に関わる重要度が高くないため、通常はトーナメントスコアに指定されない。重要度の高い競技とは、例えば必ず毎年 1 回開催されるものなどをいう。

10-3/6. プレーしたホール数が 13 ホール未満の場合のトーナメントスコアの指定

質問： マッチプレー競技において、11 番ホールでマッチが終了した。このスコアは、トーナメントスコアとして提出できるか？

回答： できない。トーナメントスコアに指定するためには、トーナメントスコアの条件を満たす競技で 13 ホール以上プレーしたスコアでなければならない。

システムの抑制と均衡

第 11 章: ハンディキャップの管理

用語の定義

定義は**ゴシック体**で表記され、「第 2 章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

システム全体の抑制と均衡に基づくハンディキャップの管理は、**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**がプレーヤーの潜在技量を正確に示すためのものである。ハンディキャップの管理によって、プレーヤーの潜在技量を反映しないスコアがそのプレーヤーの **JGA/USGA ハンディキャップインデックス**を歪めることを防いでいる。以下に記載されているハンディキャップの管理は、公正で信頼できる **JGA/USGA ハンディキャップインデックス**を査定するために **JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠)**に組み込まれている。

11-1. ゴルフ倶楽部のハンディキャップ委員会

ハンディキャップ委員会は、**JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠)**の根幹である。**JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠)**を使用する各ゴルフ倶楽部は、**JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠)**を保全するために必ず**ハンディキャップ委員会**を設置しなければならない。**ハンディキャップ委員会**は、スコアが提出され、**JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠)**がすべて順守され、各プレーヤーの **JGA/USGA ハンディキャップインデックス**が公正に保たれていることを確認する(第 8 章参照)。

11-2. スコア検証

スコア検証の用語の定義参照。

11-3. ハンディキャップディファレンシャルのワースト 10 枚の除外

最新 20 枚の**ハンディキャップディファレンシャル**のうちワースト 10 枚はそのプレーヤーの潜在技量を反映していないため、**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**の計算に使用しない。

11-4. 20枚未満の提出スコア

提出スコアの枚数が20枚未満のプレーヤーは、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの査定に使用するハンディキャップディファレンシャルが、最新20枚中10枚という理想的な比率(50パーセント)を下回り、提出スコアの枚数が20枚に近づくほど、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) の正確性と信頼性は高まる。従って、採用可能なスコア20枚に基づいて査定された JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、20枚未満のスコアで査定されたものと比べてプレーヤーの潜在技量をより正確に反映する(第10章参照)。

11-5. ストロークコントロール

ストロークコントロールの用語の定義参照。

11-6. 非常に優れたトーナメントスコアによる JGA/USGA ハンディキャップインデックスの低減

プレーヤーが2枚以上の採用可能なトーナメントスコアを持ち、トーナメントスコアのディファレンシャルがプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスより3.0以上低い場合、JGA/USGA ハンディキャップインデックス査定に追加計算を適用する(第10-3項参照)。

11-7. JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正と取り消し

ハンディキャップ委員会は、プレーヤーがすべての採用可能なスコアを提出しなかったり、或いは JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) の精神を順守しなかった場合、そのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを修正または取り消す権限を持つ。また、例外的なケースとして、プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスが低すぎる場合に、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを増やす権限を持つ。増減修正または取り消しが適用された JGA/USGA ハンディキャップインデックスについては、ハンディキャップ委員会はハンディキャップ更新日毎に見直しを実施しなければならない。

11-8. ペナルティースコア

ペナルティースコアの用語の定義参照(第8-4b項参照)。

11-9. JGA (承認されたゴルフ協会) が発行するレーティング

すべてのゴルフコースは、JGA (承認されたゴルフ協会) を代表する査定チームによって、USGA が認めた手順に従って査定されなければならない(第14章参照)。

11-10. ライセンス認可の必要条件

JGA/USGA ハンディキャップインデックスという名称を使用できるのは、本規定マニュアルに示されるように、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) を完全に順守して JGA/USGA

ハンディキャップインデックスの発行および管理を行い、且つその目的のために USGA からライセンス認可を受けた JGA (承認されたゴルフ協会) だけである。JGA (承認されたゴルフ協会) は、USGA の商標類を使用したり JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発行するために、USGA の文書による承認を受けなくてはならない。

11-11. JGA ハンディキャップ委員会、USGA ハンディキャップ部門

JGA ハンディキャップ委員会、および USGA ハンディキャップ部門の連絡先は以下。

公益財団法人 日本ゴルフ協会 ハンディキャップ委員会

住所 : 〒104-0031 東京都中央区京橋1-12-5 京橋YSビル2階

電話 : 03-3566-0003

ファックス : 03-3566-0101

WEBサイト : www.jga.or.jp

United States Golf Association Handicap Department

住所 : Golf House, P.O. Box 708, Far Hills, New Jersey 07931

電話 : 908-234-2300

ファックス : 908-234-1513

Eメール : hdcquestions@usga.org

WEBサイト : www.usga.org

パートIII – ゴルフコース

第12章： コースの実測

用語の定義

定義は**ゴシック体**で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

12-1. 基準測定点（パーマネントマーカー）

正確な基準測定点を設置することは、レーティング査定において必要不可欠である。基準測定点は、移動するティーマーカーの平均的な位置を示すためのものであり、不適切な位置に基準測定点を設置すると、ゴルフコースのスタッフにとってコースセッティングが困難となる。実効プレー距離とコース難易度を査定されたレーティングと常に同等に維持することが目指すべきゴールである（第13-1d項参照）。

基準測定点の設置は、グリーンの長さやラフの長さ、およびその他のコースメンテナンス作業よりもレーティングに大きな影響を与える。従って**ゴルフ倶楽部**は、この点に格別の注意を払い、正確な基準測定点の設置方法についてJGA（**承認されたゴルフ協会**）の指導を受けることが望ましい。

1面のティーインググラウンドで1つのティーマーカーを使用する場合、ティーインググラウンドの中心に基準測定点を設置する。このことにより、ティーインググラウンド全体を使用してティーマーカーを日々移動しながら、常にその平均地点を示すことができる。

1面のティーインググラウンドで2つ以上のティーマーカーを使用する場合、通常そのコースで行われている（または想定されている）各ティーマーカーの使用頻度の割合に基づいてティーインググラウンドを分割し、それぞれの区域の中心に基準測定点を設置する。例えば長さ40ヤードのティーインググラウンドでフォワードティー、ミドルティー、バックティーを使用し、各ティーマーカーの使用頻度がフォワードティー25%、ミドルティー50%、バックティー25%とする。この場合、ティーインググラウンドの前方10ヤードをフォワードティー、中央20ヤードをミドルティー、後方10ヤードをバックティーに分割して割り当て、各区域の中心に基準測定点を設置する。

また、9ホールのコースで各ホールに2種類のティーマーカーを設置して18ホールをプレーする場合は、それぞれのヤーデージを測定し基準測定点を個々に設置しなければならない。これらの基準測定点（およびティーマーカー）は、それぞれどちらの9ホールか明確に識別できるものであるべきである。

12-2. 実測距離の測定

■ a. 距離測定方法

各ホールを実測する際には、電子測定器（EMD）またはGPS測定器などの測量機器を使用して、各ティーインググラウンドの基準測定点からグリーン中心までの水平距離を測定しなければならない。コースの実測は経験者のみが行うことができ、実測結果は**JGA/USGA コースレーティング**を倶楽部に付与するJGA（**承認されたゴルフ協会**）が検証する。スコアカードに記載するヤーデージは、この実測距離を正確に反映するべきである。

ドッグレッグのホールでは、ドッグレッグのコーナー地点のフェアウェイ中央に中継地点を設定し、その地点と基準測定点を結んだ直線距離を測定しなければならない。但し、この中継地点が簡単に設定できない場合は、最も使用頻度の高いティーマーカーから250ヤード地点（女子は210ヤード地点）に設定する。その後、中継地点とグリーン中心（更にドッグレッグしている場合は次の中継地点）を結んだ直線距離の測定を続ける。

■ b. ティーマーカーの識別、レーティングの表示

ティーインググラウンド（「ゴルフ規則」用語の定義参照）の区域を指定するティーマーカーは、他のティーマーカーと明確に識別できるように使用する色や形状を統一する必要がある。ティーマーカーを識別する色、形状、その他の方法は、コースを管理する委員会が、**ハンディキャップ委員会**と相談しながら決定する。**コースハンディキャップ換算表**（第3-3項参照）、スコアカード、およびスコア提出場所の掲示板などには、各ティーマーカーの名称、色、形状とともに、**JGA/USGA コースレーティング**と**スロープレーティング**を表示しておくべきである。このことによってプレーヤーは容易に、スタート前に**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**から**コースハンディキャップ**へ換算することができ、またホールアウト後にハンディキャップ査定のためにスコアを提出する際には、使用したティーマーカーの正しいレーティングを提出することができる。

男子と女子が共用するティーマーカーには、男女それぞれの**JGA/USGA コースレーティング**と**スロープレーティング**を査定すべきである。使用するティーマーカーに該当する性別のレーティングが査定されていない場合、スコア提出のための未査定ティーインググラウンドのレーティング調整手順を適用することができる（第5-2g項参照）。

ハンディキャップ査定用に9ホールスコアを提出するプレーヤーのために、**ゴルフ倶楽部**は9ホールのレーティングを表示しておくべきである。9ホールのスコアを連結して18ホールのスコアとする際にも、9ホールのレーティングが必要となる。異なるティーを組み合わせてラウンドする競技の場合は、競技を管理する委員会がハンディキャップ委員会と協議して決定し、その旨をラウンド開始前に発表しなければならない。

実測距離の測定方法

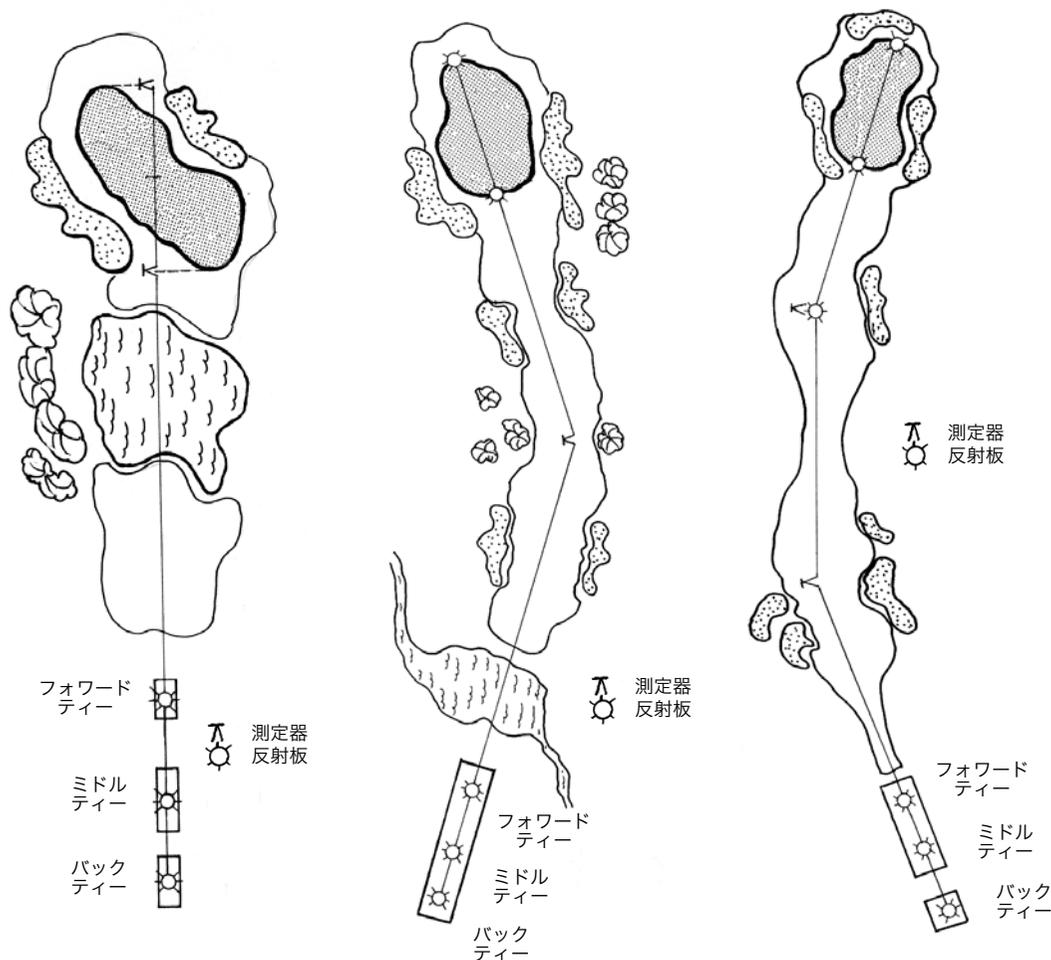


図1：パー3の測定例

図2：パー4の測定例

図3：パー5の測定例

JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティング

ティーマーカー	男子 JGA/USGA コースレーティング	男子 スロー レーティング	女子 JGA/USGA コースレーティング	女子 スロー レーティング
チャンピオンシップ	74.0	125	—	—
バック	72.0	119	74.5	128
ミドル	71.3	113	73.7	122
フォワード	69.5	105	72.0	118
フロント	—	—	69.3	113

第13章： JGA/USGA コースレーティング

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第2章—用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

13-1. 用語の定義

■ a. スクラッチゴルファー

スクラッチゴルファーの定義参照。

■ b. 距離レーティング

距離レーティングとは、実効プレー距離に基づいて評価したコース難易度をいう。

■ c. 障害要素

障害要素とは、コースに存在するハザード、自然の状況、植物、およびコースコンディションのことで、同じ実効プレー距離の標準難易度コースと比べてプレーを難しくしたり易くするものをいう。

■ d. 実効プレー距離

実効プレー距離とは、そのコースの実測距離を、実際のプレー距離に影響を与えるロール、高低差、ドッグレッグ/強制刻み、風の影響、および標高の各要素に基づいて修正したものをいう。例えば、強制刻みによってスクラッチゴルファーにとってのプレー距離が長くなる場合、査定チームは実測距離に上方修正を加えて JGA/USGA コースレーティングを査定する。

■ e. JGA/USGA コースレーティング

JGA/USGA コースレーティングの定義参照。

コース査定は、JGA (承認されたゴルフ協会) によって行われる (第14章参照)。

注： 距離レーティングや JGA/USGA コースレーティングをパーと混同しないこと。パーは、コースのプレー難易度を測る正確な尺度ではない。同じパー設定の2つのゴルフコースで、異なる JGA/USGA コースレーティングや距離レーティングが査定されることはあり得る。

■ f. ボギーゴルファー

ボギーゴルファーの定義参照。

■ g. ボギーレーティング

ボギーレーティングの定義参照。

■ h. スロープレーティング

スロープレーティングの定義参照。

13-2. 査定時の基本条件

■ a. ティーマーカーの設置とホールロケーション

コース査定当日は、以下の準備が倶楽部に求められる。

- (i) ティーマーカーを基準測定点の場所に設置する(第12章参照)。
- (ii) ホールロケーションは標準的な位置にする。
- (iii) 通常の難易度に合わせてコースセッティングを行う。

■ b. ミッドシーズン時のコンディション

JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングは、そのコースで年間に最もプレー頻度の高いシーズンにおける通常のコンディションに基づいて査定しなければならない。

■ c. ゴルフ規則

JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングは、プレーヤーがゴルフ規則に則ってプレーし、コースのマーキングがゴルフ規則に従ってなされていることを前提に査定される。ローカルルールは、ゴルフ規則および JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) のポリシーに適合したものでなければならない(第7章参照)。

13-3. コースレーティング査定の手順

■ a. レーティングの構成要素

JGA(承認されたゴルフ協会)は、以下の要素に基づいて JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングを決定する。

- (i) 実効プレー距離は、コースの実測距離と、それに顕著な影響を及ぼす要素によって構成される(第13-1d項参照)。男子 JGA/USGA コースレーティングは全体でわずか22ヤードの距離の誤差で0.1打変化し、女子 JGA/USGA コースレーティングは18ヤードの距離の誤差で0.1打変化する。
- (ii) スクラッチゴルファーとボギーゴルファーの距離レーティングは、それぞれの実効プレー距離を距離レーティング計算式に適用して算出する(第13-1d項、および第13-3d項参照)。
- (iii) JGA/USGA コースレーティングは、スクラッチゴルファーに影響を与える障害の難易度を、スクラッチ距離レーティングに加えたものである。
- (iv) ボギーレーティングは、ボギーゴルファーに影響を与える障害の難易度を、ボギー距離レーティングに加えたものである。
- (v) スロープレーティングは、ボギーレーティングと JGA/USGA コースレーティングの差に、男子 5.381、女子 4.24 の係数を掛けたものである(第13-3f項参照)。

■ b. 実効プレー距離

査定チームは、プレー距離に影響を与える4つの要素(ロール、高低差、ドッグレッグ/強制刻み、恒常的な風の影響)を各ホールで評価する。高地のコースの場合は標高による影響を加え、これらの評価に基づいて実測距離を増減修正して実効プレー距離を導き出す。更に実効プレー距離を距離レーティング計算式に適用し、スクラッチおよびボギー距離レーティングを算出する。

(i) ロール

堅く締まり、乾燥した状態で、ランディングゾーンが下り傾斜になっているフェアウェイは、想定されている20ヤード(フルショット1打につき)よりもロールが多くなる。柔らかく、湿った状態で、ランディングゾーンが上り傾斜になっているフェアウェイは、想定されている20ヤード(フルショット1打につき)よりもロールが少なくなる。

(ii) 高低差

ティーインググラウンドからグリーンまで打ち上げのホールはプレー距離が長くなり、ティーインググラウンドからグリーンまで打ち下ろしのホールはプレー距離が短くなる。

(iii) ドッグレッグ/強制刻み

通常のランディングゾーンの手前でホールが屈曲しているホールは、ティーショットでフルショットを打てない。ウォーターハザードなどの障害がランディングゾーン付近に存在するホールも同様である。

(iv) 恒常的な風

恒常的な風の強さと向きは、コースの難易度に影響を与える要素となる。

(v) 標高

海拔2,000フィート(約600メートル)以上の高地にあるコースでは、平地よりも球の飛距離が伸びるため、距離レーティングを下方修正する。

■ c. 障害難易度

査定チームは、スクラッチゴルファーとボギーゴルファーそれぞれのプレーに影響を与える障害難易度10項目について、0から10までの点数によって各ホールで個別に評価する。項目毎の評価点合計にそれぞれの比重値を掛け、これらを合算したものを計算式に適用し、スクラッチおよびボギーそれぞれの障害ストローク値に変換する。この障害ストローク値を距離レーティングに加算したものが、JGA/USGA コースレーティングとボギーレーティングである。障害難易度10項目の評価要素は以下。

(i) 地形

フェアウェイランディングゾーンのスタンスとライの難易度、およびランディングゾーンとグリーンの高低差。

(ii) フェアウェイ

ランディングゾーンの実質的な幅(ドッグレッグ、樹木、フェアウェイの傾斜などによって狭められる)。

- (iii) **グリーントーゲット**
アプローチショット距離に応じたグリーンの大きさ、形状、および傾斜。
- (iv) **リカバリーとラフ**
ランディングゾーンおよびグリーン周辺に存在するラフや課罰的要素。
- (v) **バンカー**
ランディングゾーンおよびグリーン周辺に存在するバンカー。
- (vi) **アウトオブバウンズ/エクストリームラフ**
ランディングゾーンおよびグリーン周辺に存在する OB、または OB 同様の影響を与える刈り込まれていない極度のラフ。
- (vii) **ウォーターハザード**
特にランディングゾーンおよびグリーン周辺に存在するウォーターハザード。
- (viii) **樹木**
樹木の位置、大きさ、高さ、密生度、および樹木からのリカバリー難易度。
- (ix) **グリーン表面**
グリーンの上昇と起伏。
- (x) **心理的影響**
難易度の高い障害が存在することによる心理的な影響。

■ d. 距離レーティング計算式

距離レーティングは、以下の計算式によって算出する。

(i) 男子スクラッチ距離レーティング

$$\text{スクラッチ距離レーティング} = (\text{スクラッチ実効プレー距離} \div 220) + 40.9$$

例： 実効プレー距離が 6,419 ヤードの場合、男子スクラッチ距離レーティングは以下のように算出される。

$$\text{実効プレー距離} \div 220: \quad 6,419 \div 220 = 29.18$$

$$\text{上記の結果} + 40.9: \quad 29.18 + 40.9 = 70.08$$

$$\text{スクラッチ距離レーティング}: \quad 70.1 \text{ (少数第2位四捨五入)}$$

(ii) 男子ボギー距離レーティング

$$\text{ボギー距離レーティング} = (\text{ボギー実効プレー距離} \div 160) + 50.7$$

(iii) 女子スクラッチ距離レーティング

$$\text{スクラッチ距離レーティング} = (\text{スクラッチ実効プレー距離} \div 180) + 40.1$$

(iv) 女子ボギー距離レーティング

$$\text{ボギー距離レーティング} = (\text{ボギー実効プレー距離} \div 120) + 51.3$$

■ e. コースレーティング計算式

(i) JGA/USGA コースレーティング (男子・女子)

$$\text{JGA/USGA コースレーティング} = \text{スクラッチ距離レーティング} + \text{スクラッチ障害ストローク値}$$

(ii) ボギーレーティング (男子・女子)

$$\text{ボギーレーティング} = \text{ボギー距離レーティング} + \text{ボギー障害ストローク値}$$

■ f. スロープレーティング計算式

スロープレーティングは、以下の計算式によって算出する。

(i) 男子スロープレーティング

$$\text{スロープレーティング} = (\text{ボギーレーティング} - \text{JGA/USGA コースレーティング}) \times 5.381$$

(ii) 女子スロープレーティング

$$\text{スロープレーティング} = (\text{ボギーレーティング} - \text{JGA/USGA コースレーティング}) \times 4.24$$

標準難易度のコースのスロープレーティングは 113 である。この時、JGA/USGA コースレーティングとボギーレーティングの差は、男子 21 打、女子 26.65 打である (男子: $21 \times 5.381 = 113$ 、女子: $26.65 \times 4.24 = 113$)。

注： コースレーティングに関する詳細は、「JGA/USGA コースレーティングシステム規定マニュアル」および「JGA/USGA コースレーティング査定ガイド」に記載されている (JGA のみ入手可能)。

第14章: コースレーティング査定の実施

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

14-1. JGA (承認されたゴルフ協会) によるコースの査定

すべてのコースレーティング査定は、USGA が認めた手順に従って、JGA (承認されたゴルフ協会) を代表する査定チームが行われなければならない。JGA (承認されたゴルフ協会) が設置したコースレーティング審査委員会は、各査定結果を精査しなければならない。

倶楽部は絶対に自らコースを査定してはならない。JGA（承認されたゴルフ協会）によって JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングが査定されるまで、ゴルフ倶楽部は JGA ハンディキャップ規定（USGA ハンディキャップシステム準拠）を使用することはできない。

14-2. JGA（承認されたゴルフ協会）によるコースの再査定

JGA（承認されたゴルフ協会）は、定期的にレーティングの見直しを実施し、必要に応じて再査定を行うものとする。新設のコースは最初の数年間で急速な変化を遂げるため、5年以内に再査定を受けなければならない。開設後時間が経過しているコースは、コースが全く変化していなくても、最低10年に1度は必ず再査定を受けなければならない。査定後10年以上経過した JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングを使用することはできず、そのようなコースでのスコアを提出することはできない。コース再査定のスケジュールについては、必ず地域を管轄する JGA（承認されたゴルフ協会）に連絡すること。

14-3. 査定チームのメンバー

査定チームは最低3名の経験豊富な査定員によって構成すべきである。査定チームは、風の状況を含む通常のコースコンディションを熟知した倶楽部の代表者（できれば JGA/USGA ハンディキャップインデックスの少ないプレーヤーや倶楽部所属プロが望ましい）から、査定中に協力を得ることができる。査定チームのメンバーは、スクラッチゴルファーとボギーゴルファーについての実践的な知識を持っているべきである。

JGA（承認されたゴルフ協会）は、査定チームの1名をチームリーダーに任命しなければならない。査定チームリーダーは、USGA または JGA が開催するコースレーティングセミナーに出席しなければならない。査定チームはホール毎に各障害難易度を0から10までの点数によって評価し、メンバー全員が同一の採点結果で合意できるように務める。各査定員の採点に誤差が生じた場合は、チームリーダーの裁量で統一見解をとりまとめる。

査定結果を実証するために、査定実施前または実施後にそのコースをプレーすることを勧める。チームリーダーは、必要事項を漏れなく記入した査定用紙を JGA（承認されたゴルフ協会）へ提出し、コースレーティング審査委員会による検証を受けなければならない。この委員会は、決められた範囲内で査定結果を修正したり、別のチームによる再査定の指示を出すことができる。コースレーティング審査委員会による検証終了後、JGA（承認されたゴルフ協会）はそのレーティングを倶楽部に発給しなければならない。

14-4. JGA（承認されたゴルフ協会）の記録管理

■ a. 情報の保管

JGA（承認されたゴルフ協会）は、JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングの記録を将来的に参照できるように保管しておかなければならない。保管する記録には、スコアカード、査定員の氏名、査定日、査定時の気象状況、フェアウェイの散水システム、芝の種類、ラフの長さ、ホール実測記録と測定者の氏名、基準測定点の設置状況、などが含まれる。

■ b. すべてのレーティングのリスト

コースレーティング審査委員会は、管轄地域内で査定された各コースの全長ヤーデージ、JGA/USGA コースレーティング、およびスロープレーティングが明記されたリストを作成しなければならない。委員会はこのリストを定期的に検証し、内容の正確性を保つようにしなければならない。

JGA（承認されたゴルフ協会）のコースレーティング審査委員会は、このリストを地域内にあるすべての倶楽部に提供する。これによって、各倶楽部の会員が地域内のコースでプレーした際に、スコアの提出が簡便となる。また JGA（承認されたゴルフ協会）は、このリストのコピーを USGA ハンディキャップ部門に提出しなければならない。

14-5. コース改造

■ a. 一時的な改造

一時的に臨時のティーインググラウンドやグリーンを使用する場合、ハンディキャップ委員会は JGA（承認されたゴルフ協会）にその旨を通知しなければならない。JGA（承認されたゴルフ協会）は、その状況でプレーした際のスコアをハンディキャップ査定に採用できるか否かの判断を下し、また JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングを一時的に変更すべきかどうかを決定する。改造工事のためにホールをクローズする場合には、そのホールのスコアを「パー+そのプレーヤーのハンディキャップストローク」としなくてはならない旨を（第4-2項参照）、ハンディキャップ委員会は倶楽部の会員に対して通知する責任がある。

■ b. 恒久的な改造

恒久的なコース改造を実施した場合、倶楽部はその旨を JGA（承認されたゴルフ協会）に通知しなければならない。JGA（承認されたゴルフ協会）は、既存の JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングを検証し、再査定が必要であるか否かを判断する。

第15章： コースセッティング

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

15-1. コース難易度の維持

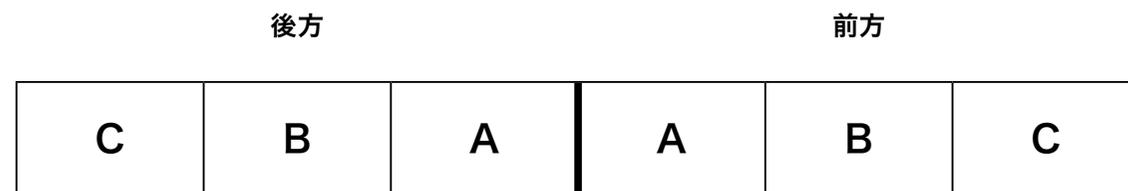
レーティングは、通常のコンディションにおけるプレー難易度と実効プレー距離に基づいて査定されている。プレーヤーがラウンド中に14本のクラブをほぼすべて使用し、また公平にプレーできるという観点に基づいてコースセッティングが行われているかについて評価することもある。もし距離や通常のプレー難易度が著しく変わってしまうと、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの正確性は歪められてしまう。距離の違いが男子の場合22ヤード、女子の場合18ヤードあると、JGA/USGA コースレーティングは0.1打変化する。ハンディキャップ委員会はグリーン委員会と協力して、距離と通常のプレー難易度を常に一定で公平な状態に保つように務めるべきである。

15-2. バランスのとれたティーマーカーの設置

ティーマーカーの設置は、コースの実効プレー距離が毎日ほぼ同じに保てるようにバランスを考えて行うべきである。天候や芝の状態に応じてティーマーカーの位置を調整することができる。

「ゴルフ規則」の用語の定義では、『ティーインググラウンドは奥行き2クラブレングスの長方形の区域で、その前方と横の辺は2つのティーマーカーの外側の先端を結んだ線をもって決める』と定義されている。従って、ティーマーカーは、常にティーインググラウンドの後ろの端から少なくとも2クラブレングス前方に設置しなければならない。

下記は、1面のティーインググラウンドを前後6つに分割した図である。前後中央の太線は、基準測定点(パーマメントマーカー)の設置位置である。



バランスのとれたティーマーカーの設置方法は以下。

■ a. 通常のコンディション時

ティーマーカーは、偶数ホールではティーインググラウンド前方のA、B、Cいずれかの区域に設置し、奇数ホールでは後方の同じアルファベットの区域に設置する。ティーマーカーの位置を変えるときは、ティーインググラウンドの前方と後方を入れ替え、常に同じアルファベットの区域を使用してローテーションする。但し、異常なコンディションの場合は下記bの方法を採用する。

■ b. 異常なコンディション時

地面が硬くて球が転がるコースは後ろの区域を使用し、地面が柔らかくて球が転がらないコースは前の区域を使用する。例えば、地面が硬くて球が転がる場合は前方Aと後方Cの区域にティーマーカーを設置し、地面が柔らかくて球が転がらない場合は前方Cと後方Aの区域に設置する。

また、極度に異常な状態の場合は、状況に応じて前方のみを使用したり、または後方のみを使用することにより、できるだけ通常のプレー距離を保てるように務める。

上記の推奨方法は、すべてのティーマーカーの設置に採用するべきである。

15-3. ホールロケーション

良いホールロケーションの選択には多くの要素が影響するが、なによりも最も重要なことは、公平なプレー結果をもたらすことを目的として良き判断を下すことである。

以下は、ホールロケーションの選択に関わる具体的な考慮点である。

- (i) 設計者が意図した通りにそのホールがプレーされるように、必要に応じてそのホールのデザインを考慮に入れる。グリーンへのショットの距離と、考えられるその日の状態(風や天候状況、ショット地点の芝の状態、グリーン上での球の留まり具合など)を把握する。
- (ii) 要求されたショットがグリーン上に留まるために、ホールからグリーン手前と両サイドのエッジまでの間には十分なグリーン面がなければならない。例えば、そのホールでグリーンを狙うためにロングアイアンやウッドでのショットを要求される場合、短いピッチショットでグリーンを狙う場合よりも、グリーン奥で両サイドから離れたところにホールを位置させるべきである。

どんな場合でも、通常、ホールはどのグリーンエッジからも少なくとも4歩離れたところに決めることを勧める。バンカーがエッジに近い場合やエッジから外に向かって下り傾斜になっている場合、特にピッチショット以上のときには、エッジからホールまでの距離はより長くするべきである。

グリーンを少しだけ外してしまったような、まあまあ良いショットに対しては、フェアナリカバリーの機会を与えることを考慮すべきである。

- (iii) ホールの周辺の2～3フィート(約1m)の区域はできるだけ平らで均一な状態であるべきである。ホールはトリッキーな場所や、球の転がるスピードが増すような急斜面に設置すべきでない。また、ホールの上側からパットしたプレーヤーがそのホールの周辺に球を止めることができるようにすべきである。
- (iv) ホールのすぐ近くの芝の状態を考慮し、完全に治っていない古いホール跡を避けるように特に配慮する。
- (v) ホールはグリーン傾斜に沿って切るのではなく、できるだけ垂直に切るべきである。
- (vi) ホールロケーションの位置は、コース全体で左右、中央、前後のバランスを保つべきである。
- (vii) 数日にわたってプレーされる競技では、日ごとのコースの難易度のバランスを保つべきである。ストロークプレー競技では、第1ラウンドの1番ホールは最終ラウンドの最終ホールと同じだけ大切である。従って、難易度がラウンドによって大きく異なるコースセッティングは避けるべきであり、重要な目的は全体のバランスを整えることである。

上記に関する更なる詳細は、「競技運営ガイド」を参照のこと。

15-4. コース管理

JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングに正確に表す難易度を公平且つ一貫して維持するために、ティーマーカーの位置は、そのホールの距離と様々な障害を考慮に入れて決定すべきである。

様々な障害は、第15-1項の原則に従って、査定された状態と同様に維持されるべきである。

更なる詳細は、「競技運営ガイド」を参照のこと。

15-5. コースのマーキング

競技を管理する委員会またはコースを管理する委員会が、適正且つ完全なコースのマーキングを行うように務めることは、極めて重要である。JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングは、コースが適正にマーキングされていることに基づいて査定される。すべての境界、ウォーターハザード、修理地が正しくマーキングされていれば、シーズン中に委員会が対処しなければならない問題はほとんど起こらない。

第16章： パーの設定

用語の定義

定義は**ゴシック体**で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

下記に示した表は、ホールの子デーに基ついた**パー**の設定に関するガイドラインである。**スクラッチゴルファー**のそのホールの実効プレー距離によってパーを決定する(第13-3b項参照)。これらの子デーは任意で適用することができ、グラウンドの状態および障害難易度の重大性を考慮に入れて決定すべきである。

JGA(承認されたゴルフ協会)は、ホールの**パー**設定に関する疑問が発生した場合に問題を裁く権限を持つ(裁定16/1参照)。

パーの設定のガイドライン(実効プレー距離)

パー	男子	女子
3	250ヤード以下	210ヤード以下
4	251～470ヤード	211～400ヤード
5	471～690ヤード	401～590ヤード
6	691ヤード以上	591ヤード以上

【裁定集】第16章： パーの設定

16-1. USGAのガイドラインに則していないパーの設定

質問: 第16章に従ったパーの設定が行われていない場合、どのような措置をとることができるか? 例えば、ある倶楽部では、特別な状況は存在しない330ヤードのホールを、女子の場合パー5に設定している。このパー設定は、USGAのガイドラインから大きくかけ離れている。JGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)を使用する倶楽部は、ガイドラインに沿ったパー設定を行わなければならないか?

回答: 倶楽部はガイドラインの範囲内でパーを設定しなければならない。

第17章： ハンディキャップストロークの割り当て

用語の定義

定義は**ゴシック体**で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

17-1. 委員会の裁量

ハンディキャップストロークの割り当ての基本原則は、異なるハンディキャップレベルのプレーヤーが平等に対戦できるようにするというものである。ハンディキャップストロークは、勝つためではなく引き分けるためのものであるべきで、シングルマッチプレーやフォアボールマッチプレーで、ハンディキャップの多いプレーヤーが引き分けるために最もハンディキャップを必要とするホールに割り当てられるべきである。ハンディキャップストロークの割り当てに関しては以下の方法を採用することを勧めるが、ハンディキャップに及ぼす影響は最小限であるため、これらの方法は必須ではない(第9-3項参照)。男子と女子ではハンディキャップを必要とするホールが異なる場合が多いので、割り当てでも通常男女で異なる。**ハンディキャップ委員会**は、的確な判断に基づいてコースの各ホールを精査するべきである。パーセーブの難易度は、ハンディキャップが必要かどうかの判断基準としては適切でない(第17-5項参照)。

■ a. 割り当ての基本

最も頻繁に使用するティーマーカーからのプレーを前提にハンディキャップストロークを割り当てる。

まず、フロントナインでハンディキャップの多いプレーヤーが最もハンディキャップを必要とするホールに、ハンディキャップナンバー「1」をつける。次に、バックナインでハンディキャップの多いプレーヤーが最もハンディキャップを必要とするホールに、ハンディキャップナンバー「2」をつける。この手順で、18ホールをフロントナインとバックナインで交互にハンディキャップナンバーを割り当てていく。

通常は、距離の長いホールほどハンディキャップの多いプレーヤーがハンディキャップを必要とする。

■ b. ハンディキャップナンバーの割り当て

(i) 偶数ナンバー/奇数ナンバー

フロントナインに奇数ナンバーを割り当て、バックナインに偶数ナンバーを割り当てることを勧める。

この方法は、18ホール全体で均等にハンディキャップストロークを配分し、マッチをより公平にする。バックナインの方がフロントナインより格段に難しい場合は、奇数ナンバーをバックナインに割り当てることを考慮するべきである。

(ii) 小さいハンディキャップナンバーの重要性

ハンディキャップナンバー「1」は、ほぼ同等の技量のプレーヤー同士がマッチで対戦した場合に、そのハンディキャップストロークが最も効果的に機能するホールに割り当てられるべきである(例えば、**コースハンディキャップ0(ゼロ)**と1、10と11、或いは29と30の

プレーヤーが対戦する場合)。ハンディキャップナンバー「2」は、**コースハンディキャップ**の差が上記の場合よりも少し大きいプレーヤー同士のマッチを想定してホールを決定する(例えばハンディキャップ 0 (ゼロ) と 2、ハンディキャップ 10 と 12、或いはハンディキャップ 29 と 31 のプレーヤーが対戦する場合)。この手順を使って、ハンディキャップナンバー「6」までを割り当てていく。

上記の原則から大きく逸脱しないために、小さいハンディキャップナンバーを各 9 ホールの後ろに割り当てることは避けるべきである。何故ならプレーヤーが受けることのできるハンディキャップを使う機会を得る前に、マッチの勝敗が決まってしまう可能性があるからである。ホールバイホールのプレーオフが必要となる場合には、小さいハンディキャップナンバーは最初のホールまたは 2 番目のホールに割り当てるべきである。

17-2. スコアに基づく割り当て

委員会は、ホールバイホールのスコアデータに基づいてハンディキャップストロークを割り当てることができる。以下の方法は、男女別々に適用することができる。

注： ハンディキャップ委員会は第 17-1 項を優先的に考慮しなければならない(下記 (vii) 参照)。

■ a. 比較方式

- (i) 男子**コースハンディキャップ** 8 以下、女子**コースハンディキャップ** 14 以下のプレーヤーの集団(グループ A)から、約 200 枚のホールバイホールスコアを集める。ハンディキャップの少ないプレーヤーが多くない倶楽部は、最も**コースハンディキャップ**の低いプレーヤー達の 25% から 200 枚のスコアを集めてもよい。これらのスコアは**ストロークコントロール**による調整が加えられていないものであるべきである。
- (ii) グループ A の各ホールの平均スコアと平均**コースハンディキャップ**を算出する。
- (iii) 平均的なハンディキャップからハンディキャップが多いプレーヤーの集団(グループ B)より、約 200 枚のホールバイホールスコアを集める。グループ B の平均**コースハンディキャップ**は、グループ A より 15 ~ 20 打多くなるべきである。各プレーヤーの**コースハンディキャップ**は、男子 20 ~ 28、女子 26 ~ 40 の範囲内であることが望ましい。これらのスコアは**ストロークコントロール**による調整が加えられていないものであるべきである。
- (iv) グループ B の各ホールの平均スコアと平均**コースハンディキャップ**を算出する。
- (v) グループ A とグループ B の各ホールの平均スコアの差を求める(グループ A からグループ B を引く)。
- (vi) グループ A とグループ B の平均スコアの差に基づいて、各ホールに 1 ~ 18 のランキングをつける。平均スコアの差が最も大きいホールがランキング 1 番目、最も小さいホールがランキング 18 番目とする。

- (vii) 第 17-1b 項(ハンディキャップナンバーの割り当て)、および下記の注 1 と注 2 に従って、上記のハンディキャップナンバーを修正する。

注 1： 上記の計算結果でホール A がホール B よりランキングが上になったが、委員会はホール B の方がホール A よりもランキングが上だと考える場合がある。このような場合、委員会は以下の手順をとる。まず、ランキング 1 番の平均スコア差からランキング 18 番の平均スコア差を引き、その値を 18 で割る(平均領域)。次に、ホール A とホール B の平均スコア差の差異を求め、この数値が平均領域以下であれば、委員会は計算結果を破棄し、ホール B をホール A より上にランキングするのが適切である。

注 2： 平均スコア差に基づいた計算の結果、ハンディキャップの多いプレーヤーに重大な問題をもたらすウォーターハザードがあるホールがハンディキャップナンバー「1」または「2」となった。しかし委員会は、これは同等の技量のプレーヤー同士が対戦するとき適切でないと考えた。この場合、委員会はこのホールのランキングを下げてハンディキャップナンバーを変更することができる。委員会は、何が公平な結果をもたらすかということについて、常に的確な判断を下すべきである。

■ b. 回帰分析方式

もう一つの計算方法として、回帰分析方式がある。この方法は、幅広い**コースハンディキャップ**のプレーヤーから少なくとも 400 枚のスコアを集め、その分析計算結果でハンディキャップナンバー割り当てを決定する。基本的には第 17-2 項の「比較方式」と類似した計算方法だが、こちらは使用するスコアの枚数が多く、また「比較方式」では**コースハンディキャップ**が大きく異なる 2 種類の限定されたプレーヤー集団の間でスコアを比較しているのに対して、この「回帰分析法式」では、あらゆる**コースハンディキャップ**を網羅する数多くのスコアをまとめて分析し、ハンディキャップナンバーの割り当てを決める。

ステップ 1： 同じティーインググラウンドを使用した同じ性別のプレーヤーのホールバイホールスコアを、N 枚集める(少なくとも 400 枚、多ければ多いほど良い)。

ステップ 2： 対になっているホールバイホールスコアと**コースハンディキャップ**をすべて抽出し、ホール毎に以下の手順で計算する。

- 1) すべての**コースハンディキャップ**を合計する = S1 (全ホール同じ値)
- 2) すべてのスコアを合計する = S2
- 3) 各**コースハンディキャップ**の 2 乗を合計する = S3 (全ホール同じ値)
- 4) 対になっている**コースハンディキャップ**とスコアを掛け、それを合計する = S4
- 5) 相違要因を計算する (DF)

$$DF = [(N \times S4) - (S1 \times S2)] \div [(N \times S3) - (S1^2)]$$

注： 回帰分析法では、プラスハンディキャップは負の数(マイナス)として計算する。

ステップ 3: DF 値に基づいてすべてのホールにランキングをつける。DF 値が大きいほど、ハンディキャップの少ないゴルファーと多いゴルファーのスコア差が大きくなると予想される (DF 値が最大のホールはハンディキャップナンバー「1」)。

ステップ 4: 委員会の裁量で、ハンディキャップナンバーを最終決定する。

17-3. 9 ホールコース

9 ホールを 2 回プレーして 18 ホールの正規のラウンドとしている 9 ホールのコースでも、同様の原則を適用する。

17-4. 27 ホールコース

各 9 ホール毎にハンディキャップナンバーを割り当てべきである。9 ホールを 2 つ組み合わせて 18 ホールのハンディキャップ競技を行う場合は、奇数のハンディキャップナンバーが割り当てられている方をフロントナインとし、偶数のハンディキャップナンバーが割り当てられている方をバックナインとするべきである。2 つの 9 ホールを組み合わせた競技の割り当て例は、下記の表を参照。

男女混合競技では、各 9 ホールの男女それぞれのハンディキャップナンバーを使用して、18 ホールの割り当てを男女別々に変換する (第 9-3a 項参照)。

ハンディキャップナンバー割り当て例

ホール	フロントナイン									バックナイン								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7	8	9
9 ホール割り当て	5	4	9	2	8	1	3	7	6	4	9	2	1	3	5	6	8	7
18 ホール割り当て	9	7	17	3	15	1	5	13	11	8	18	4	2	6	10	12	16	14

17-5. フォアボールおよびベストボールストロークプレー、ステーブルフォード

フォアボールストロークプレー競技、ベストボールストロークプレー競技、およびステーブルフォード競技では、委員会は対パー難易度に基づくハンディキャップナンバーの割り当て表を別途定めることができる。

このようなプレー形式の場合、各ホールの対パー難易度が効果的なハンディキャップナンバー割り当ての基準となることが多い。もしゴルフクラブが第 17-2 項で示されているスコアに基づく割り当てを採用している場合、以下の方法で対パー難易度に基づいたストロークプレー競技のハンディキャップナンバー割り当てを決めることができる。これは、グループ A とグループ B のプレーヤーにとっての各ホールの難易度を平均することによって、各ホールの対パー難易度を示すものである。

- ・グループ A とグループ B の各ホールの平均スコアを合計する。
- ・上記の合計を 2 倍した数値からそのホールのパーを引く。
- ・上記数値の大きい順で各ホールにランキングをつける。
- ・上記のランキングに修正は加えない。

スコアに基づくハンディキャップナンバー割り当て例

男子の例						
グループ A の平均コースハンディキャップ: 6						
グループ B の平均コースハンディキャップ: 22						
平均領域 = (2.38 - 0.73) ÷ 18 = 0.09						
ホール	グループ A 平均スコア	グループ B 平均スコア	平均スコア差	ランク	* 17-1b(i) 修正	** 17-1b(ii) 修正
1	4.12	5.25	1.13	10	8	8
2	4.31	5.72	1.41	6	4	4
3	3.35	4.10	0.75	15	14	14
4	5.35	7.45	2.10	2	2	2
5	4.16	4.90	0.74	17	16	16
6	3.90	4.63	0.73	18	18	18
7	3.12	4.05	0.93	12	10	10
8	5.10	6.32	1.22	8	6	6
9	3.95	4.83	0.88	13	12	12
10	4.25	6.29	2.04	3	3	1
11	4.30	5.75	1.45	5	7	7
12	4.10	5.15	1.05	11	13	13
13	3.41	4.80	1.39	7	9	9
14	4.95	5.75	0.80	14	15	15
15	4.28	5.50	1.22	9	11	11
16	3.25	4.00	0.75	16	17	17
17	5.21	7.05	1.84	4	5	3
18	4.45	6.83	2.38	1	1	5
* バックナインの方がフロントナインより難しいと判断し、奇数ナンバーをバックナインに割り当てた。						
** 第 17-1b(ii) の推奨手順に従い、18 番ホールは「1」ではなく「5」を割り当てた。						

対パー難易度に基づく ハンディキャップナンバー割り当て例

男子の例						
ホール	パー	グループ A 平均スコア	グループ B 平均スコア	AB スコア計	AB スコア計 マイナス (パー × 2)	ランク
1	5	5.25	6.52	11.77	1.77	10
2	3	3.46	3.96	7.42	1.42	14/15
3	4	4.76	5.57	10.33	2.33	4
4	4	4.69	5.89	10.58	2.58	2
5	4	4.50	5.56	10.06	2.06	6
6	5	5.28	6.61	11.89	1.89	7
7	4	3.96	4.74	8.70	0.70	18
8	3	3.38	4.04	7.42	1.42	14/15
9	4	4.22	5.06	9.28	1.28	16
10	5	5.21	6.53	11.74	1.74	11
11	3	3.50	4.13	7.63	1.63	12
12	4	4.70	5.84	10.51	2.54	3
13	4	4.77	6.24	11.01	3.01	1
14	4	4.62	5.51	10.13	2.13	5
15	5	5.34	6.46	11.80	1.80	9
16	4	4.33	4.93	9.26	1.26	17
17	3	3.54	4.30	7.84	1.84	8
18	4	4.37	5.11	9.48	1.48	13

パートIV – 付則

付則 A: JGA/USGA ショートコースハンディキャップの査定手順

JGA/USGA ショートコースハンディキャップは、ショートコース（距離 3,000 ヤード未満の 18 ホールコースまたは 1,500 ヤード未満の 9 ホールコース）におけるプレーヤーの潜在技量を示す尺度をいう。この潜在技量は整数で表示し、プレーヤーのベストスコア複数枚を使用したショートコースハンディキャップデファレンシャルに基づいて算出する。

A-1. JGA/USGA ショートコースハンディキャップを使用できるゴルフ倶楽部

JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) を順守する**ゴルフ倶楽部**は、下記の条件を満たせば JGA/USGA ショートコースハンディキャップを発行することができる。

- (i) 距離 3,000 ヤード未満の 18 ホールコースを持つ倶楽部は JGA/USGA ショートコースハンディキャップを発行することができる。但し、そのようなコースには **JGA/USGA コースレーティングおよびスローレーティング**を査定できないこともある。
- (ii) JGA/USGA ショートコースハンディキャップは持ち運び不可であり、発給を受けたゴルフコース以外では使用できない。
- (iii) **ゴルフ倶楽部**は、「JGA/USGA コースレーティングシステム規定」第 18 章 (JGA/USGA ショートコースレーティングの査定手順) に定められたガイドラインに従って、JGA (**承認されたゴルフ協会**) によって査定されなければならない。

注: このようなハンディキャップは **JGA/USGA ハンディキャップインデックス**と呼ぶことはできず、略称コード「SL」と付記してショートコースハンディキャップとして識別しなければならない。

A-2. JGA/USGA ショートコースハンディキャップの計算式

■ a. JGA/USGA ショートコースハンディキャップの計算

ショートコースハンディキャップデファレンシャルとは、プレーヤーの調整グロススコアと JGA/USGA ショートコースレーティングの差をいい、小数第 1 位までの数値で表示する。

(i) プラスデファレンシャル

調整グロススコアが JGA/USGA ショートコースレーティングより大きい数値の場合、ショートコースハンディキャップデファレンシャルは正の数（プラス）となる。以下は、JGA/USGA ショートコースレーティング 51.2 の場合の、デファレンシャル算出例。

調整グロススコア:	64
JGA/USGA ショートコースレーティング:	- 51.2
ショートコースハンディキャップデファレンシャル:	12.8

(ii) マイナスディファレンシャル

調整グロススコアがJGA/USGAショートコースレーティングよりも低い数値の場合、ショートコースハンディキャップディファレンシャルは負の数(マイナス)となる。以下は、JGA/USGAショートコースレーティング 51.2 の場合の、ディファレンシャル算出例。

調整グロススコア:	50
JGA/USGA ショートコースレーティング:	− 51.2
ショートコースハンディキャップディファレンシャル:	− 1.2

■ b. ショートコースハンディキャップ査定方法

JGA/USGA ショートコースハンディキャップの査定方法は、プレーヤーのスコア記録に登録されている最も低いショートコースハンディキャップディファレンシャルに基づく。プレーヤーのスコア記録に 20 枚以上のスコアが登録されている場合は、最新 20 枚のスコアのうち最も低いショートコースハンディキャップディファレンシャル 10 枚を使用して計算する。スコア記録に登録されているスコアの数が増えると、使用するスコアの比率も小さくなる。例えば、スコア記録内のスコアが 9 ~ 10 枚の場合は、使用するのはベスト 3 枚 (30 ~ 33 パーセント) となる。従って、プレーヤーの JGA/USGA ショートコースハンディキャップの正確性は、提出された採用可能なスコアの枚数に比例する。このため、提出された採用可能なスコアが 5 枚未満のプレーヤーには、JGA/USGA ショートコースハンディキャップを発給してはならない。JGA/USGA ショートコースハンディキャップは整数で表示する (例: 10SL)。

例 1: 以下は、20 枚のスコアが登録されているプレーヤーのスコア記録から、ゴルフ倶楽部または JGA (承認されたゴルフ協会) によって JGA/USGA ショートコースハンディキャップがどのように査定されるかを示した例である。

日付	調整 グロススコア	JGA/USGA ショートコース レーティング	ハンディキャップ ディファレンシャル
12/21/12	65	51.2	13.8
12/12/12	*58	51.2	6.8
11/10/12	*66	53.6	12.4
11/20/12	*63	51.2	11.8
11/18/12	68	53.6	14.4
11/17/12	65	51.2	13.8
11/16/12	*58	51.2	6.8
10/12/12	*63	51.2	11.8
10/10/11	68	53.6	14.4
9/8/11	*60	53.6	14.4
9/4/11	*59	51.2	7.8
9/1/11	65	51.2	13.8
8/24/11	*61	53.6	7.4
8/16/11	67	53.6	13.4
8/12/11	68	53.6	14.4
8/2/11	65	51.2	13.8
7/14/11	68	53.6	14.4
7/5/11	65	51.2	13.8
7/4/11	*63	51.2	11.8
7/1/11	*60	53.6	6.4
* ベスト 10 枚のハンディキャップディファレンシャル			

ベスト 10 枚のショートコースハンディキャップディファレンシャル: 89.4

上記の平均値 (89.4÷10): 8.94

JGA/USGA ショートコースハンディキャップ: 9SL* (端数四捨五入)

例 2: 以下は、登録されているスコアが 20 枚未満 (11 枚の場合) のプレーヤーのスコア記録から、ゴルフ倶楽部または JGA (承認されたゴルフ協会) によって JGA/USGA ショートコースハンディキャップがどのように査定されるかを示した例である。

- (i) 以下の表を使用し、提出された採用可能なスコアの枚数に応じて使用するショートコースハンディキャップディファレンシャルの枚数を決定する。

採用可能なスコア枚数	使用する ディファレンシャル枚数
5～6	ベスト1枚
7～8	ベスト2枚
9～10	ベスト3枚
11～12	ベスト4枚
13～14	ベスト5枚
15～16	ベスト6枚
17	ベスト7枚
18	ベスト8枚
19	ベスト9枚
20	ベスト10枚

- (ii) 使用するショートコースハンディキャップディファレンシャルを決定する。
- (iii) 使用するショートコースハンディキャップディファレンシャルの平均を求める。
- (iv) 端数を四捨五入して整数で表示する。

ベスト4枚のショートコースハンディキャップディファレンシャル： 44.3

上記の平均値 (44.3÷4)： 11.075

JGA/USGA ショートコースハンディキャップ： 11SL* (端数四捨五入)

*注 JGA/USGA ショートコースハンディキャップは整数で表示する(JGA/USGA ハンディキャップインデックスのように小数第1位まで表示しない)。JGA/USGA ショートコースハンディキャップは持ち運び不可であり、プレーヤーのホームゴルフ倶楽部以外で使用することはできない。

付則 B： 第8-4c 項適用に関する通知文書サンプル例

[倶楽部名]

[日付]

[宛名]

貴殿(貴女)のスコア記録を検証した結果、[倶楽部名]ハンディキャップ委員会は貴殿(貴女)のJGA/USGAハンディキャップインデックスが潜在技量を正確に反映していないと判断し、貴殿(貴女)の[急激な上達/大量のアウェイスコア/負傷/スコア未提出/誤りのあるスコアの提出]がJGA/USGAハンディキャップインデックスを不正確なものにしていると結論づけました。

つきましては公平なプレーを促進するため、当委員会は「JGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)第8-4c項の規定に基づいて、貴殿(貴女)のJGA/USGAハンディキャップインデックスを[例:7.6M]に修正することになりました。この修正が実施される前に、貴殿(貴女)は当委員会に対して、[期日]までに直接または文書にて異議を申し立てることができます。当委員会に対する連絡が無い場合、または当委員会が修正理由を有効と決定した場合、修正されたJGA/USGAハンディキャップインデックスは[日付]より有効となります。

当委員会はハンディキャップ更新日毎に本修正の見直しを行い、必要と判断すれば、第10-2項の規定に基づいた通常のハンディキャップ査定方法に戻します。当面の間は、すべてのスコア提出を継続し、JGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)の順守に努めて頂くようお願い申し上げます。

ハンディキャップ委員長

付則C: ジュニアパー

ジュニアパーは、様々な技量レベルのジュニアプレーヤーのために調整したパーであり、ジュニアが通常のパーでプレーできるようになるまでの間、その上達を測定する現実的な尺度を提供する。ジュニアのJGA/USGAハンディキャップインデックスは第10章の計算式によって査定され、プレーするコースのコースハンディキャップに換算する。

C-1. ジュニアのレベル分類

ジュニアパーを使用することによって、プレーヤーを初心者、中級者、上級者などの技量別に分類できる。初心者はコースハンディキャップ41以上、中級者はコースハンディキャップ25～40、上級者はコースハンディキャップ24以下のジュニアプレーヤーをいう（ジュニアのコースハンディキャップは、通常フォワードティーのJGA/USGAコースレーティングとスロープレーティングに基づく）。

ゴルフ倶楽部は、JGA/USGAハンディキャップインデックスを持たないジュニアの技量を別の方法でレベル分類することができる。例えば、初心者のプレーを3～6ホールに限定し、上達に応じて9ホール、18ホールへとプレーするホール数を増やしているゴルフ倶楽部がある。このような倶楽部は、3～6ホールのプレーヤーを初心者、9ホールと18ホールのプレーヤーをコースハンディキャップ24以下になるまで中級者として分類することができる。

C-2. ジュニアパーの設定

ジュニアパーは、各ホールのフォワードティーからの距離とジュニアプレーヤーの技量に基づいて設定する。下記は、男女それぞれのジュニアパーの設定方法を示したものである。

女子							
ホール距離によるジュニアパーの設定							
	3	4	5	6	7	8	9
初心者	90y 以下	91～ 160y	161～ 230y	231～ 300y	301～ 370y	371～ 440y	441y 以上
中級者	140y 以下	141～ 250y	251～ 355y	356～ 470y	471y 以上	—	—
上級者	＜大人と同じ通常のパーを使用＞						
例：初心者女子ジュニアは150yのホールはパー4。中級者女子ジュニアは400yのホールはパー6。							

男子							
ホール距離によるジュニアパーの設定							
	3	4	5	6	7	8	9
初心者	100y 以下	101～ 180y	181～ 260y	261～ 340y	341～ 420y	421～ 500y	501y 以上
中級者	150y 以下	151～ 270y	271～ 390y	391～ 510y	511y 以上	—	—
上級者	＜大人と同じ通常のパーを使用＞						
例：初心者男子ジュニアは150yのホールはパー4。中級者男子ジュニアは400yのホールはパー6。							

C-3. ジュニア用スコアカード

フォワード ティー	ジュニアパー				HDCP ナンバー	±	Hole	±	
	男子		女子						
	初心者	中級者	初心者	中級者					
333	6	5	7	5	7		1		
125	4	3	4	3	17		2		
442	8	6	9	6	1		3		
360	7	5	7	6	11		4		
167	4	4	5	4	15		5		
326	6	5	7	5	13		6		
358	7	5	7	6	9		7		
406	7	6	8	6	5		8		
496	8	6	9	7	3		9		
3,013	57	45	63	48	OUT				
361	7	5	7	6	10		10		
496	8	6	9	7	2		11		
318	6	5	7	5	12		12		
282	6	5	6	5	14		13		
123	4	3	4	3	18		14		
359	7	5	7	6	8		15		
168	4	4	5	4	16		16		
443	8	6	9	6	4		17		
385	7	5	8	6	6		18		
2,935	57	44	62	48	IN				
5,948	114	89	125	96	TOTAL				
コースハンディキャップ									
ネットスコア									
プレーヤー				アテスト		日付			

C-4. ジュニアパーに基づくスコアの提出方法

ジュニアプレーヤーは第4章に従って各ホールスコアの調整を行い、第5-2項に従って適切なJGA/USGAコースレーティングおよびスロープレーティングと共にスコアを提出する。

付則 D: 第 3-5 項、および第 9-3c 項の解説文書サンプル例 (異なるティーインググラウンドを使用した競技)

[倶楽部名]

[日付]

[宛名]

JGA/USGA コースレーティング異なるティーインググラウンドを使用するプレーヤー同士が対戦する場合のハンディキャップの取扱について、貴殿（貴女）のご質問にお答え致します。

JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) では、各プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスをコースハンディキャップに換算し、算出されたコースハンディキャップに基づいてプレーします。しかし、異なるティーインググラウンドを使用するプレーヤー同士が対戦し、それぞれのティーインググラウンドに設定された JGA/USGA コースレーティングが異なる場合、ハンディキャップの多いプレーヤーに対してコースハンディキャップの修正を加えなければなりません。

競技者間で JGA/USGA コースレーティングに差異があると基準が変わってしまうため、競技の公平性を保つためにレーティングの差を適切に処理しなければなりません（「JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠)」第 3-5 項の例を参照）。

この修正には 2 つの方法があり、コースレーティング差異分を、レーティングの高いティーインググラウンドを使用するプレーヤーに付加するか、或いはレーティングの低いティーインググラウンドを使用するプレーヤーから差し引くことができます（詳細は裁定 3-5/1 を参照）。

但し、この修正を適用できるのはプレーヤー同士が直接対戦する場合のみです。また JGA/USGA ハンディキャップインデックスはあくまでも指標値であり、個別のティーインググラウンドには対応しません。特定のティーインググラウンドの JGA/USGA コースレーティングに基づく適正なハンディキャップをプレーヤーに与えるのは、コースハンディキャップだけです。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスはプレーヤーの潜在技量を数値で表したものであり、これを個別のティーインググラウンドに対応させるためにはコースハンディキャップに変換する必要があります。そして異なるティーインググラウンドを使用するプレーヤー同士が対戦する場合は、更に追加の修正を加えて公平な競技が行えるようにします。

異なるティーインググラウンドを使用する競技で「JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠)」第 3-5 項の規定を適用しないことは、「ゴルフ規則」に反することになり、競技を管理する委員会はそのような権限を持っていません（裁定 3-5/2 参照）。

詳細については、異なるティーインググラウンドを使用する競技に関するパンフレットおよび説明書をご参照下さい。

ハンディキャップ委員長

付則 E: 非常に優れたトーナメントスコアの確率表

ネットディファレンシャル	JGA/USGA ハンディキャップインデックスの範囲				
	5.9 以下	6.0 ~ 12.9	13 ~ 21.9	22 ~ 30.9	31 以上
0 ~ -0.9	5	5	5	5	5
-1 ~ -1.9	10	10	10	8	7
-2 ~ -2.9	23	22	21	13	10
-3 ~ -3.9	57	51	43	23	15
-4 ~ -4.9	151	121	87	40	22
-5 ~ -5.9	379	276	174	72	35
-6 ~ -6.9	790	536	323	130	60
-7 ~ -7.9	2,349	1,200	552	229	101
-8 ~ -8.9	20,111	4,467	1,138	382	185
-9 ~ -9.9	48,219	27,877	3,577	695	359
-10.0 以下	125,000	84,300	37,000	1,650	874

上記の表は、プレーヤーが左側に記載されたネットディファレンシャル * よりも少ないスコアを出す確率を、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの範囲別に示したものである。

* ネットディファレンシャルとは、特定のスコアのハンディキャップディファレンシャルからプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを差し引いたものである。この数値は、プレーヤーが自身の JGA/USGA ハンディキャップインデックスより少ないスコアを出した時に負の数（マイナス）となる。

例: JGA/USGA ハンディキャップインデックス 10.5 のプレーヤーが、JGA/USGA コースレーティング 70.2、スロープレーティング 126 のティーから 74 でプレーした。

$$(74 - 70.2) = 3.8$$

$$3.8 \times 113 \div 126 = 3.4 \text{ ハンディキャップディファレンシャル}$$

$$3.4 - 10.5 = -7.1 \text{ ネットディファレンシャル}$$

上記の表より、これが起こる確率は 1,200 分の 1 である。

付則 F: 倶楽部向けライセンスプログラム【米国内限定】

ゴルフ倶楽部として USGA ハンディキャップシステムの使用を希望する団体は、地域を管轄する承認されたゴルフ協会に連絡し、ライセンス認可の手続きを開始しなければならない（承認されたゴルフ協会の連絡先は USGA ホームページ (www.usga.org) を参照、または USGA ハンディキャップ部門 (電話: 908-234-2300) まで連絡のこと)。団体は協会の会員である必要はない。承認されたゴルフ協会は提出されたライセンス申請書類を精査し、ゴルフ倶楽部が全米統一更新スケジュール、および承認されたゴルフ協会が定める非アクティブシーズンを順守できるかを確認しなければならない。

「ゴルフ倶楽部」とは、最低 10 名の会員 * で構成する組織で、ゴルフ活動の管理、スコア検証の実施、および USGA ハンディキャップシステムの保全を目的として、規約と委員会(特にハンディキャップ委員会)によって運営されるものをいう(倶楽部コンプライアンスチェックリスト・第 8-2m 項、および裁定 2/7 参照)。ゴルフ倶楽部は直接 USGA から、あるいは USGA とライセンス契約を結びゴルフ倶楽部の主たる所在地が含まれる地域を管轄している承認されたゴルフ協会の会員制度を通して、USGA ハンディキャップシステムを使用するための認可を受けることができる。

ゴルフ倶楽部の会員同士は、合理的且つ定期的に共にプレーする機会を持たなければならない。スコアは会員本人が提出しなければならず、また会員仲間や倶楽部のハンディキャップ委員会を含む(但しそれらに限定しない)、他者によるスコアの検証を受けられるようにしなければならない。

ゴルフ倶楽部は、以下 3 種類のいずれかとする:

タイプ 1: タイプ 1 倶楽部は、有効な USGA コースレーティングおよびスロープレーティングを保持する特定のゴルフコースに会員が所属し、そのゴルフコースで倶楽部競技の大部分が開催され、また倶楽部のスコア記録が保管されている場合をいう。

タイプ 2: タイプ 2 倶楽部は、職業、共済、民族、または社交上の組織を通して会員が交流し、会員の多数が倶楽部の設立以前から交流関係にある場合をいう。

タイプ 3: タイプ 3 倶楽部は、互いに面識のない者同士が会員として集まり、入会方法の大部分が公募(新聞やインターネットなど)によって行われる場合をいう。

* 注: 承認されたゴルフ協会のなかには、ゴルフ倶楽部が承認されたゴルフ協会に加盟する条件として、事務管理上の理由で、USGA が定める最低会員数 10 名を超える所属会員数を義務づける場合がある(第 2 章参照)。

認可を受けたゴルフ倶楽部は、USGA によるコンプライアンス順守に関する監査を受ける場合がある。ゴルフ倶楽部が監査対象に選ばれた場合、地域を管轄する承認されたゴルフ協会に通知される。ゴルフ倶楽部が協会の会員であるか否かに拘わらず、監査を受ける場合には、ライセンス認可の手続き開始の際に連絡を取った承認されたゴルフ協会の指導に従うものとする(付則 G 参照)。

付則 G: ゴルフ倶楽部監査手順【米国内限定】

USGA は、USGA ハンディキャップシステムの保全を確保するために、ゴルフ倶楽部に対する監査プログラムを実施している。認可を受けたすべてのゴルフ倶楽部は、コンプライアンス順守に関する問題の有無に拘わらず、USGA の監査を受けることがある。

認可を受けたゴルフ倶楽部にコンプライアンス順守に関する潜在的な問題が存在するという旨の報告が書面にて提出された場合、その倶楽部は直ちに監査を受ける。

ゴルフ倶楽部が監査手順を不服とした場合、USGA は問題点を明示した文書通達を行い、問題解決のための期限を設定する。この期限内に問題解決を図れなければ、その倶楽部は認可を受けたゴルフ倶楽部のリスト(www.usga.org に掲載)から除外され、USGA ハンディキャップシステムの使用権を失う恐れがある。

執行手順

USGA は地域を管轄する承認されたゴルフ協会に対して、コンプライアンス順守に関して倶楽部に連絡を取るよう要請する。もし承認されたゴルフ協会または USGA が、その倶楽部にコンプライアンス順守を説得できなかった場合、USGA はその倶楽部に対して、USGA ハンディキャップシステムおよび USGA 商標類の使用権停止を通達する。

倶楽部は、USGA ハンディキャップシステムの使用を認められたゴルフ倶楽部のリストから除外される。USGA は、その倶楽部の USGA ハンディキャップシステム使用権を停止した旨を他に通知する権利を持つ。

異議申し立て

ゴルフ倶楽部が最初の決定を不服とした場合、USGA ハンディキャップシステム使用権停止の通知を受けてから 30 日以内に、USGA ハンディキャップ委員会に対して文書による異議申し立てを行うことができる。もしゴルフ倶楽部が異議申し立てを行うことを選択した場合、倶楽部の代表者は、その件に関する審問が行われる USGA ハンディキャップ委員会の次回ミーティングにつ関してしかるべき通知を受けなければならず、その場で反証する資格を与えられる。USGA ハンディキャップ委員会は、ゴルフ倶楽部から提供されたすべての情報、およびそのスタッフによる調査結果や提言を精査し、その問題に関する最終決定を下すものとする。

権利の回復

USGA ハンディキャップシステムの使用権を失ったゴルフ倶楽部が、その権利を回復するためには、再び認可を求める再申請手続きを行う必要がある。USGA は申請書を受け取った時点で、その申請を検討するための必要条件を倶楽部に提示する。ゴルフ倶楽部がこの必要条件を満たしていることを USGA が認めた場合、USGA はゴルフ倶楽部、およびその倶楽部によるコンプライアンス不履行の通知を受けたすべての者に対して、その倶楽部が再び USGA ハンディキャップシステムを使用できるようになったことを通知する。但し、権利を回復したゴルフ倶楽部は、その後 2 年間は毎年 USGA による監査を受けなければならない。

付則 H: 最も上達したプレーヤーの決定方法

ゴルフ倶楽部内で、年末またはシーズン末に最も上達したプレーヤーを決定する場合、以下の方法を USGA は勧めている。

シーズン開始時に、プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスに「12」* を加え、これを数値 A とする。またシーズン終了時に、プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスに「12」を加え、これを数値 B とする。

数値 A を数値 B で割り、小数第 3 位までの数値で表示する。これが上達度を示す上達ポイントである。上達ポイントが最も大きいプレーヤーを、最も上達したプレーヤーとして表彰する。

例:

開始時ハンディキャップインデックス: 22.6

終了時ハンディキャップインデックス: 17.4

数値 A: $22.6 + 12 = 34.6$

数値 B: $17.4 + 12 = 29.4$

数値 A ÷ 数値 B: $34.6 \div 29.4 = 1.177$

上達ポイント: 1.177

上記の手順を各プレーヤーに適用し、その年に最も上達したプレーヤーを決定する。上達ポイントが最も大きいプレーヤーが、最も上達したプレーヤーである。

注: 9 ホールハンディキャップインデックスの場合は、開始時と終了時のハンディキャップインデックスに「12」ではなく「6」* を加える。

* 開始時と終了時の JGA/USGA ハンディキャップインデックスに加算する「6」および「12」の数値は、すべてのハンディキャップを網羅する上達度測定尺度として USGA が採用したものである。例えば、JGA/USGA ハンディキャップインデックス 20.0 から 10.0 に上達したプレーヤーの上達度（上達ポイント 1.454）と、5.0 から 0（ゼロ）に上達したプレーヤーの上達度（上達ポイント 1.416）は比較的同じ数値となるが、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの数値だけを見ると、それぞれの変動幅は「10」（20 - 10）と「5」（5 - 0）である。つまり、「6」と「12」の加算値を採用することによって、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの変動幅では測定できないプレーヤーの技量上達度を導き出すことができる。

索引

セクション

ページ

ア

アウェイスコア	5-1b、裁定 5-1b/1	28、35
アクティブシーズン	8-3a	51
定義	2	4

ウ

ウィンタールール

* 「プリファードライ」の項参照

ウェブサイト上でのハンディキャップ取得	裁定 5-2a/9	38
---------------------	-----------	----

カ

会員制度

倶楽部を退会した会員	6-7、8-2i	41、48
公募によって会員を募っている団体	裁定 2/6	13
ゴルフ倶楽部（定義参照）	2	6
所属倶楽部を変更する場合	6-6	41
新規会員	6-6、8-2h	41、48
複数倶楽部に所属するプレーヤー（マルチメンバー）	6-5、裁定 6-5/3	40、43

キ

基準測定点（パーマネントマーカー）

* 「コースの実測」、「ティーインググラウンド」の項参照

9 ホールハンディキャップ	10-5	84
9 ホールスコア	5-1a、5-2c	27、30
9 ホールスコアの連結方法	裁定 5-2c/1	38
9 ホールのストロークコントロール	10-5c	84
9 ホールハンディキャップの上限	10-5d	85
9 ホールハンディキャップの使用と識別	10-5a	84
査定方法	10-5b	84

協会の記録管理

* 「ゴルフ協会」の項参照

競技で使用できるハンディキャップ

* 「ハンディキャップ競技」の項参照

距離レーティング計算式

* 「JGA/USGA コースレーティング」の項参照

ク

倶楽部コンプライアンスチェックリスト	8-2m	50
倶楽部向けライセンスプログラム	付則 F	118
ゴルフ倶楽部のライセンス認可要件	裁定 2/7	14
倶楽部を退会した会員	6-7、8-2(i)	41、48

	セクション	ページ
グロススコア		
定義	2	6
コ		
恒常的な風	13-3b(iv)	95
更新スケジュール		
＊「ゴルフ協会」、「ハンディキャップ委員会」の項参照		
高低差	13-3b(ii)	95
コース改造		
＊JGA/USGA コースレーティング参照		
コースセッティング	15	99
コース管理	15-4	101
コース難易度の維持	15-1	99
コースのマーキング	15-5	102
バランスのとれたティーマーカーの設置	15-2	100
ホールロケーション	15-3	100
コースの実測	12	90
基準測定点(パーマメントマーカー)	12-1	90
距離測定方法	12-2a	90
ティーマーカーの識別、レーティングの表示	12-2b	91
コースハンディキャップ	3-3、10-4	16、83
＊「プラスコースハンディキャップ」、「ハンディキャップ競技」の項併照		
定義	2	5
コースハンディキャップ換算表	3-3	18
コースレーティング		
＊「JGA/USGA コースレーティング」の項参照		
異なるティーインググラウンドを使用する競技		
＊「ハンディキャップ競技」の項、および第3-5項参照		
ゴルフ規則の本質	4-2、裁定4-2/1、5-1a	24、27
ゴルフ協会		
定義	2	6
アクティブシーズン	6-2、8-3a	39、51
協会の記録管理	14-4	98
情報の管理	14-4a	98
すべてのレーティングのリスト	14-4b	98
更新スケジュール	8-3a	51
更新の頻度	8-3a	51
コースの再査定	14-2	98
コースの査定	14-1	97
コースハンディキャップ換算表の発行	8-2d	47
コースレーティング査定の実施	14	97

	セクション	ページ
コース改造	14-5	99
承認されたゴルフ協会	1-2、2	2、4
すべてのレーティングのリスト	14-4b	99
同一地域内のアクティブシーズンと非アクティブシーズン	裁定6-2/1	42
ハンディキャップカード	6-4	40
ハンディキャップ計算プログラム	6-4、8-2g	40、48
ハンディキャップ更新日後に提出されたスコア	裁定5-2a/2	36
ハンディキャップの更新	8-3	51
非アクティブシーズン	6-2、8-3a	39、51
非アクティブシーズン中のスコア	8-3b	51
ライセンス認可の必要条件	1-2	2
レーティングの検証	14-2	98
記録や計算結果の訂正	8-2j	48
倶楽部を退会した会員の記録	6-7	41
文書による承認	1-2	2
USGA 商標類	1-2	2
ゴルフ倶楽部		
定義	2、裁定2/1	6、12
会社の従業員で構成されたゴルフ倶楽部	裁定2/5	12
倶楽部の方針がJGAハンディキャップ規定(USGAシステム準拠)		
に即していない	裁定1-2/1	3
ゴルフ倶楽部監査手順	付則G	119
JGAの認可を受けていない倶楽部	裁定1-2/2	4
練習場が発行したJGA/USGAハンディキャップインデックス	裁定2/4	12
コンシードされたストローク	4-1	24
コンピューター計算プログラム	6-4、8-2g	40、48

サ**採用可能なスコア**

＊「スコア(採用可能なスコア)」の項参照

採用可能なトーナメントスコア(トーナメントスコアの定義参照) 2 11

採用できないスコア

＊「スコア(採用できないスコア)」の項参照

シ**JGA(承認されたゴルフ協会)**

＊「承認されたゴルフ協会」、「ゴルフ協会」の項参照

JGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)

＊「USGAハンディキャップシステム」の項参照

JGA/USGA コースレーティング 13 93

協会の記録管理 14-4 98

	セクション	ページ
距離レーティング	13-1b	93
ボギー距離レーティング	13-3a(iv)	94
距離レーティング計算式	13-3d	96
倶楽部によるコースの査定	14-1	97
コース改造	14-5	99
一時的な改造	14-5a	99
恒久的な改造	14-5b	99
コースレーティング計算式	13-3e	97
コースレーティング査定の手順	13-3	94
再査定	14-2	98
査定時の基本条件	13-2	94
ゴルフ規則	13-2c	94
ティーメーカーの設置とホールロケーション	13-2a	94
ミッドシーズン時のコンディション	13-2b	94
査定済みコースの未査定ティー	5-2g	31
査定チームのメンバー	14-3	98
実効プレー距離	13-3b	95
恒常的な風	13-3b(iv)	95
高低差	13-3b(ii)	95
ドッグレッグ/強制刻み	13-3b(iii)	95
標高	13-3b(v)	95
ロール	13-3b(i)	95
障害要素	13-3c	95
アウトオブバウンズ/エクストリームラフ	13-3c(vi)	96
ウォーターハザード	13-3c(vii)	96
グリーン表面	13-3c(ix)	96
グリーンターゲット	13-3c(iii)	96
樹木	13-3c(viii)	96
心理的影響	13-3c(x)	96
地形	13-3c(i)	95
バンカー	13-3c(v)	96
フェアウェイ	13-3c(ii)	95
リカバリーとラフ	13-3c(iv)	96
スクラッチ	13-3a(ii)	94
スクラッチゴルファー (定義参照)	2	10
スロープレーティング計算式	13-3f	97
ボギーコースレーティング (男子・女子)	13-3e(ii)	97
ボギーゴルファー (定義参照)	2	5
ボギーレーティング (定義参照)	2	5
レーティング査定の権限	14-1、14-2	97、98

	セクション	ページ
JGA/USGA ショートコースハンディキャップの査定手順	付則 A	109
JGA/USGA ショートコースハンディキャップの査定方法	付則 A-2b	110
計算式	付則 A-2	109
ショートコースハンディキャップを使用できるゴルフ倶楽部	付則 A-1	109
ハンディキャップデファレンシャル	付則 A-2a	109
JGA/USGA ハンディキャップインデックスの査定方法	10-2	76
JGA/USGA ハンディキャップインデックスの取得	3-1	16
JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用	9-2	57
競技開始時	9-2a	57
競技中のハンディキャップ変更	9-2b	57
複数の倶楽部に所属するプレーヤー (マルチメンバー)	9-2c、裁定 6-5/1	57、43
JGA/USGA ハンディキャップインデックスの上限	3-4	19
JGA/USGA ハンディキャップインデックスリストの開示・閲覧	6-3、8-2g	39、48
左打ちから右打ちに転向したプレーヤー	裁定 1-1/2	3
右打ちと左打ちで異なる 2 つのハンディキャップインデックスを取得する	裁定 1-1/1	3
ローカルハンディキャップ	2、3-4	8、11、19
JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正	8-4	51
一時的な身体障害	8-4c(iii)、裁定 8-4c/1	52、56
恒久的な身体障害	裁定 8-4c/2	56
採用可能なトーナメントスコア	10-3	79
JGA/USGA ハンディキャップインデックスの増加	8-4c、9-1b、11-7	52、57、88
JGA/USGA ハンディキャップインデックスの取り消し	8-4f	54
JGA/USGA ハンディキャップインデックス低減に対する異議申し立て	8-4c	52
JGA/USGA ハンディキャップインデックス低減の継続と変動	10-3d	82
JGA/USGA ハンディキャップインデックス低減の手順	10-3b	79
スコア提出を怠った場合	8-4b	52
スコアの改ざん	8-4c(iv)	53
第 8-4 項適用に関する通知文書サンプル例	付則 B	113
大量のアウトスコアやインターネットスコアがインデックスを変える場合	8-4c(ii)	52
トーナメントスコア	2、10-3	11、78
トーナメントスコアの検証	8-4e、10-3e	53、82
ハンディキャップ委員会によるハンディキャップインデックスの修正	8-4c	52
ハンディキャップ委員会による修正の適用期間	8-4d	53
非常に優れたトーナメントスコアによるハンディキャップインデックスの低減	10-3	78
ペナルティースコア	8-4b	52
定義	2	9
報告の義務	10-3f	83
本規定が対応できない速さで上達した場合	8-4c(i)	52
JGA/USGA ハンディキャップインデックスの取得	3-1	16
JGA/USGA ハンディキャップインデックスの上限		
* 「JGA/USGA ハンディキャップインデックス査定方法」の項参照		

	セクション	ページ
JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用方法	3-2	16
JGA/USGA ハンディキャップ計算式	10	75
コースハンディキャップ	10-4	83
ハンディキャップディファレンシャル	10-1	75
非常に優れたトーナメントスコアによるハンディキャップインデックスの低減	10-3	78
失格	5-1d	28
実効プレー距離		
* 「JGA/USGA コースレーティング」の項参照		
紙面での記録の開示	6-3	39
ジュニアパー	付則 C	114
障害要素		
* 「JGA/USGA コースレーティング」の項参照		
上級者へのボーナス	10-2	77
承認されたゴルフ協会	1-2	2
定義	2	4
女子ボギー距離レーティング	13-3d (iv)	97
所属倶楽部を変更する場合	6-6	41
ス		
スクラッチ距離レーティング	13-3d	96
スクラッチゴルファー (定義参照)	2	10
スコア		
アウェイスコア	5-1b、裁定 5-1b/1	28、35
アクティブシーズン	6-2	39
定義	2	4
グロススコア		
定義	2	6
採用可能なスコア	5-1	27
アテスト署名	5-2a	29
距離計測機器を使用したプレーのスコア	裁定 5-1e/2	36
ゴルフ規則の本質に従ってプレーしたスコア	5-1a	27
最低 13 ホールをプレー	5-1a	27
採用できないスコア	5-1e	28
失格	5-1d	28
スコアの提出	5-1a	27
ストローク中に人工の機器を使用したプレーのスコア	裁定 5-1e/3	36
すべての形式の競技のスコア	5-1c	28
すべてのコースのスコア	5-1b	28
球をピックアップ	5-1c	28
1人でプレーした時のスコア	裁定 5-1a/2	34
2つの球をプレーした場合のスコア	裁定 5-1a/5	35

	セクション	ページ
プリファードライ適用時	7-1	44
マッチプレーとストロークプレーが複合された場合	裁定 5-1c/1	35
レッスンを受けながらプレーしたスコア	裁定 5-1a/4	35
スコアの提出		
定義	2	11
アウェイスコア	5-1b、裁定 5-1b/1	28、35
E メールによる提出	5-2a	29
委員会による提出	5-2f	31
インターネット	裁定 5-2a/6	38
競技のスコア	5-1c	28
9 ホールスコア	5-2c	30
国外のコース	5-1b	28
最低 13 ホールをプレー	5-2b	30
指定期間内のスコア提出	裁定 5-2a/1	36
スコアカード現物の提出	5-2a、裁定 5-2a/3	29、37
スコア提出に関わる条件	5-2a	29
スコア提出方法	5-2a	29
すべてのスコアをすべての倶楽部に提出	6-5	40
ティーマーカーを組み合わせてプレーした場合	5-2g	31
電話による提出	5-2a	29
トーナメントスコア	5-2e	31
任意に選択した 9 ホールを 2 回プレーしたスコア	裁定 5-1a/1	34
パー 3 コースのスコア	裁定 5-1e/1	36
1人でプレーした時のスコア	裁定 5-1a/2	34
複数倶楽部に所属するプレーヤー (マルチメンバー)	6-5	40
プレーヤーの承諾なしで委員会が提出	5-2f、8-4b	31、52
プレーヤー自ら提出	5-2a	29
ホームコース、アウェイコース	5-1b	28
ホールバイホールのスコア	5-2a	29
マッチプレーとストロークプレーが複合された場合	裁定 5-1c/1	35
未査定ティーを使用したスコア	5-2g	31
郵送、ファックス	5-2a	29
臨時のグリーンをプレーしたスコア	裁定 5-1a/3	35
調整グロススコア	5-2a(v)	29
定義	2	4
ネットスコア		
定義	2	8
非アクティブシーズン	6-2、8-3b	39、51
定義	2	7
ホールスコアの調整	4	24
ゴルフ規則の本質に従ってプレーしなかったホール	4-2	24

	セクション	ページ
コンシードされたストローク	4-1	24
最低 13 ホールをプレー	5-1a	27
ストロークコントロール	4-3	25
定義	2	5
9 ホールのストロークコントロール	10-5c	84
プレーしなかったホール	4-2	24
ホールアウトしていないホール	4-1	24
ホールスコアの上限	4-3	25
最も可能性の高いスコア	4-1、裁定 4-1/1	24、26
スコア記録		
定義	2	10
開示	6-3、裁定 6-3/1	39、42
記録の管理	8-2g	48
倶楽部を退会した会員	6-7	41
継続的な記録	6-1	39
スコア履歴	6-3	39
ハンディキャップカード	6-4	40
非アクティブシーズン	6-2	39
容易に閲覧できる記録	6-3、裁定 6-3/2	39、42
スコア検証	5-2a、6-3	29、39
定義	2	9
合理的且つ定期的に共にプレーする機会	裁定 2/8	15
スコア検証を目的としたスコア記録の開示	裁定 6-3/1	42
スコアタイプ		
定義	2	10
スコア提出方法	5-2a、8-2a	29、46
スコアの提出		
* 「スコア (スコアの提出)」の項参照		
ストロークコントロール	4-3	25
定義	2	5
9 ホールのストロークコントロール	10-5c	84
ストロークホール		
* 「ハンディキャップホール」の項参照		
スロープレーティング (定義参照)	2	10
スロープレーティング計算式	13-3f	97
セ		
正規のラウンド		
定義	2	10
全米統一更新スケジュール	8-3	51

	セクション	ページ
タ		
男子ボギー距離レーティング	13-3d (ii)	96
男女が同じティーインググラウンドを使用する競技		
* 「ハンディキャップ競技」、「ティーインググラウンド」の項参照		
チ		
調整グロススコア	5-2a(v)	29
定義	2	4
テ		
ティーインググラウンド		
基準測定点	12-1	90
異なるティーインググラウンドを使用する競技	3-5、9-3c	19、59
男女が同じティーインググラウンドを使用する競技	3-5、9-3c(ii)	19、59
ティーマーカー	12-2b	91
バランスのとれたティーマーカーの設置	15-2	100
レーティングのためのティーマーカーの設置	13-2a	94
ディファレンシャル		
* 「ハンディキャップディファレンシャル」の項参照		
ト		
トーナメントスコア		
* 「JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正」の項併照		
定義	2	11
獲得ポイント合計による年間表彰を実施する場合	裁定 10-3/1	85
組み合わせやスタート時間を設定していない競技	裁定 10-3/4	86
賞品がゴルフボールの競技	裁定 10-3/2	85
スタート時点でエントリー可能な競技	裁定 10-3/3	85
定期的に行っている懸賞競技	裁定 10-3/5	86
ドッグレッグ/強制刻み	13-3b(iii)	95
トレンドハンディキャップ (定義参照)	2	11
ネ		
ネットスコア		
定義	2	8
ハ		
パーの設定	16	102
定義	2	8
ジュニアパー	付則 C	114
ヤーデージに基づいたパーの設定	16	102
USGA のガイドラインに則していないパーの設定	裁定 16/1	102

	セクション	ページ
ハンディキャップ		
* 「JGA/USGA ハンディキャップインデックス」、「コースハンディキャップ」の項参照		
ハンディキャップアローワンス		
* 「ハンディキャップ競技」の項参照		
ハンディキャップ委員会	8	46
定義	2	7
委員会の方針	8-2a	46
委員会のメンバー (ハンディキャップ委員会の定義参照)	2	7
委員長	8-1	46
会員への通知	8-2a	46
競技結果の検査	8-2f	48
記録や計算結果の訂正	8-2j	48
倶楽部コンプライアンスチェックリスト	8-2m	50
倶楽部におけるレーティングの表示	8-2b	47
倶楽部のオーナーと従業員	裁定 8-1/1	54
倶楽部の従業員 (ハンディキャップ委員会の定義参照)	2	7
倶楽部を退会した会員の記録	8-2i	48
コースハンディキャップ換算表の掲示	8-2d	47
コンプライアンス順守の要件	8-2m	49
JGA/USGA ハンディキャップインデックス増加幅の上限設定	裁定 8-4a/1	55
JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正		
* 「JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正」の項参照		
新規会員の記録	8-2h	48
スコアカード現物の提出	5-2a、裁定 5-2a/3	29、37
スコア提出方法	5-2a	29
他の委員会との連携	8-2l	49
長期間プレーを辞めていたプレーヤー	裁定 6-1/1	41
同一地域内コースのレーティングの表示	8-2c	47
任務と責任	8-2	46
ハンディキャップ委員会	2	7
ハンディキャップ委員会の構成	2	7
ハンディキャップ委員会の報酬	裁定 8-1/1.5	54
ハンディキャップカード	8-2k	49
ハンディキャップの更新	8-3	51
更新された JGA/USGA ハンディキャップインデックスの公表日	裁定 8-3a/1	55
ハンディキャップ更新日後に提出されたスコア	裁定 5-2a/2	36
非アクティブシーズン中のスコア	8-3b	51
プレーヤーの代わりに委員会がスコアを提出する場合	5-2f	31
プレーヤーの記録の管理	8-2g	48
ハンディキャップ委員長	8-1	46

	セクション	ページ
ハンディキャップインデックス (N)		
* 「9 ホールハンディキャップ」の項参照		
ハンディキャップカード	6-4、8-2k	40、49
ハンディキャップ競技		
委員会によって修正された JGA/USGA ハンディキャップインデックス	9-1b	57
9 ホールと 18 ホールのハンディキャップインデックスを持つプレーヤー	裁定 3-2/2	22
競技における正しいハンディキャップの適用	3-6	21
競技に必要なハンディキャップ	9-1	57
エントリー時点で有効なハンディキャップ	9-1a	57
参加資格を特定コースのスコアに基づくハンディキャップに限定	裁定 9-1/1	72
JGA/USGA ハンディキャップインデックスによる参加資格	9-1	57
10 枚未満のスコア	裁定 9-1/2	72
競技方法:		
チャップマンストロークプレー (またはパインハーストストロークプレー) ...	9-4b(vii)	67
チャップマンマッチプレー (またはパインハーストマッチプレー)	9-4a(ix)	64
フォアボールマッチプレー	9-4a(iii)	62
ベストボール団体戦ストロークプレー	9-4b(iv)	66
ベストボール団体戦マッチプレーのボギー競技とパー競技	9-4a(vi)	63
コースハンディキャップアローワンス換算表	9-4c	69
異なるティーインググラウンドを使用する競技	9-3c、裁定 3-5/1、裁定 3-5/2	59、22、23
JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用	9-2	57
競技開始時	9-2a	57
競技中のハンディキャップ変更	9-2b	57
JGA/USGA ハンディキャップインデックスは 18 ホールが基準	9-4	60
シングルマッチプレー	9-4a(i)	61
プラスコースハンディキャップ	9-3b、裁定 9-3a/1	58、73
シングルマッチプレーのボギー競技とパー競技	9-4a(ii)	62
ステーブルフォード競技	9-4b(viii)	68
ストロークプレー	9-4b	65
ストロークプレー個人競技	9-4b(i)	65
タイ	9-5	70
男女が同じティーインググラウンドを使用する場合	9-3c(ii)	59
パートナー間のハンディキャップ差	9-4a(iii)、9-4b(ii)	62、65
パートナーの 1 人が不参の場合	裁定 9-4a/2	74
パートナーの合計スコア (ストロークプレー)	9-4b(iii)	66
パートナーの合計スコア (マッチプレー)	9-4a(v)	63
ハンディキャップアローワンス	9-4	60
ハンディキャップストロークの適用	9-3	58
ハンディキャップストロークの適用方法	9-3a	58
フォアサムストロークプレー	9-4b(vi)	67
フォアサムマッチプレー	9-4a(vii)	63

	セクション	ページ
フォアサムマッチプレーのボギー競技とパー競技	9-4a(viii)	64
フォアボールストロークプレー	9-4b(ii)	65
フォアボールマッチプレーでプレーヤーの1人が不参の場合	裁定 9-4a/2	74
フォアボールマッチプレーのボギー競技とパー競技	9-4a(iv)	62
複数の JGA/USGA ハンディキャップインデックスを持つプレーヤー	9-2c	57
プラスコースハンディキャップ	9-3b	58
シングルマッチプレーの場合	裁定 9-3a/1	73
フォアサムストロークプレーの場合	裁定 9-4b/1	75
フォアボールストロークプレーの場合	裁定 9-3a/3	73
フォアボールマッチプレーの場合	裁定 9-3a/2	73
プレー中断となり再開前にハンディキャップ更新日が訪れた場合	裁定 9-2b/1	73
マッチプレー	9-4a	61
男子と女子のパーが異なるホールの結果	裁定 9-4a/3	74
4人中2人のベストボール	9-4b(v)	66
ハンディキャップ計算プログラム	6-4、8-2j	40、48
ハンディキャップストロークの適用	9-3	58
ハンディキャップストロークの割り当て	17	103
委員会の裁量	17-1	103
回帰分析方式	17-2b	105
奇数ナンバー／偶数ナンバー	17-1b(i)	103
9 ホールホールコース	17-3	106
ステーブルフォード	17-5	106
小さいハンディキャップナンバーの重要性	17-1b(ii)	103
27 ホールコース	17-4	106
パーセーブの難易度	17-1	103
ハンディキャップナンバーの割り当て	17-1b	103
ハンディキャップホール (定義参照)	2	7
比較方式	17-2a	104
フォアボールおよびベストボールストロークプレー	17-5	106
割り当ての基本	17-1a	103
ハンディキャップタイプ		
定義	2	7
ハンディキャップディファレンシャル	10-1	75
定義	2	7
ハンディキャップの管理		
ゴルフ倶楽部のハンディキャップ委員会	11-1	87
JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正と取り消し	11-7	88
承認されたゴルフ協会が発行するレーティング	11-9	88
スコア検証	11-2	87
ストロークコントロール	11-5	88
20 枚未満のスコア	11-4	88

	セクション	ページ
ハンディキャップディファレンシャルワースト 10 枚の除外	11-3	87
非常に優れたトーナメントスコア	11-6	88
ペナルティスコア	11-8	88
ライセンス認可の必要条件	11-10	88
ハンディキャップの更新		
* 「ゴルフ協会」、「ハンディキャップ委員会」の項参照		
ハンディキャップの増加		
委員会による JGA/USGA ハンディキャップインデックスの増加修正	9-1b	57
一時的な身体障害	8-4c(iii)	52
大量のアウトスコアやインターネットスコアがインデックスを変える場合	8-4c(ii)	52
ハンディキャップの取り消し	8-4f	54
ハンディキャップホール		
定義	2	7
ヒ		
非アクティブシーズン	6-2、8-3b	39、51
定義	2	7
非常に優れたトーナメントスコア		
* 「JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正」の項参照		
標高	13-3b(v)	95
フ		
複数倶楽部に所属するプレーヤー		
* 「会員制度」の項参照		
不適合クラブ、不適合球、不適合ティーペグ	5-1e(vii)	28
プラスコースハンディキャップ	2、9-3b	5、58
* 「コースハンディキャップ」、「ハンディキャップ競技」の項併照		
プリファードライ	7	44
定義	2	9
採用可能なスコア	7-1	44
通常のコース難易度	7-3	45
プリファードライ適用時の注意点	7-2	45
ローカルルール	7-1	44
プレーしなかったホール		
* 「スコア (ホールスコアの調整)」の項参照		
プレーヤーの責任		
競技における正しいハンディキャップの適用	3-6	21
コースハンディキャップ	3-3	16
異なるティーインググラウンドを使用する競技	3-5	19
所属倶楽部を変更する場合	6-6	41
男女が同じティーインググラウンドを使用する場合	3-5b	19

	セクション	ページ
複数倶楽部に所属するプレーヤー (マルチメンバー)	6-5	40
プレー技量を証明する完全な情報の提供	8-4a	51
ホールスコアの調整 * 「スコア (ホールスコアの調整)」の項参照		
文書による承認	1-2	2
へ		
ペナルティースコア	8-4b	52
定義	2	9
ほ		
ホールスコアの上限		
* 「スコア (ホールスコアの調整; ストロークコントロール)」の項参照		
ホールスコアの調整	4	24
ボギーゴルファー (定義参照)	2	5
ボギーレーティング (男子・女子)	13-3e(ii)	97
ボギーレーティング (定義参照)	2	5
も		
最も可能性の高いスコア	2、4-1、裁定 4-1/1	8、24、26
最も上達したプレーヤー	付則 H	120
こ		
USGA 商標類	1-2	2
定義	2	11
USGA ハンディキャップシステム		
定義	2	11
パー3 コースのスコア	裁定 5-1e/1	36
目的	1-1	1
郵送やファックスによるスコア提出	5-2a、6-5b	29、40
ら		
ライセンス認可の必要条件	1-2	2
れ		
レーティング査定時の基本条件		
* 「JGA/USGA コースレーティング」の項参照		
ろ		
ロール	13-3b(i)	95

The USGA Handicap System

WITH THE USGA COURSE RATING SYSTEM
AND
USGA HANDICAP DECISIONS

Effective January 1, 2012 – December 31, 2015

Copyright © 2012
United States Golf Association
All Rights Reserved

2012-2015 JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠)

2012年3月1日 初版発行

発行者 (公財) 日本ゴルフ協会

〒104-0031 東京都中央区京橋1-12-5 京橋YSビル2階
TEL 03-3566-0003
<http://www.jga.or.jp/>

無断複製転載を禁ず

(公財)日本ゴルフ協会

東京都中央区京橋1-12-5 京橋YSビル2階
TEL (03)3566-0003

www.jga.or.jp

USGA (全米ゴルフ協会) は、U.S. Open、 U.S. Women's Open、U.S. Senior Openをはじめ、10試合のナショナルアマチュアチャンピオンシップ、2試合のステートチームチャンピオンシップ、および国際マッチを開催しています。R&Aと連携し、共同してゴルフ規則、アマチュア資格規則、そして用具基準を施行したり、世界アマチュアゴルフランキングを運営することにより、USGAはゴルフというゲームを世界的に統括しています。USGAの活動管轄は、アメリカ合衆国およびメキシコです。

USGAは持続可能なゴルフコース運営の開発と支援を推進するグローバルリーダーです。ゴルフというゲームの歴史に筆頭執事として仕え、“For the Good of the Game” という助成金プログラムを運営しています。またUSGAコースレーティングシステムおよびハンディキャップシステムは、世界6大陸、50ヶ国以上で使用されています。